

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 1980年
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 3(2)
Issue Date	1981-10-28
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/8945
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌——1980年

月 日	国 名	記 事
1・3	チ リ	プロスイマー 中島正一氏、マゼラン海峡の単独潜水横断に成功。 (YU・NK・MN・AH)
1・4	メ キ シ コ	川崎製鉄、子会社リバースチール社、三菱商事、米国三菱、メキシコ三菱と共同出資で、昨年12月中旬に新会社「マタロス鋼板加工」設立を表明。(YU)
1・11	セントルシア	外務省、カリブ海のセントルシアと外交関係樹立を発表。(YU・AH)
1・11	ブラジル	本田技研工業、年内に100%アルコール燃料の二輪車を生産・販売開始を発表。(NK・NS・MN・YU)
1・15	ドミニカ共和国	外務省人事、駐パース総領事に、在ドミニカ大使館参事官相川竜夫氏。(AH・YU・NK)
1・16	メ キ シ コ	通産省、経済団体連合会、日本商工会議所など官民一体で、メキシコへの企業進出促進のため「対メキシコ投資推進機構」発足を決定。 (NK)
1・18	メ キ シ コ	埼玉県、姉妹州提携のメキシコ州へ親善訪問団を派遣。(NK)
1・18	ブラジル	日伯合弁事業ウジミナス(ミナスジェライス製鉄所)、日本政府の追加出資実現が難航。(NS・NK)
1・18	ブラジル	女流ピアニスト、クリスティーナ・オルティーズ来日、リサイタル開催。(YE)
1・22	パ ナ マ	世界フェザー級チャンピオン、エウセビオ・ペドロサ、同級8位、日本フェザー級チャンピオン、スパイダー根本を判定で敗り7度目の防衛に成功。(東京)(AH・YU・NK)
1・22	アルゼンチン	アルゼンチン政府、ヤシレタ水力発電所国際入札で日本企業連合の受注困難を通告。(NK)
1・25	メ キ シ コ	ヤクルト本社、来年春に合弁会社「メキシコヤクルト」を設立、乳酸飲料の製造・販売事業開始を表明。(AH・NS・JT・NK)
1・25	パ ナ マ	永野重雄日本商工会議所会頭を団長とするパナマ訪問使節団出発。 (AH・NK)
1・26	パ ナ マ	永野日商会頭ら、ワシントンで米側第2パナマ運河構想推進者グラベル上院議員らと会見、日、米、パナマ三国協力早期具体化で一致を表明。(YU・MN・NK・JT)
1・26	ブラジル	三井物産、東京芝浦電気、日立製作所の日本連合、ブラジル国鉄の電車改造プロジェクト(約60億円)を受注、契約に調印。(NK)
1・27	ベネズエラ	オリノコ石油開発に国際協力事業団の参加が決定。(NS)

1・28	ペ	ル	ー	日本、ペルー両国政府、75億9千9百万円の円借款供与の「開発資機材借款に関する政府交換公文」に調印。(AH・NK)		
1・30	キ	ュ	ー	バ	キューバを代表する作曲家で、ギター奏者のレオ・プロウエル、初来日。(ME・DM)	
1・31	メ	キ	シ	コ	通産省ほか、11の団体、企業参加の「メキシコ投資推進協議会」正式に発足。(NK)	
1・31	ブ	ラ	ジ	ル	石油資源開発と三井石油開発、ブラジル国営石油会社(ペトロプラス)公示の第4次石油探鉱区画の国際入札応札のため、共同出資会社「ブラジル石油開発」を設立。(AH・NK・MN)	
2・1	パ	ナ	マ	鳥島沖でパナマ船籍の貨物船「フラミンゴ号」浸水、沈没、日本人6人を含む乗組員21人ゴムボートで脱出。(NE)		
2・7	ブ	ラ	ジ	ル	松下電器産業、中南米地域での現地生産体制強化のため、ブラジルナショナルに生産技術センターを開設、活動を開始。(NS)	
2・11	ブ	ラ	ジ	ル	「サンパウロ新聞」、『手をつなごう、日本とブラジルの子供たち』と題するペンフレンド交流キャンペーンを開始。(MN・YU)	
2・13	ブ	ラ	ジ	ル	ブラジル政府、高砂香料工業社長の中西健次氏に国際功労章であるグランクルス勲章を授与。(NS)	
2・15	メ	キ	シ	コ	メキシコ最高峰オリサバ(5,700メートル)に日本山岳会員、脇坂順一氏(66歳)登頂。(AH)	
2・15	エ	ク	ア	ド	ル	ユニチカ、三井物産と組んで建設のポリエステルプラントが完成。エクアトリアナ・デ・テヒドス・デ・プリント社に引き渡す。(NS)
2・18	ブ	ラ	ジ	ル	日揮、ブラジルの公立研究所と共同で、発酵アルコールを原料としたエチレン製造技術の確立に成功。(NS)	
2・20	チ	リ		オリエント・リース、リーシング・アンディノ社に資本参加、リース事業に進出を決定。(NK)		
2・26	メ	キ	シ	コ	(~29)日本・メキシコ経済合同委員会はじまる。エネルギー、貿易、経済協力などについて意見を交換。(MN・AH・YU・NK)	
2・28	メ	キ	シ	コ	日本政府、大平首相のメキシコ、米国、カナダ歴訪を表明。(YU・NK・JT)	
2・28	メ	キ	シ	コ	石油業界、メキシコ原油4月輸入開始決定を表明。(NK・AH)	
2・28	チ	リ		日本水産、昨年のチリ政府の対日漁獲割当量削減通告にとまなない、建設中の水産加工処理工場工事を中断。(NK)		
2・28	アル	ゼ	ン	チ	ン	三洋電機、現地資本などと合弁でカラーTV製造会社、サン・エルコ社設立を発表。(NS)
3・3	ブ	ラ	ジ	ル	三菱重工業、三菱商事を窓口ブラジルCEEE社(リオグランデ・ド・スール州電力会社)から電気集じん機(EP)4基(約10億円)を受注、正式調印を発表。(NK・NS)	
3・5	ブ	ラ	ジ	ル	コスタ駐日大使、交通博物館にサントス・デュモン氏の複製機	

3・6	アルゼンチン	「14BZS号」伝記映画などを贈呈。贈呈式に両国女性パイロット1号、マシャド女史、及位野衣さんらが出席。(MN・YU・NK) 日本電気、アルゼンチン共和国通信公社(ENDEL)から、電話網250億円を受注。(NS・NK・MN)
3・10	ブラジル	「ブラジル輸出業者協会」(ABECE)、対日輸出促進ミッションを日本へ派遣。(YU・NK)
3・11	ホンジュラス	駐ホンジュラス大使に石川賢治在ベレーン総領事。(AE・ME・NE・YE・JT・DM)
3・13	ペルー	リマの「天野博物館」館長、天野芳太郎氏、第14回吉川英治文化賞を受賞。(YU・ME)
3・19	パナマ	日本政府、第2パナマ運河建設に政府参加の基本方針を表明。(AH・YU)
3・22	パラグアイ	クル病のインド象の花子、飼主の信田修治郎氏と移住先パラグアイへ出発。(NK・JT)
3・22	ブラジル	ブラジル国策鉱山会社リオ・ドーセ社のバチスタ社長、カラジャス鉄鉱山開発協力要請のため来日。(NK)
3・23	パナマ	アリスティデス・ロヨ大統領夫妻来日。(NK・MN)
3・23	チリ	フィリピン政府当局、ピノチェト大統領暗殺計画の疑いで、日本人を含む外国人“テロリスト”8人を逮捕。(AE・ME・JT)
3・23	ブラジル	土光経団連会長、リオデジャネイロ経由ブラジルに到着。(AH)
3・24	パナマ	皇居の宮殿・豊明殿で、ロヨ大統領夫妻歓迎晩さん会。(AH・YU・JT・MN)
3・24	パナマ	世界ジュニアフライ級チャンピオン中島成雄、同級1位イラリオ・サパタに判定負け、初防衛に失敗。(東京)(AH・JT・MD)
3・24	ベネズエラ	大協石油、ベネズエラ原油輸入交渉に乗り出す。(NS・NK)
3・25	パナマ	大平首相、ロヨ大統領との第2回会談で、第2パナマ運河建設協力を表明。(YE・NE・AE・JT・MD)
3・25	ブラジル	土光経団連会長、ブラジルでフィゲイレード大統領、デルフィン・ネット企画相ら政府首脳と会談。資金協力問題など意見交換。(NE)
3・26	メキシコ	太陽神戸銀行、メキシコ市に駐在員事務所を開設。(NK)
3・26	パナマ	池浦喜三郎日本興業銀行頭取、来日中のロヨ大統領からバルボア大十字勲章を受章。(AH・YU・MD)
3・26	チリ	クビーリョス外相、31日からの訪日を中止。(AE・MN)
3・30	メキシコ	メキシコ石油輸入の永山時雄社長、ポルティエーヨ大統領に直接対日石油供給増量要請のため出発。(NK・NS)
3・31	ブラジル	バチスタ・リオドーセ社長、大平首相を表敬訪問。(MN・YU)
3・31	ブラジル	来日中のレゼンデ・ブラジル運輸相、地崎運輸相に港湾・鉄道建設

		の協力を要請。(NK)
4・1	ホンジュラス	外務省人事、免ホンジュラス大使兼田晴重。(AE・YE)
4・1	パラグアイ	駐エンカルナシオン領事に駐パラグアイ大使館一等書記官杉田敏次氏。(NK)
4・2	パナマ	世界バンタム級チャンピオン、ホルヘ・ルハン同級3位の磯上秀一にKO勝ち。5度目の防衛。(東京)(AH・JT)
4・3	プエルトリコ	世界ジュニアライト級チャンピオン、同級7位バトルホーク、風間にKO勝ち。10度目の防衛。(奈良市)(AH)
4・4	チリ	チリ外務省、ピノチェト大統領予定通り10月訪日を発表。(AE・YU・MN・NE)
4・6	メキシコ	ホセ・オテイサ国有財産・工業振興相来日。(YU)
4・7	メキシコ	来日中のオテイサ国有財産・工業振興相、日本政府に製鉄プロジェクトへの協力を要請。(MN・NK・JT)
4・10	ブラジル	日本テレビ放送網系列(NNN)、サンパウロ市に中南米支局を開設。(YU)
4・11	ブラジル	通産省、7月に「日伯貿易交流促進ミッション」派遣を発表。(YU・MN・JT)
4・14	チリ	宝幸水産、チリ沖操業開始。(NS)
4・15	メキシコ	メキシコ・シティ管弦楽団、東京・新宿文化センターホールで初演奏会。(AH・JT)
4・15	セントピセント・グレナディーン諸島	日本政府、昨年10月27日独立のセントピセント・グレナディーン諸島と外交関係を樹立。(AH・YU・MN)
4・16	メキシコ	カルメン・ロmano・メキシコ大統領夫人、大平首相を表敬訪問。(YU・NK・MN・JT)
4・17	アルゼンチン	衆議院本会議で日本・アルゼンチン文化協定承認。(NK・MN・YU・AH)
4・18	キューバ	精糖業界、さとうきび生産や原糖の生産状況調査のため使節団を派遣。(NK)
4・19	ブラジル	ペトロプラス(ブラジル石油公社)、大陸だな石油開発にブラジル石油開発(出光興産、三井石油開発、石油資源開発の三社共同出資)が応札を表明。(NS・NK)
4・19	ブラジル	サンパウロ市のブラジル三菱銀行ジャガレー支店に強盗、現金74万5千クルゼイロ(約410万円相当)を奪って逃走。(YU・AE)
4・24	パナマ	日本海重工業、パナマ向貨物船(15,510総トン)を完成、引き渡す。(NS)
4・24	エクアドル	(～5・6)「赤道直下の古代文明展」(エクアドル政府、読売新聞など主催)日本橋のデパートで開催。(ME・YE)
4・24	アルゼンチン	(～5・9)「第13回日本国際美術展」外国部門にアルゼンチン現

		代美術界の代表作家39人、78点の出品。(MN・NE)
4・25	メキシコ	日本政府、鉄鋼プロジェクトに対し、350億円の円借款などの資金協力、見返りに原油対日供給量3倍増要請を決定。(MN・YU)
4・25	アルゼンチン	全日本タンゴ愛好連盟、タンゴ生誕100年を記念し、来日中のカルロス・ガルシーア・タンゴ・オールスターズ楽団を囲み、親善タンゴ・パーティー開催。(AE・ME)
4・27	エルサルバドル	新駐日大使に発令されていたワルテル・ベネケ元外相、サンサルバドルの自宅で射殺される。(AH・YE・JT・ME)
5・1	メキシコ	大平首相、メキシコ国際空港に到着。(AE・ME・YE・NE)
5・2	メキシコ	ロペス大統領夫妻主催晩さん会で大平首相、「日墨友好基金」設立を提案、日本が100万ドル提供を表明。(AH・YU・JT・NK・MN)
5・4	メキシコ	大平首相とロペス・ポルティエヨ大統領、第2回首脳会談後、日本・メキシコ共同声明発表。(NK・AH・MN・JT・YU)
5・5	チリ	ビジョン、海外現地法人「ビジョン・チリ」発足方針を固める。(NS)
5・9	メキシコ	(～18)メキシコ市のアウディトリオ・ナシオナルで日本貿易振興会(JETRO)主催の「1980年メキシコ・日本機械、技術見本市」開幕。(MN)
5・9	ラ米	「海外日系人大会」に出席のため来日中の日系人、東京湾一周の自衛艦「あやせ」での体験航海後、接岸作業中の事故で17人が重軽傷。(MN・AH・YU)
5・14	メキシコ	ハंक・ゴンザレスメキシコ市長、大平首相を表敬訪問。(AH・MN・NK)
5・14	ベネズエラ	三菱商事、出光興産、ベネズエラ国営石油会社(ペトロベン)と直接取引(DD)原油契約に調印。(MN・YU・AH・NK・NS)
5・15	コスタリカ	(～21)フランシスコ・アミゲッティ版画展、東京・国際文化会館で開催。(AE・ME・JT)
5・15	アルゼンチン	外務省人事、アルゼンチン大使大和田渉氏帰国。(AH・MN)
5・19	チリ	産業公害防止協会、チリの工業研究所の要請で、公害防止技術の専門家2人派遣を決定。(NS)
5・22	トリニダードトバゴ	日産自動車、公共輸送機関として「キャラバン・マイクロバス」230台を一括受注。(NS)
5・25	アルゼンチン	ジャパンカップ・ワールドサッカー大会で全日本、アルヘンチノスに勝利。(AH・JT)
5・26	パナマ	鹿島建設、大成建設、五洋建設、三菱商事の4社、第2パナマ運河構想の事業化予備調査のため技術調査団派遣を表明。(NK・NS)
5・27	エクアドル	エクアドル電力庁(INECEL)のアゴヤン水力発電計画国際入札の水車発電機部門で三菱重工業―三菱電気グループ、一番札を占める。(NS)

5・27	ブラジル	青木建設、サンパウロ市モルンビ地区とエスピリトサント州モンテベルデ高原地区で大規模レジャーセンター建設に乗り出す。(NS・NK)
6・6	ペルー	フェルナンド・ベラウンデ・テリー新大統領、リマで日本記者団と会見。政権担当への抱負、日本に対する経済技術協力の要請などを語る。(AH・NK)
6・8	ラ米	日本ラテンアメリカ学会発足、東京の上智大学で設立総会。(AE・YU)
6・10	パナマ	日立造船、フォルサム・ナビゲーション社から、パナマックス型ばら積み船(60,000重量トン)一隻受注を発表。(NS)
6・10	ブラジル	(~7・3) 画家で外交官(駐日ブラジル大使館参事官)のセルジオ・テレス氏、東京で個展開く。(YE・ME・JT)
6・11	メキシコ	日立造船、国営製鉄所のアルトス・オルノス・デ・メキシコ社から年産85万トンのスラブ連続铸造設備(総額約48億円)受注を発表。(NS・JT)
6・11	メキシコ	メキシコ市郊外に住む日系二世飯田康夫さん一家三人惨殺される。(AH・ME・JT)
6・11	メキシコ	世界バンタム級チャンピオン、ルーベ・ピントール、同級4位村田英次郎の世界タイトルマッチ引分けでピントール2度目の防衛。(東京)(AH・JT)
6・13	アルゼンチン	石原産業、プエノスアイレスに農薬販売の現地法人子会社「石原アルゼンチン」を設立。(NS)
6・13	パラグアイ	日本政府、南部パラグアイ農林業総合開発センター建設のため15億円の無償援助供与、アスンシオンで書簡を交換。(MN・JT)
6・16	エクアドル	ビルカバンパに病院などを建設し老人の楽園にしようと計画中の「ジャパン・ヒルズ運営委員会」に対し、日本万国博覧会記念協会が一千万円贈呈。贈呈式にアンドレス・レインベルグ駐日大使らが出席。(YU)
6・16	ペルー	ペルー最高峰ワスカラン山(6,768メートル)登頂中の登山家、今井英彦氏高山病にかかり死亡。(ME)
6・17	メキシコ	三菱重工業、メキシコ電力庁からソーラ火力発電所向け30万キロワットの火力発電プラント(約150億円)受注を発表。(NS)
6・17	アルゼンチン	政府閣議で、駐アルゼンチン大使に越智啓介駐スリランカ大使を充てることに決定。(AE・NE・ME・YE・JT)
6・18	ペルー	(~7・12) ペルーの彫刻家、ポンチョ・アリアス展、東京・現代彫刻センターで開催。(AE・ME)
6・18	ブラジル	保谷硝子、眼鏡レンズメーカー保有のガエタノ・コスタンツォ氏と共同出資で新会社「ホヤ・コスタンツォ・レンテ・デ・コンタクト」

		設立を表明。(NS)
6・23	ブラジル	川崎製鉄グループとブラジル、イタリアの三国合弁によるツパロン製鉄所起工式。(AH)
6・28	メキシコ	メキシコ政府との原油売買契約に基づくメキシコ原油輸入第一船「ジャーニータ号」、鹿児島湾内の喜入港に入港。(AH・MN・YU)
7・2	メキシコ	アレホ駐日大使、日本記者クラブで会見、メキシコの鉄鋼プロジェクトに対する経済協力、対日原油供給増量問題などについて語る。(NK・YU・MN・JT)
7・3	ブラジル	ピューマ・インドゥストリア社のL. R. A.ダ・コスタ社長、東京の記者会見でスポーツカー「ピューマ」の対日輸出8月開始を発表。(MN)
7・4	パナマ	日本政府、パナマ政府の国立ガンセンター医療機材整備計画に対し、5億円の無償援助、石井パナマ大使とオソレス外相の間で書類交換。(AH)
7・7	ブラジル	通産省、19日出発の官民合同の日伯貿易交流促進ミッション(団長・戸崎誠喜伊藤忠商事社長)結団式を行う。(YU・MN・AH・JT)
7・8	パナマ	パナマ船籍の貨物船「マリタイム・フォーチュン号」下田沖でリベリア船籍の貨物船と衝突炎上。(AE・ME)
7・8	パラグアイ	モンタナロ内相、伊東首相臨時代理を表敬訪問。(MN・AH・NK)
7・8	アルゼンチン・パラグアイ	ヤシレタ・プロジェクト(アルゼンチン・パラグアイ共同開発)国際入札で日本一西独連合2番札にとどまる。(AH・NS・NK)
7・9	中南米	故大平首相葬儀に、アルゼンチン、チリ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ブラジル、メキシコから特使来日、参列。(NK・AH・YU)
7・11	コロンビア	日本輸出入銀行、コロンビア電力連系会社(ISA)と21億5千万円を限度とするバイヤーズ・クレジット供与で合意、貸付契約に調印を発表。(NK・JT)
7・15	メキシコ	住友商事、世界最大の銀地金メーカー・ペニョーレス社と日本向け銀地金向こう10年間の独占輸入販売を契約、発表。(YU・NK・NS)
7・18	パナマ	日本興業銀行の子会社IJBインターナショナル、興銀がソナ・リブレ・デ・コロソ社に対する1,500万ドルの融資契約に調印を発表。(NE)
7・21	トリニダードトバゴ	東洋エンジニアリング(TEC)、三井物産を通じてトリニダードトバゴ共和国国営エネルギー公社(NEC)とメタノールプラント契約(約1億1千万円)を発表。27日正式調印。(NS)
7・21	ブラジル	日伯貿易交流促進使節団、ブラジリアでフィゲイレド大統領、ゲレイロ外相を訪問。(NS)

7・22	アルゼンチン	日本毛織、ブエノスアイレス市のニホンケオリ・アルゼンチナ社の工場を28日付で閉鎖を発表。(AH・NK・NS)
7・25	メキシコ	新日本製鉄、大径鋼管メーカーツバセロ社と技術協力を契約。(NS)
7・30	ベネズエラ	ベネズエラ政府派遣のベネズエラ・カラカス・カペラ合唱団初来日、東京で演奏会。(AH・NE)
7・31	ニカラグア	日商岩井・川崎重工受注の日本円借款(総額75億円)による地熱発電プロジェクト、「不正入札の疑惑」でニカラグア政府によって契約破棄。(AH・MN・JT・NE・YU)
7・31	ブラジル	川崎製鉄、国策鉱山会社リオドセ社から製鉄原料の焼結工場の企業化調査を受注。(NK)
8・1	ブラジル	日伯貿易交流促進団、総額7億3千万ドルのブラジル産品買い付けを発表、2週間の公式日程終了。(NE・YU)
8・2	プエルトリコ	デトロイトで行われたWBAジュニアライト級タイトルマッチ、チャンピオン、サムエル・セラノに同級1位上原康恒KO勝ちで新チャンピオン。(AE・NE・JT)
8・4	ブラジル	味の素、日清食品共同出資の即席めんメーカー「ブラジル日清」、生産増強のため新工場建設に着手。(NS・NK)
8・6	ペルー	ペルー北東のチャクララフ山(6,113メートル)登山中の日本登山隊、落石事故で一人重傷。(MN・NK・YU)
8・8	メキシコ	メキシコ海軍サンチェス中尉、メキシコ沖で日本のマグロ漁船4隻を捕らえを表明。(MN)
8・10	ペルー	日本ペルー石油とペルー国営石油会社(ペトロペルー)のペルー原油輸入交渉、価格面で折り合わず決裂。(NS)
8・11	メキシコ	日本政府、メキシコ三大鉄鋼プロジェクトに対する経済協力問題協議のため、大蔵省実務者を派遣。(AH・MN)
8・11	メキシコ	三菱重工業、メキシコ電力庁(CFE)向け30万キロワット火力発電プラント(総額約200億円)受注を発表。(NS・JT)
8・11	メキシコ	待遇改善を求め続けられていた日航メキシコ支店のスト解決。(YE)
8・11	仏領ギアナ	日産自動車、仏領ギアナに現地販売会社「オート・ギアナ」設立、営業開始。(NS)
8・13	メキシコ	メキシコ大学で開かれていた日本語教師講習会(国際交流基金主催)終了。参加教員に修了書授与。(MN)
8・14	アルゼンチン	植村直己氏を隊長とする日本人登山隊3人、アコンカグア峰(6,960メートル)の厳冬期初登頂に成功。(AE・YE・NK)
8・15	コロンビア	日産自動車、現地の「牧畜銀行」より四輪駆動車「パトロール」500台を一括受注。(NS)

8・15	ブラジル	ブラジル石油開発（石油公団、石油資源開発、三井石油開発、出光石油開発4社共同出資）、米国ユニオン・オイル・カンパニー・オブ・カリフォルニア社と共同で石油探査権落札、ブラジル石油公社（ペトロプラス）と石油探鉱リスク契約に調印。（AE・NE・YU・MN・NS）
8・15	ブラジル	相模の全国選抜高校十和田大会（青森県）に日伯親善のため来日中の日系三世江島勇人君ら4人が出場。（AH・JT）
8・18	ウルグアイ	常石造船、農産物輸送用バージ建造のため、年内に造船所建設に着手。（NS）
8・18	ブラジル	歌手ガル・コスタ初来日。各地でショー「ガル・トロピカル」公演。（YE・ME・AE・JT）
8・20	パナマ	日本郵船グループ、パナマ運河でのひき船オペレーションの国際入札の落札に成功。（AH）
8・21	メキシコ	三菱重工業と三菱商事、ボイラーメーカー、セレイ社の株式15%取得を発表。（AH・NS）
8・26	メキシコ	徳永参院議長、メキシコ国会上院議長の招待で公式訪問のため出発。（MN・NK）
8・30	エクアドル	石川島播磨重工業、エクアドルの海事研究所から海洋観測船一隻（千百総トン、約20億円）を受注。（NS）
9・2	スリナム	日本政府、閣議でスリナム新政権承認を決定。（MN・YU）
9・4	キューバ	第26回世界アマチュア野球選手権大会、キューバ1-0で全日本を破り優勝。（NK・JT・AH）
9・8	チリ	（～9）サンチアゴ市で、第2回日本・チリ経済合同委員会開幕。（YU・NK・JT）
9・9	ベネズエラ	（～12）日本貿易振興会本部で「ベネズエラ展」開催。特産品など展示。（AH・JT）
9・10	アルゼンチン	国営ソミサ製鉄所拡張計画に対する経済協力、新日本製鉄を中心に鉄鋼大手5社が条件付きで出資に応じる方針を固める。（YU・NK）
9・12	メキシコ	経団連の日墨鉄鋼協力委員会で、メキシコ鉄鋼プロジェクト協力推進母体となる鑄鍛鋼と大径鋼管の投資会社二社設立、正式発足を決定。（AH・NK）
9・12	ベネズエラ	潤滑油協会、ベネズエラに「海外交流調査団」派遣。（NS）
9・16	コスタリカ	モンヘ国民解放党党首夫妻、鈴木首相を表敬訪問。（YU・AH・NK）
9・16	チリ	チリ政府、邦銀で初めて東京銀行の支店開設を認可。（NE）
9・17	パナマ	WBA世界ジュニアフライ級チャンピオン、イラリオ・サパタ、同級1位中島成雄にKO勝ち。3度目の防衛に成功。（岐阜市）（AH・JT）
9・19	グアテマラ	政府閣議、原富士男駐グアテマラ大使を駐ポーランド大使に起用を

		決定。(ME・AE・NE)
9・22	ブラジル	安田信託銀行、サンパウロに駐在員事務所開設。(NK)
9・26	メキシコ	神戸製鋼所、メキシコ国立開発銀行、メキシコ鉄鋼会社と鑄鍛鋼工場建設のためのプロジェクト合弁契約に調印。合弁会社「グルボ・インドゥストリアル・NK S株式会社」を発足。(NS・YU)
9・27	ブラジル	ガラナ飲料メーカー、アンタルクティカ・パウリスタ社、荒井商事と原液輸入などに関する総括的な契約を結ぶ。(NS)
9・29	メキシコ	メキシコ石油公社(ペメックス)、メキシコ石油輸入会社に10月の対日原油供給、日量10万バレル供給を通告。(YU・AH・NK JT)
10・1	メキシコ	対メキシコ鉄鋼協力の日本側投資会社、日本メキシコ大径鋼管協力株式会社と日本メキシコ鑄鍛鋼協力株式会社、創立総会。(NS・YU・AH)
10・1	エクアドル	丸善石油、エクアドルとDD(直接取引)原油輸入契約を表明。(NK)
10・6	ブラジル	帝人、現地法人のポリエステルメーカー「サフロン・テイジン」の持ち株を売却、全面撤退を表明。(NK・NS)
10・8	ブラジル	青木建設、大手海運会社「ローレンツエン・グループ」と海運事業分野で業務提携契約を発表。(NK)
10・12	メキシコ	三光汽船所属のタンカー「シー・ロイヤル」号、メキシコ湾で炎上。(NE)
10・13	メキシコ	(～15)第12回日墨経済協議会、東京・大手町の経団連会館で開催。(MN・NK)
10・14	メキシコ	セラノ・メキシコ石油公社総裁、モクテスマ経済開発委員長、ロサーノ貿易庁長官ら、鈴木首相を表敬訪問。(NK・MN)
10・14	ポリビア	日本政府、閣議でポリビア共和国新政府に対し黙示の承認を決定。(MN・YE)
10・15	メキシコ	(～12・21)日本貿易振興会とメキシコ外国貿易庁共催で「あすのメキシコ展」東京で開催。(MN・NK・AH)
10・15	メキシコ	日墨経済協議会、日墨経済協力で合意。共同声明採択し閉幕。(NK・MN)
10・16	メキシコ	メキシコ在住のバイオリニスト、黒沼ユリ子氏「黒沼ユリ子バイオリン学校(アカデミー)」創設を発表。(ME)
10・22	チリ	アルフォンソ・マルケス農相、鈴木首相を表敬訪問。(MN・NK)
10・22	ブラジル	海上自衛隊、矢田次夫海上幕僚長、練習艦「かとり」と護衛艦「あきぐも」遠洋練習航海中(8月24日から24時間)ブラジル海軍と共同訓練実施を表明。(AE)
10・23	ブラジル	昨年8月の日伯閣僚会議で議題となった「アジア・ポート構想」検

		討のため、運輸省を中心とする「アジア・ポート構想研究会」が発足。(YU・MN・JT)
10・23	ブラジル	リオデジャネイロ近代美術館の復興にともない、来日中のドウルセ・フィゲイレード大統領夫人に国際交流基金の林健太郎理事長から10点の美術品リスト贈呈。(MN・JT)
10・27	パナマ	住友銀行、パナマ市にパナマ支店開設。(NK・NS)
10・27	ペルー・チリ	古代日本人の南米漂着説立証のためチリのアリカを目指して航海実験中の「野性号Ⅲ」、ペルーのカヤオ沖で座礁。(MN・NK)
10・27	ブラジル	日本政府、ツパロン港、ピラドコンデ港の港湾整備に対して1億ドル、ペトロブラス(ブラジル石油公団)、ブラジル開発銀行に対しそれぞれ100億円の輸銀融資を決定。29日に調印。(YU・NK・MN・JT)
10・28	ブラジル	デルフィン・ネット企画相、鈴木首相を表敬訪問。(MN・NK・JT)
10・30	アルゼンチン	日本水産、大洋漁業、漁業基地建設プロジェクト早期決着のため代表団派遣。(NK)
10・31	メキシコ	メキシコ石油輸入、ペメックス(メキシコ石油公社)から11月の対日原油供給日量10万バレル通告を表明。(NK)
11・4	ニカラグア	日本政府、閣議で駐ニカラグア大使に松岡康弘駐トルコ大使を決定。(AE・YE・ME・NE・JT)
11・5	メキシコ	三井物産と三井不動産、現地業者と共同でメキシコの大型港湾工事(総額約350億円)を受注。(NK)
11・5	メキシコ	住友金属工業、「日本メキシコ大径鋼管協力」が国立開発銀行、メキシコ鉄鋼公社との間で住友系合弁会社「プロドクトゥラ・メヒカナ・デ・トベリア」設立を発表。(YU・MN)
11・7	エクアドル	日立プラント建設がグアヤキル港に建設の小麦陸揚げ用のニューマチックアンローダ(空気吸引式荷揚げ装置)が完成。(NS)
11・12	ハイチ	日本赤十字社、ハイチの日本人医師須藤昭子さんの訴えにこたえ、結核患者救済の救援金送付を決定。募金受付窓口を開設。(YE)
11・13	メキシコ	三菱銀行、メキシコ政府に対し総額1億ドルの協調融資、ニューヨークで融資協約に調印。(NE)
11・13	メキシコ	東京銀行の現地法人カリフォルニア・ファースト銀行、メキシコ民間企業(インドゥストリアル・ナコブレ社)に対する協調融資に幹事として参加、契約に調印。(NK)
11・15	ペルー	外務省人事、駐ペルー大使館参事官兼リマ総領事に駐中国大使館参事官、伊藤忠一氏。(NK)
11・16	メキシコ	横浜銀行、駐在員事務所を開設。(NK)
11・17	エクアドル	フジタ工業、三井物産の協力でバスターミナル建設工事(約50億円)落札、受注。(NS)

11・17	アルゼンチン	東京芝浦電気、ブエノスアイレス市に全額出資の家電販売会社、東芝アルゼンチンを設立、11月末営業開始を発表。(NS)
11・18	エルサルバドル	蝶理、縫製・加工の子会社「コンテクサ」閉鎖を表明。(NK)
11・19	パナマ	日綿実業、日本交通技術とパシフィック・コンサルタント・インターナショナルと共同で、パナマ運河鉄道の改修工事を落札。(MN・NK・AH)
11・20	ベネズエラ	WBA世界ジュニアライト級チャンピオン上原康恒、同級10位レオネル・エルナンデスに判定勝ちでタイトル初防衛。(東京)(AH・NK・JT)
11・21	パラグアイ	ギタリスト、シーラ・ゴドイ初来日。日本全国を巡演。(ME)
11・22	中南米	伊東外相、大鷹正中南米局長の後任に枝村純郎香港総領事起用を内定。(AH・NK)
11・29	パラグアイ	静岡県からアスンシオンに移住したクル病の象の花子急死。(AH・MN・YU)
12・1	パナマ	モルラガン・パナマ大統領特使、第2パナマ運河建設援助で陳情をかね鈴木首相を表敬訪問。(AH・MN・NK・YU)
12・3	ベネズエラ	日綿実業、シスネロス財閥と共同出資で来年2月ベネズエラ初の総合商社設立で合意、契約に調印を表明。(NK・AH)
12・4	コロンビア	日本電気、三井物産を通じコロンビア通信公社から通信開発プロジェクト(総額約78億円)受注を発表。(NS)
12・5	ペルー	日本ペルー石油(JAPECO)、石油パイプライン建設費として融資(1974年)の借款返済の一部として、ペルーから石油輸入を発表。(NE・YU)
12・9	アルゼンチン	三和銀行、ブエノスアイレスに駐在員事務所を開設。(NK)
12・10	ブラジル	富士通、国営のブラジル銀行と大手企業グループのアウトリアール銀行から超大型コンピューター(総額78億円)の大量受注を発表。(YU)
12・13	メキシコ	日本政府、メキシコ鉄道電化事業に対し、約75億円の円借款供与を決定。(YU)
12・17	チリ	東京芝浦電気、家電製品現地販売法人「東芝チリ」設立、12月末営業活動開始を発表。(NS)
12・20	キューバ	外務省人事、命婦国穂崎巧駐キューバ大使。(YU)
12・24	アルゼンチン	日本政府、国営鉄鋼公団(ソミサ)拡張、増資計画に関連して、政府と民官業界共同で出資要請に応じる用意があると公式回答。(MN・AH・NE・YE)
12・25	メキシコ	三菱重工業、国営トゥクステペック製紙会社から新聞用紙製造用大型抄紙機受注を発表。(NS)
12・25	メキシコ	相撲協会、理事会で来年6月に大相撲一行のメキシコ公式訪問を決

12・26

メ キ シ コ

定。(AH・MN・JT・NK)

日本政府、メキシコに対し円借款と日本輸出入銀行融資合わせて総額1,500億円程度の大型混合借款供与を決定。(NK・YU・MN)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
朝日	AH	AE
毎日	MN	ME
読売	YU	YE
日本経済	NK	NE
日経産業	NS	
ジャパンタイムズ	JT	
日本工業	NI	
東京	TK	

本誌への投稿について

1. 本誌への投稿を歓迎します。ラテンアメリカを対象とする論文、研究ノート、書評などで未発表のものに限ります。
2. 投稿論文は、編集委員会の審査によって採否を決定します。
3. 原稿は、400字づつ横書き用紙を使用して下さい。枚数は原則として論文は50枚、研究ノートは40枚、書評は10枚とします。
4. 採用された原稿に対しては、些少なからず原稿料お支払いします。

なお、本誌への投稿、執筆要領、その他については下記にお問合せ下さい。

(〒102) 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学イベロアメリカ研究所事務局

TEL (238) 3530, 3535

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本：ラテンアメリカ関係日誌 1981年
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 4(2)
Issue Date	1982-09-30
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/8960
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌——1981年

月 日	国 名	記 事
1・5	メ キ シ コ	「謎のメキシコ文明を探る展」(新宿・伊勢丹美術館)で特別参観とレセプション。(YU)
1・6	ブ ラ ジ ル	日伯合弁のパルプ生産会社「セニブラ」エネルギー源を木材に転換、83年中に90%体制を整える予定。(NS)
1・7	ラテンアメリカ	外務省、今年度の中南米大使会議を12、13の両日、リマで開催すると発表。(NK)
1・7	ペ ル ー	三菱金属、三菱商事、ペルーミルポ社、合弁で、鉛、亜鉛鉱山の本格探鉱2月開始を発表。(NK)
1・7	ハ イ チ	クリスト・ロア宣教修道女会医師、須藤昭子さんの訴えにより、ハイチの結核患者に日赤より救援金400万円。(YU)
1・8	ベネズエラ・ パナマ・メキシコ	(~19) 田中通産相、カナダを含め4カ国訪問へ。(MN・NK)
1・9	ベネズエラ	エレラ大統領、訪問中の田中通産相に対日原油安定供給及び年内訪日の予定を表明。(NE・YU・MN)
1・13	ブ ラ ジ ル	歌手五木ひろし、日本全国各地とブラジル各地を含む百カ所で公演、純益1億円を国内外の障害者に贈ることを発表。(MN)
1・16	ペ ル ー	対日原油バーレル当り41.15ドルで売却予定。(NK)
1・16	メ キ シ コ	ロペス大統領、田中通産相に対日石油増量(日量30万バーレル供給)に努力を約束。日本側は1500億円の借款供与を伝達。 (AH・MN・JT・NK・YU)
1・16	ブ ラ ジ ル	出光興産、アマゾン川中流域での石油探鉱権取得を発表。(NK)
1・19	ベネズエラ	帰国の田中通産相、ベネズエラの対日原油供給日量10万バーレルに増量を明かす。(MN・YU)
1・20	キ ュ ー バ	外務省人事、駐キューバ大使に、外務省領事移住部長、塚本政雄氏。 (NE・ME)
1・20	ベネズエラ	外務省人事、駐ベネズエラ大使に、駐パラグアイ大使、内藤 武氏。 (ME・NE)
1・20	パ ラ グ ア イ	外務省人事、駐パラグアイ大使に、中南米局長、大鷹正氏。(ME・NE)
1・20	ラテンアメリカ	外務省人事、中南米局長に、駐香港総領事、枝村純郎氏。
1・21	ペ ル ー	対日原油第一船59万バーレルを積んで出航。(MN・YU)
1・23	アルゼンチン	アルゼンチン政府、電話網近代化で、電子交換機の国産メーカーに日本電気を指名。(NK)
1・24	コロンビア・ エクアドル	(~2・8) 海外建設協会、南米に「建設業企業進出調査団」を派遣。 (NS)

1・26	パナマ	いすゞ自動車、提携先の米ゼネラル・モーターズの販売網4地域（アフリカ、中近東、東南アジア、中南米）をいすゞ車の専売地域として継承。（NK）
1・27	メキシコ	メキシコ国鉄電化計画の国際入札で日本連合、通信部門の受注（約30億円）のみに終わる。（ME・NK・YU・AH）
1・28	ブラジル	国立国会図書館、日系移民の戦後史資料収集のため、3月、職員をブラジルに派遣。（AE）
1・30	コロンビア	本田技研工業、二輪車の現地組み立て開始予定（年産16,000台規模）。（NK・JT）
1・31	ブラジル	青木建設、サンパウロ市で大遊園地（約12万平方メートル、総投資額50億円）の建設に着手。（NS）
2・2	アルゼンチン	ソミサ製鉄所の増強で協力を求められている関係業界、初会合、協力窓口固まる。（AH）
2・3	ブラジル	（～9）リオデジャネイロ近代美術館に贈る日本の現代作品10点、東京大丸5階ギャラリーで展示。（ME）
2・4	ブラジル	外務省人事、駐ブラジル公使に、前駐カナダ公使、松村慶次郎氏。
2・6	ブラジル	ブラジル訪問中の住友銀行磯田一郎頭取、IMF借款はブラジルにプラスと談話。（YU・NK）
2・6	グアテマラ	外務省人事、駐グアテマラ大使に、上海総領事、浅田泰三氏。（ME・AE・NE・JT）
2・7	パナマ	故大平首相の胸像、パナマ日本大使館前に建設予定。除幕式4月29日。（NK）
2・9	ペルー	日本ペルー石油、日本向けタンカー、3月中旬に第2船出航予定を表明。（NK）
2・9	アルゼンチン・パラグアイ	ヤシレタ水力発電プラント商談、発電機10台内定、さらに上積工作強化。（NK）
2・9	ブラジル	山田製作所、本田技研工業ブラジル工場の部品現地調達計画に協力し、生産ラインを本田に売却、技術者を現地に派遣する方針。（NS）
2・11	ブラジル	日系2世の青年に受け入れ側の熊本県、予算不足で留学取り消し、善後策を協議。（NE）
2・14	ブラジル	国際マンジョカ開発、イモアルコール生産のため、品種改良に着手。（NS）
2・15	パナマ	創価学会池田大作名誉会長、パナマに向け出発。（YE）
2・16	ニカラグア	ウエソ駐日ニカラグア大使、モモトンボ地熱発電所建設計画を正式に破棄し、円借款前渡し金11億9,500万円支払いに合意を発表。（NK・AH）

2・18	ブラジル	熊本県、留学取り消しの青年に、予算枠広げ受け入れ決定。(NK)
2・18	メキシコ・ アルゼンチン	アルゼンチン料理店主、高野太郎さん、インディオの民話集を出版。(YE)
2・18	チリ	(～21) 山岳ガイド長谷川恒男さんら3人の日本隊、南米最高峰アコンカグア(6,959 m) 南壁新ルートの登頂に成功。(AH)
2・19	ニカラグア	デスコト外相、日本記者クラブで会見、日本に1億ドルの輸入クレジット供与の要請をしたことを表明。(YU)
2・20	ブラジル	ブラジル人女性にわいせつショーをさせていた悪質プロダクション関係者ら身柄送検。(YU)
2・23	ペルー	わが国初のペルー原油59万バレル到着。(YU・NS)
2・25	メキシコ	日産自動車、フォルクスワーゲン社との提携で、メキシコ、アメリカでの共同生産を提案。(YU)
2・27	メキシコ	三菱信託銀行、メキシコ駐在員事務所を開設。(NS)
3・1	メキシコ	東京マラソンで、ゴメス独走優勝。(MN・NK)
3・2	ベネズエラ	日綿実業、シスネロス財閥と合併で総合商社「クレジバル輸出入会社」(日綿社内ではニチメン・ベネズエラ)を1日付で設立と発表。(NS・NK)
3・2	ジャマイカ	外務省筋、対ジャマイカ経済援助、強化の方針を表明。(AH・MN・NK・YU)
3・2	ブラジル	出光石油化学、ポリカーボネート樹脂の合併事業を春から開始すると発表。(MN・NK)
3・2	ブラジル	三菱重工業、ペトロプラスから、セミサブ型リグ1基(170億円)を受注。(NS)
3・4	ブラジル	ニュージャパン・ハイ・セル(社長 猪木完至氏)ブラジルに完全出資の会社を設立、アルコール工場廃物の飼料転換を企業化。(NS・NK)
3・4	ペルー	ペトロペルー、日本ペルー石油に対し、日本向け原油の輸出価格を1バレル当たり1ドル38セント値下げし、39ドル77セントとする旨通告。(NK)
3・5	キューバ	来日中のカプリサス・キューバ貿易相、田中通産相と会談、貿易拡大へ協力を要請。(YU・MN)
3・6	ベネズエラ	伊藤忠商事、ベネズエラ石油公社と合併で現地に製油所建設の方針を発表。(YU)
3・7	メキシコ	メキシコ市にて、黒沼ユリ子音楽院の第1回バイオリン公開演奏会。(MN)
3・8	メキシコ	ペドロ・フローレス、WBA世界ジュニアフライ級タイトルマッチで具志堅用高をKO。(MN・JT・AH・NK・YU)
3・9	トリニダードトバゴ	三井物産、エネルギー公社からメタノールプラント、総額約300億円で受注内定を発表。(NS・NK)

3・10	アルゼンチン	オラシオ・サルガン、自らの楽団「サルガンニデリオ・グラン・オルケスタ」と共に来日、5月中旬まで全国公演。(NE・YU)
3・10	メキシコ	ペメックス、対日供給量日量10万バーレルに引き上げ、別に110万バーレルのスポット販売契約を締結。(NK)
3・10	エルサルバドル	伊東外相、対エルサルバドル援助について可能性を示唆。(YU)
3・10	メキシコ	東京芝浦電気、メキシコのラジオ、テレビジョン映画庁からVHF、UHFテレビ放送機14セット(約14億円)を受注。(NS・YU)
3・11	パラグアイ	昭和45年以来、パラグアイでハンセン病対策に献身している印南成司博士、大山健康財団賞(予防医学、公衆衛生の分野の業績を顕彰)を受賞。(MN)
3・12	ジャマイカ	キングストンで開かれた世界銀行主催の対ジャマイカ援助国会議で、日本、21億円(1,000万ドル)の円借款供与を表明。(NE・ME・AE・YE)
3・13	アルゼンチン	経団連、「ソミサ委員会」を開き、出資問題打開のため、アルゼンチンに官民合同使節団派遣を決定。(NE)
3・13	メキシコ	新日本製鉄、日本鋼管、川崎製鉄、住友金属工業4社、ペメックスから、大径鋼管など74,000トンの受注に成功。(NK・NS)
3・14	アルゼンチン	ソミサ製鉄所、官民で5,000万ドル出資、20日に調印の運び。(YU・MN)
3・17	ブラジル	(~22)銀座・東京セントラル美術館で第5回日伯現代美術展(財団法人日伯美術連盟主催)開催。(ME)
3・17	コロンビア	日本長期信用銀行が主幹事として参加した総額2億5,400万ドルのコロンビア向け国際協調融資、サンフランシスコで調印。(YU)
3・19	コロンビア	第6回コロンビアアマ女子ゴルフトーナメント第1日、日本(宮沢晴代、松原寿江)は6位。(MN)
3・20	ブラジル	ブラジル国営石油会社(ペトロブラス)、わが国の石油公団(徳永久次総裁)に対し共同開発を提案、25日に日本側調査団派遣。(NK・MN・YU)
3・24	ホンジュラス	石川島播磨重工業、水力発電所向け各種高圧ゲート20門と水圧鉄管4条(総額22億円)受注。(NS)
3・25	トリニダードトバゴ	三菱自動車工業、同販売、「ランサーEX」ノックダウン生産(月150台)開始準備。(NK)
3・26	アルゼンチン	ソミサ製鉄所への投資基本協定、同製鉄所及び大株主である陸軍工廠と日本側官民合同ミッションとの間で調印。(NK・MN・AH)
3・27	アルゼンチン	女子ホッケー第4回ワールドカップ、ブエノスアイレスで開幕。日本、アルゼンチンに3-2で勝つ。(MN)
3・27	ブラジル	日本ブラジル青少年交流協会、13人の留学生派遣。(YE)
3・27	パナマ	紀伊水道でわが国の小型タンカーとパナマ船籍の鋼材船が衝突、4

		人不明。(MN・NE)
3・28	パ ナ マ	三井造船、トライトン・インダストリーズ社向けのジャッキアップ型海底石油掘削装置を引き渡し。(NS)
3・28	ラテンアメリカ	日本政府、経済援助は中東、中米などへ拠点主義の方針を発表。(YU)
3・30	パ ナ マ	青木建設、コロン自由貿易港で商業施設を約150億円で一括受注を表明。(NK・NS)
3・31	ブ ラ ジ ル	カラジャス鉱山鉄鉱石買い取りについて、新日本製鉄など大手7社、リオドセ社と契約調印、84年から15年間、年間1,000万トン。(MN・AH・NK・JT)
4・1	メ キ シ コ	メキシコ臨海工業地帯の建設に、官民一体の協力で、今秋調査団派遣の方針。(NS)
4・3	メ キ シ コ	厚木自動車部品のメキシコ現地法人アツギ・メヒカーナ社、メキシコ・フォード社へ部品の長期納入をまとめる。(NS)
4・4	メ キ シ コ	日産自動車、メキシコ現地法人メキシコ日産に8月末、再び81億円増資を決定。(NK・NS)
4・7	ブ ラ ジ ル	日立製作所、日本車両製造、三井物産と連合でポルトアレグレの鉄道電化計画に応札。(NS)
4・8	ブ ラ ジ ル	21年前、渡伯し、農政研究所を設立した吉井チカさん、宇都宮大学農学部大学院に逆留学。(YU)
4・8	ブ ラ ジ ル	ブラジル滞在中の大島弘輔外務省移住課長、ブラジル移住者のための現地援護機関9月末で廃止を発表。(NK)
4・8	ペ ル ー	石油元売り5社、4～9月期のペルー原油について、1バーレル38ドル、2,000バーレル増量を決定。(NK)
4・9	プ エ ル ト リ コ	WBAジュニアライト級タイトルマッチで、チャンピオン上原康恒、同級1位サムエル・セラノに判定負け。(NK)
4・10	メ キ シ コ	三菱重工業、メキシコ石油公社から受注の洋上原油積み込み中継装置完成、積み出し開始。(YU・NS・MN)
4・10	ブ ラ ジ ル	鉄鋼業界、ブラジル、オーストラリアなどからの鉄鉱石輸入価格決定。チリ鉱石7.2%、ブラジル・リオドセ鉱石7.5%それぞれ引き上げ。(MN)
4・10	チ リ	日本鋼管、チリの国営製鉄会社CAP社に自主管理活動のノウハウ輸出。(NK)
4・10	ブ ラ ジ ル	三和など内外民間銀行6行、ブラデスコ商業銀行に6,500万ドルの国際協調融資に合意、10日調印。(MN・NK・JT)
4・16	ブ ラ ジ ル	出光興産、英仏の石油開発会社2社と共同で、アマゾン石油探鉱権さらに2鉱区取得。(NE)
4・17	ブ ラ ジ ル	ヤマハ発動機、アルコール燃料車5月から、ブラジル国内で発売を

		発表。(NS・NK)
4・21	ブラジル	ブラジル国立組合信用銀行、円建て私募債100億円発行、日本側引き受け団と調印。(NS)
4・23	ベネズエラ	三井石油化学工業と三井物産、ペトロキミカ・デ・ベネズエラと合弁で、中低圧ポリエチレン生産開始、2年後、年産6万トンの予定。(NS)
4・23	エクアドル	日本エクアドル友好協会長藤田義光代議士、エクアドルの国会議員5人を同行、首相表敬訪問。(YU)
4・24	メキシコ	(～5・16)第9回芸術フェスティバルで森下洋子さんバレエ特別公演に出演。(ME)
4・25	パナマ	(～5・5)「第2パナマ運河」推進のため永野秀雄日商会頭、パナマ、米国訪問に出発。(NK・MN)
4・25	コロンビア	東京芝浦電気、コロンビア向け大型水車生産開始。(NS)
4・27	メキシコ	メキシコ向け協調融資(総額3億5,000万ドル)東京銀行をまとめ役として幹事銀行が決まり、シンジケート団参加行の募集開始。(NE)
4・28	ペルー	ペルー国会、「天皇に敬意」を超党派で決議採択。(AH)
4・30	ブラジル	日本・ブラジル合弁の「アマゾン・アルミ計画」の日本側投資会社「日本アマゾンアルミニウム」はブラジル側投資会社のリオ・ドセ社に対し、25億7,200万ドルの建設予算を承認すると通知。(NS・NK・YU)
5・2	ブラジル	三井造船、ベトロプラス向けLPG専用船「ガルジャ号」を完成、引き渡し。(NS)
5・6	ブラジル	ブラジル政府、4月末、日本政府に総額5億ドル(約1,100億円)の借款を要請したことが明らかになる。(NE)
5・7	アルゼンチン	住友銀行、ブエノスアイレス駐在員事務所開設。(NK)
5・9	メキシコ	テレビ朝日「水曜スペシャル」現地撮影隊(12人)の2人、交通事故で負傷。(AE)
5・10	チリ	51人の子供を出産した子宝世界一ママ、レオンティーナ・アルピナさん来日。(YU)
5・11	ブラジル	豊和工業の現地出資会社ホーワ機械、従業員200人解雇の方針を表明。(NS)
5・12	ブラジル	徳永石油公団総裁、ブラジル、ペルーより帰国、記者会見。ブラジルの石油資源開発につき双方前向き協議で合意を表明。(NS)
5・12	メキシコ	WBCフライ級タイトルマッチで、チャンピオン大熊正二、同級1位アントニオ・アベラルに7回KO負け。(NK・JT・YU)
5・12	アルゼンチン	ロベルト・ビオラ大統領記者会見。民政復帰は84年以降、対日赤字の是正に努力等を表明。(AH・NK)

5・13	ボリビア	奉仕活動の青年、高橋靖さんら「インディオの子らに校舎を」と300万円寄金を集め、この夏現地へ。(ME)
5・14	アルゼンチン	日本の自動車業界、アルゼンチン向け輸出を4月以降中断していることを表明。(NK)
5・16	ラテンアメリカ	三菱電機、スペイン国鉄と業務提携、中南米の鉄道電化に協力を表明。(NE)
5・19	メキシコ	(～29)メキシコの日産車ディーラー、日産ダットサン販売店協会の一行、来日。(NS)
5・19	メキシコ	松永信雄駐メキシコ大使記者会見。5月27日～6月6日まで日本旬間開催。「機械技術見本市」「メキシコ・日本映画見本市」「大相撲」などを行なう予定。(MN・NK・JT・NS)
5・19	ブラジル	本田技研工業、ブラジルでの2輪車シェア60%をめざし、今夏から、月間11,000台に増産の方針を発表。(NS・NK)
5・19	ベネズエラ	外務省人事、兼駐ガイアナ・ベネズエラ大使に内藤武氏。(YE)
5・21	メキシコ	メキシコ国営シカルツァ製鉄所向け厚板設備(プレートミル)商談で、日本側各社、日本連合(コンソーシアム)を組み、政府借款も要請の考え。(NK)
5・22	メキシコ	ロサルス・アレグリア観光相、首相表敬訪問。(NK・YU)
5・22	コスタリカ	東レと伊藤忠商事は、コスタリカの繊維合弁会社「チカニット」社を現地側に売却。(NE)
5・29	メキシコ	西田製作所、7月末から卓上工作機輸出、月間30～50台の計画。(NS)
5・29	トリニダードトバゴ	東洋エンジニアリング、国営エネルギー公社とメタノール設備輸出契約調印。(約300億円)(NS)
5・30	アルゼンチン	日本電気、アルゼンチンの通信公社(ENTEL)から、「光通信システム」を受注、総額80億円。(NK・NS)
6・1	ブラジル	三井造船、ペトロブラス向け6,000立方メートル型LPG専用船「グアラ号」完成、引き渡し。(NS)
6・1	メキシコ	大相撲一行111人メキシコ着、3日開幕。(ME・NK・JT・AH・YU)
6・1	コロンビア	新日本製鉄化学工業、鉄鋼メーカーのアセリアス・パステルリオ社に高炉セメント製造の技術援助。(NS)
6・3	コロンビア	三菱重工、コロンビア電力庁から出力15万キロワットの火力発電設備を受注(約260億円)。(NK)
6・3	ブラジル	リオデジャネイロ近代美術館への日本現代作品贈呈式、同市で行なわれる。(ME)
6・5	南米	ダイハツ工業、電気自動車6台をチリ、パラグアイ、オーストラリアに輸出。(NS)

6・8	ブラジル	日本アマゾンアルミニウム、ブラジル合弁のアマゾン・アルミ計画は7月に正式着工の見通しを表明。(NK)
6・9	コロンビア	ダイハツ工業と鈴木自動車、コロンビアの4輪駆動車国産化計画で、同国政府に試作車を提出。(NS)
6・14	ベネズエラ	ジュネーブで鈴木首相、ルイス・エレラ・ベネズエラ大統領と会談、訪日招請を受諾。(AE・NE・ME)
6・17	チリ・ペルー	日野自動車工業、トラックのKD(現地組み立て)生産に乗り出す。チリでは7月開始予定。(NS)
6・18	メキシコ	ペメックスは、日本に対し石油供給の日量20万バレル増加を申し入れたが日本側は5万バレルの増量にとどめる。(YU・AH・JT)
6・18	ブラジル	10日から行なわれていた第10回リオデジャネイロ国際声楽コンクールでソプラノの近藤富佐子さん優勝。(YE)
6・20	パナマ	パナマ船籍の木材運搬船と日本のタンカー南シナ海で難民を救助、和歌山県下津港に入港。(YE)
6・23	アルゼンチン	アルゼンチン国営石油理事オスカル・F・アブリアッタ氏、総額100億円の円建て債発行、調印式のために来日。(NK・NS)
6・25	ブラジル	東芝機械、ブラジルGMからプラスチック成型用全型を受注。総額1億5,000万円。(NS)
6・26	ジャマイカ	レゲエ歌手、ボブ・マーリー追悼セレモニー日比谷公会堂で開催、収益はジャマイカのエチオピアがん協会に寄付。(YE)
6・26	メキシコ	日産自動車、アグアスカリエンテス州に年産36万台のエンジン工場建設を発表、7月着工。(AH)
6・26	メキシコ	アレホ駐日大使とオーストリアのバイヒス駐日大使、首相に南北サミット招請状を手渡す。(YU・NK・JT)
6・27	メキシコ	世界11カ国82行が参加する、メキシコ石油公社向けの国際協調融資(総額40億ドル)合意。日本は第一勧業銀行、東京銀行など24行。(NK)
6・27	キューバ	(～28)第18回NHK杯国際女子バレーボール、日本、キューバに2勝。(NK・AH)
6・27	コロンビア	(～8・4)池袋西武美術館でフェルナンド・ボテロ展開催。(NK・ME)
6・29	アルゼンチン	日本水産の100%現地子会社「パタゴニア漁業開発」7月上旬から、パタゴニア沖漁場で、本格操業開始を発表。(YU・NS)
6・29	ブラジル	日本政府、アマゾン東部の総合開発計画に対して、8月に渡伯の園田外相が協力申し入れの予定。(NK・YU)
6・30	キューバ	(～7・4)第18回NHK杯国際女子バレーボール、キューバ対日本ユニバーシアード代表第3戦は、キューバが3-0、第4戦は3-

6・30	メキシコ	1、第5戦は3-2で通算成績は4勝2敗。(NK・MN・AH) 三菱重工業、メキシコ電力庁(CFE)から5,000キロワットのポータブル地熱発電設備5基を受注したと発表(約16億円)。(NS)
6・31	チリ	チリを訪問中の田中通産相、ピノチェト大統領が訪日招請を受諾した旨、表明。(AH)
7・1	コロンビア	日本輸出入銀行は市中銀行11行と協調融資を組み、カウカ地域開発公社(CVC)に対し、40億9,700万円のバイヤーズクレジットを供与、契約に調印。(MN)
7・2	ブラジル	青木建設、ブラジル大手建設会社と合併で営業していた2つのホテルの営業権を実質100%支配。(NK・NS)
7・4	カリブ海諸国	日本貿易振興会(ジェトロ)カリブ海諸国を現地調査し、報告書刊行。(NS)
7・4	エクアドル	星製菓社長、大谷孝吉さん、ビルカバンバに高令者のための病院建設、保健センター第1号の命名式挙行。(YU)
7・6	メキシコ	メキシコ政府は、同国原油の対日供給増量について「段階的に増量し、82年末までに日量30万バレルにしたい」との新提案。(NK・YU)
7・7	ジャマイカ	米国、カナダ、日本、欧州などの民間銀行25行による7,100万ドルのジャマイカ政府向け協調融資、ニューヨークで調印。(NE)
7・13	アルゼンチン	(~16)タンゴの藤沢嵐子、1カ月のアルゼンチン滞在を終えて帰国、記念リサイタル開催。(YE)
7・14	メキシコ	日本輸出入銀行、バンコ・ナショナル・デ・メヒコ(パナメックス)に対し、総額20億円のバンクローンを供与、同日調印。(MN・JT)
7・15	ブラジル	外務省人事、駐サンパウロ総領事に藪忠綱氏。(MN・YU・NK)
7・16	ブラジル	アマゾン・アルミ開発計画に関し、日本政府追加出資40%と決定、約550億円。17日閣議で了解。(NK・YU・MN)
7・21	ブラジル	サントリー・ド・ブラジルの子会社ブルカニア社、インスタントラーメン(価格20.5クルゼイロ=約51円)とインスタントスパゲティ(57クルゼイロ=約142円)を製造・発売。(MN・NS)
7・22	コロンビア	ダイハツ車体、農耕作業車「MAG」1,000台をコロンビアの輸入商社から引き合いをうける。(NS)
7・23	メキシコ	ペメックス総裁、わが国石油業界との交渉を終え、小松資源エネルギー庁長官に結果報告。問題は継続協議の見通し。(NK・AH・YU・MN)
7・23	メキシコ	日本電気、メキシコ通信運輸省から、国際通信用衛星通信地球局インテルサット標準B型設備一式を約5億円で受注したと発表。(NS・MN・NK・JT)

7・24	ボリビア	外務省人事、駐ボリビア大使に駐ポルト・アレグレ総領事の吉水通氏。(ME・NE・YE)
7・24	メキシコ	日墨ホテル建設で、日本側の投資会社「日墨ホテル投資」設立総会開催。資本金56億円、社長に朝田静夫日本航空相談役、25日正式発足。(NK・MN・NS)
7・25	ブラジル	田中通産相、リオデジャネイロ着。26日サン・パウロ、ブラジリア入り、28日まで経済閣僚らと会談。(NK・YU・AH・MN)
7・26	ブラジル	1981年ユニバーシアード夏季大会第8日、バレーボール女子2次リーグで日本0-3でブラジルに敗れる。(MN)
7・29	メキシコ	園田外相、南北サミット準備会議出席のためメキシコ入り。翌30日、ロペス・ポルティエリョ大統領と会談。(YE・NE・ME)
7・29	ベネズエラ	ベネズエラ向けSDR建て国際協調融資が、日本長期信用銀行も参加してニューヨークで調印。(NE)
7・29	ラテンアメリカ	園田外相、ラ米3カ国歴訪の途へ。(NK・MN)
7・30	アルゼンチン	アルゼンチン訪問中の田中通産相、ビオラ大統領を表敬訪問。(MN・NE)
8・4	ブラジル	メキシコでの南北サミット準備会議を終えた園田外相、サンパウロ着。5日、ブラジルでフィゲイredo大統領、デルフィン・ネット企画相と、6日、グレイロ外相と会談。(NE・YE・ME・AE・JT)
8・4	ベネズエラ	クラレ、共同出資の丸紅とともに、ポリエステル繊維の合併事業から完全撤退。(NK)
8・4	パナマ	横浜本牧ふ頭に停泊中のパナマ国籍貨物船「マリタ・レオンハルト号」で作業中、港湾作業員岩政昭春さん転落死亡。(YE)
8・4	メキシコ	三井銀行、総額7億ドルのメキシコ政府向け協調融資を発表、5日メキシコ市で調印。(NK)
8・6	アルゼンチン	南米歴訪中の園田外相、ブエノスアイレス到着。7日、ビオラ大統領を表敬訪問。(YE・ME・AE・JT)
8・6	アルゼンチン	日本電気、アルゼンチン通信公社から今後15年間にわたる電話局用電子交換機供給メーカーの指名をうけ、第1次分として36万回線、120億円を受注。(NS・MN・YU・NK)
8・7	メキシコ	メキシコ石油公社、わが国に対し、原油の値下げを提案、これにより13日、メキシコ石油輸入会社、輸入再開を通知。(NK・YU・MN・JT)
8・8	プエルトリコ	81年度プエルトリコ向け乗用車輸出台数、前年度横ばいと通産省決定、10日、各メーカーに通知。(NK・MN)
8・9	ラテンアメリカ	(~26)秋山参院副議長を団長とする中南米諸国政治経済事情視察団、出発。(YU・AH・MN)

8・9	キューバ	アマチュア野球第5回インタコンチネンタルカップ(カナダ・エドモントン)第3日、日本はキューバに8-10で負け、第8日5-1で勝つ。(AH・NK・JT)
8・10	アルゼンチン	日本輸出入銀行、北パタゴニア水力発電会社に、総額200億円のバイヤーズ・クレジットの供与調印。(MN)
8・11	メキシコ	住友銀行、第一勧業銀行、外国銀行8行を主幹事とする国際協調融資団、メキシコ公共事業銀行に対し、10億ドルの融資を決定、調印。(NK)
8・12	ドミニカ共和国	アマチュア野球第5回インタコンチネンタルカップ(カナダ・エドモントン)第7日、日本はドミニカに12-1で勝つ。(AH・MN・NK)
8・12	ドミニカ共和国	蝶理、ドミニカにオートバイ販売会社を設立、鈴木自動車工業の小型オートバイを販売。(NS)
8・13	ブラジル	29日、浅草カーニバルでサンバを披露するリオデジャネイロの「ポルテラ」チーム、初練習を披露、27日歓迎レセプション。(MN・YU・NK)
8・14	メキシコ	東海銀行、欧米有力銀行5行と共同でメソックス商業銀行に総額4億ドルの協調融資を発表。(MN・NK・NS)
8・17	アルゼンチン	登山ガイドの長谷川恒男さん、アンデス山脈最高峰アコンカグア(6,959m)の南壁からの冬季単独登頂に成功。(ME・YE)
8・17	ブラジル	通産省人事、日本貿易振興会サンパウロ・ジャパン・トレード・センター所長に新倉隆氏。(YE)
8・18	キューバ	キューバ遠征中の全日本女子バレーボールチーム、キューバ・ナショナルチームとの最終戦で3-1で勝ち、通算成績3勝2敗。(MN)
8・18	パラグアイ	日本設計事務所、パラグアイ厚生省から医療施設の設計、施工を受注。(NS)
8・24	パナマ	犬吠崎沖合で日本のアスファルトタンカーとパナマ船籍貨物船「ローズベイ・スター号」が衝突、「ロ号」沈没、15人不明。(YE)
8・27	ペルー	(~28) 遠征中の全日本女子バレーボールチーム、ペルー・ナショナルチームに、各々3-2、3-0で勝ち3戦全勝。(NK・ME)
8・31	チリ	チリ訪問中の田中通産相、ピノチェト大統領と会談。(NE)
9・5	エクアドル	三菱電機、三菱重工業、明電舎の3社、アゴヤン水力発電所の発電電施設の国際入札で1番札、応札価格合計約100億円。(NS)
9・6	メキシコ・ブラジル	第12回世界柔道選手権大会で無差別級の山下泰裕は2回戦でモエラ(ブラジル)を、60キロ級森脇保彦は3回戦でビルチス(メキシコ)を各々くぐす。(NK・MN)
9・8	ペルー	リマ市内で爆弾事件が5件発生。日系の「ナショナル」など外資系

		企業が被害。(NE・YE・AH・JT)
9・9	パナマ	永野重雄日本商工会議所会頭と、来日中のオマール・ハエン・パナマ大統領顧問、カルボ同駐日大使、記者会見。第2パナマ運河建設計画に関し、アメリカ政府が、企業化調査の通告をしたことを発表。(YU・NS・NK・MN・JT)
9・9	パナマ	伊藤忠商事、パナマ電力庁から、22,000キロワットのガスタービン発電プラント2基、総額18億円を受注。(NK)
9・10	ペルー	南米訪問中の茶道裏千家、千宗室家元に、ベラウンデ大統領から、同国の「十字章」が贈呈さる。(YE・JT)
9・11	ベリーズ	日本政府、21日独立予定のベリーズを、同日付で承認することを閣議で決定。(MN・YE)
9・12	アルゼンチン・パラグアイ	ヤシレタ水力発電の発電機、日本連合10基分受注、約5,000万ドル。(NK)
9・14	ラテンアメリカ	東京・八王子の青年小島重雄さん、オートバイの南北アメリカ大陸縦断1人旅に出発。(YE)
9・15	ブラジル	日本経済新聞社、ブラジルのガゼッタ・メルカンチル社と共催で、初の「日伯経済シンポジウム」サンパウロで開催。(NK)
9・15	メキシコ	(～22)フリーカメラマン三井嘉明さんの写真展「メヒコ・炎える太陽の心」が西麻布のギャラリーで開催。(YE)
9・16	キューバ	(～28)グァヒーラ(農民音楽)歌手、ラモン・ベロス夫妻と楽団「カンポ・アレグレ」来日、公演。(AE)
9・16	ブラジル	日本興業銀行、カラジャス鉄山開発に対し、邦銀のドル建て協調融資で2億5,000万ドルを提示。(NK)
9・18	コロンビア	外務省人事、駐コロンビア大使に、駐ペルー大使、長崎弘氏。(NE・ME・YE・JT)
9・18	ブラジル	ヤマハ発動機のブラジル法人、ヤマハ・モトール・ド・ブラジル・リミターダ、従業員1,000人のうち300人を解雇。(NS)
9・22	チリ	日本輸出入銀行、チリ銀行に、総額10億円のバンクローンを供与、契約に調印。(MN・NS)
9・22	メキシコ	WBCバンタム級タイトルマッチで、チャンピオン、ルペ・ピントールは、挑戦者世界同級5位ハリケーン照を15回KO勝ち、7度目のタイトル防衛。(NK・JT・MN)
9・26	メキシコ	京成上野駅のコンコースに、日系2世の画家、ルイス・ニシザワ氏の大壁画完成、除幕式。(ME)
9・28	ブラジル	ブラジルの投資銀行「ブラジルインベスト」、日本電気の現地子会社「NEC・ド・ブラジル」及び米ITTの現地法人「スタンダード・エレクトリカ」の経営権を同時に取得、両社を連携支配の方針を発表。(NK)

9・30	ブラジル	日系移民受け入れの2機関（JAMIC、JEMIS）25年間の役割終え閉鎖。（NK）
10・2	中米	日本輸出入銀行、中米経済統合銀行（BCIE）に対する総額60億円のバンクローン契約、調印。（MN）
10・5	コスタリカ	カラソ大統領、極東3カ国歴訪のためサンホセを出発、14日～16日非公式に日本滞在。（AE・NE・MN・JT）
10・7	コロンビア	来日中のレモス外相、鈴木首相を表敬訪問。（NK・MN）
10・7	ペルー	日本の登山家や考古学者から「アンデスの主」と慕われている移民一世谷川省三さんとその奥さん、恩返しにと招待され来日、各地で歓迎会。（MN・YU）
10・13	ジャマイカ	（～16）エドワード・セアガ首相、非公式に訪日。（MN）
10・13	チリ	（～14）日本チリ経済委員会、東京・帝国ホテルで開催。（NK・AH）
10・15	コスタリカ	カラソ大統領、鈴木首相を表敬訪問。（MN・YU・NK）
10・15	メキシコ	住友電工、日本電気、住友商事の3社メキシコ通信運輸省から250キロメートルに及ぶ通信システムを共同受注。（NK）
10・15	ジャマイカ	セアガ首相が鈴木首相を表敬訪問。（MN・YU・NK）
10・16	ブラジル	出光興産、出光石油化学の出光グループ、現地資本と合弁で「ポリカーボネート・ド・ブラジル」を設立、ポリカーボネート樹脂生産を決定、調印。（YU・NS）
10・17	チリ	（～24）チリ生まれの巨匠ピアニスト、クラウディオ・アラウ来日、公演。（ME・NE）
10・20	アルゼンチン	世界女子ジュニア・バレーボール選手権第5日、2次リーグで日本はアルゼンチンに3-0で勝つ。（ME）
10・20	メキシコ	カンクンで22、23両日開催の南北サミットに出席する鈴木首相、園田外相、河本経企庁長官ら一行出発、21日カンクン入り。（ME・YU）
10・22	メキシコ	カンクンの南北サミットに出席中の鈴木首相、ポルティエリョ大統領と個別会談。（NE・ME・AH）
10・26	メキシコ	外務省人事、松永信雄駐メキシコ大使帰国命令、外務審議官に任命。（YU・MN・NK）
10・27	メキシコ	通産省、来月6日～18日「日墨貿易交流促進ミッション」派遣を発表（民間の62企業6団体の代表131人）。（NK・YU・JT・MN）
10・30	メキシコ	東京測範、メキシコ・フォード、台湾フォードから測定ねじゲージを総額2億円で引き合い。（NS）
10・30	キューバ	キューバ国立銀行のレオン総裁と、ゲーラ駐日大使、渡辺蔵相と会談。（YU）

10・31	ブラジル	カラジャス鉄鉱石開発計画に対し、官民で総額5億ドルの資金協力提供を通産省発表。(AH)
11・1	キューバ・メキシコ	日本武道館で開かれた第12回世界歌謡祭で「グランプリ」に「希望への道」オズワルド・ロドリゲス(キューバ)と「最優秀歌唱賞」にマリア・デル・ソル(メキシコ)「あなたは誰かを」が入賞。 (NK・YU・AH・ME・JT)
11・4	ラテンアメリカ	(～7)「アジア・アフリカ・ラテンアメリカ(AALA)文化会議」川崎市で開催。(YU)
11・5	ブラジル	港湾整備計画に対する、220億円の円借款供与の書簡を交換。 (NK・MN)
11・6	メキシコ	日本の官民合同の「日墨貿易協力促進ミッション」の一行130人、メキシコ市到着。9日、ベガ商務大臣と会見。17日、ポルティエリョ大統領と会見。(NK・ME・YU・JT)
11・6	アンティグア・バーブーダ	日本政府、1日に英領から独立した同国を閣議で承認決定。(YE・NE・ME)
11・8	ブラジル	マルーフ・サンパウロ州知事、一行約200人と来日、12日首相訪問。(MN・YU・NK・NS)
11・10	ブラジル	オーエスジーの大沢秀雄社長、ブラジル政府公認サンフランシスコ最高勲章グラン・クルス受章。(NS)
11・10	ペルー	経済財政商業省のロベルト・アブサダ・サラール商業次官、ジェットロでのペルー産品展示会(17～27日)に出席のため来日。(NS・NK)
11・10	メキシコ	シカルツァ製鉄所の連続鑄造設備の国際入札の結果、日立造船―三井物産―デマーズ社の日本と西独による3社連合が約432億円で一番札。(NK・AH)
11・10	メキシコ	外務省人事、メキシコ大使に、外務省審議官、菊地清明氏。(AE・NE・ME・YE・JT)
11・10	ペルー	外務省人事、ペルー大使に、ベトナム大使、野田英二郎氏。(AE・NE・ME・YE・JT)
11・11	キューバ	バレーボール・ワールドカップ女子大会第4日、日本は3―1でキューバに勝つ。(AH・NK・MN)
11・14	メキシコ	サントリー、アカプルコに「レストラン・サントリー」を開業。 (NS)
11・16	キューバ	ギタリストのレオ・ブローウェル来日、新宿文化センターで公演。 (YE)
11・16	コロンビア	富士通と伊藤忠商事、都市電話公社「メデリン市公社」からデジタル電子交換機とPCM多重搬送端局装置、総額60億円で受注。 (NK)

11・18	メキシコ	「日墨貿易交流促進ミッション」記者会見、3億ドルの商談成立を発表。(ME・NE・YU)
11・19	ブラジル	富士通、ブラジル銀行から、大型コンピューター2システムと中型1システムの総額36億円を追加受注。(NK・NS)
11・20	ブラジル	第4回ワールドカップ男子バレーボール大会第2日、日本はブラジルに1-3で敗れる。(MN・YU・NK)
11・24	ペルー	東京銀行リマ支店のサンイシドロ出張所に3人組の強盗、500万円奪われる。(JT・YE・NE・AE・ME)
11・24	パナマ	三菱信託銀行、パナマ支店開設25日から営業。(NK・NS)
11・26	ラテンアメリカ	外務省で開かれていた今年度の中南米大使会議で、「第2パナマ運河」構想への準備、ODA増額など、意見一致。(MN・NK)
11・26	メキシコ	三洋電機、扇風機生産の合弁会社「サンメックス」12月10日付で設立を発表。(NS・JT・NK)
12・3	ブラジル	デルフィン・ネット企画相来日、カラジャス開発計画に対し5億ドルの融資要請。(NK・JT)
12・4	メキシコ	日産自動車、アグアスカリエンテス市に新工場建設、エンジンを年間36万基製造。(YU・MN・NK・NS)
12・5	エクアドル	三菱電機、三菱重工業、三菱商事の3社、アゴヤン水力発電所の設備受注、総額約60億円。(NK)
12・5	メキシコ	メキシコ訪問中の永山時雄メキシコ石油輸入会社社長とモクテスマベメックス総裁との会談で、対日輸入量日量16万バレルに増量で合意。(AH・NK・ME・NS)
12・7	ベネズエラ	ベネズエラのジェット旅客機3機がプエルトリコ系ゲリラに奪取られ、日本人2人含む乗客300人入質、8日全員無事で解決。(MN・YU・AH・NE・JT)
12・7	ブラジル	国立国会図書館が購入した、日系移民に関する資料約550点公開。(YU・MN・AH・NK)
12・7	ブラジル	デルフィン・ネット企画相、鈴木首相と会談。(NK・MN)
12・8	メキシコ	シカルツァ製鉄所拡張プロジェクトの連続鑄造設備で日立造船・三井物産・デマーグ社(西独)の3社連合が受注、総額510億円。(ME・JT・NK・AH)
12・10	プエルトリコ	WBAジュニアライト級チャンピオンのサムエル・セラノ対挑戦者同級1位、友成光のタイトルマッチ、友成、TKO負け。(NE・ME・JT)
12・11	メキシコ	永山時雄石油連盟会長、記者会見。通産省にメキシコGG原油の買い上げを要請した旨、表明。(NK・AH)
12・14	ブラジル	海外経済協力基金、ブラジル港湾公社に対し、総額220億円の借款契約に調印。(NS)

12・15	メキシコ	駐日メキシコ大使にプラシド・ガルシア・レイノソ氏を任命。 (MN)
12・15	メキシコ	ジェトロの村田恒理事長「アギラ・アステカ大綬章」受章。(NS)
12・17	コロンビア	第一勲業銀行ニューヨーク支店を主幹事とするシンジケート団、ボゴタ市に対する総額2,730万ドルの融資供与、調印。(NE)
12・21	メキシコ	日本輸出入銀行、メキシコ連邦電力委員会に総額1.000億円を限度とするバイヤーズクレジット供与を契約、調印。(NK・MN)
12・21	メキシコ	シカルツァ製鉄所向け電気炉設備で、日本鋼管・日商岩井グループが約58億ペソ(約520億円)で受注。(AH・MN・NK)
12・24	メキシコ	日本人がパトロール警官などに襲われる事件、続発。(ME)
12・28	ブラジル	東京銀行を中心とする国際協調融資団、ブラジル連邦鉄道向けに総額1億ドル(約220億円)の融資に調印。(NS)
12・31	南米	南米大陸3大河川オリノコ、アマゾン、ラプラタ川を結んで水上航下を試みた東京農大探検部「南米大陸水上縦断踏査隊」(リーダー木村三男さん他部員2名)1万キロのカヌーの旅から帰国。(YU)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
朝日	AH	AE
毎日	MN	ME
読売	YU	YE
日本経済	NK	NE
日経産業	NS	
ジャパントイムズ	JT	
日本工業	NI	
東京	TK	

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 1982年
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 5(2)
Issue Date	1983-10-31
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/8976
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌 — 1982年

月 日	国 名	記 事
1・3	ラテンアメリカ	ヨハネス・ヒルシュマイヤー南山大学学長の呼びかけで「国際化プロジェクト」スタート。総事業費17億円のうち5億円を名古屋財界が援助。 1.社会倫理研究所 2.外国語センター 3.ラテンアメリカ研究センターなどを同大学内に設立の予定。(NK)
1・5	ブラジル	外務省人事、駐ブラジル大使館参事官に経済協力局技術協力一課長川島純氏。(NK)
1・5	ブラジル	ブラジル政府、農業協力拡大のため、50万ヘクタールの土地改良などの技術協力および4億ドルの資金援助を日本側に要請。(YU)
1・5	ベネズエラ	邦銀14行を含む国際金融団、ベネズエラ住宅供給公社(INAVI)に4億ドル(約880億円)の短期協調融資に合意、調印。(NK)
1・9	パナマ	千葉県野島崎沖でパナマ船籍貨物船沈没、乗組員33人全員救助。(YU)
1・12	メキシコ	世界ボクシング協会(WBA)ジュニアフライ級チャンピオン渡嘉敷勝男、4月4日にWBA同級1位ルペ・マデラと初防衛戦を行なうと発表。(NK)
1・12	ホンジュラス	日本政府、ロベルト・スワソ大統領就任式典(27日)特派大使に山下徳夫衆議院議員(自民)派遣を決定。(MN)
1・13	ブラジル	アマゾン・カラジャス鉄鉱山開発のため世界銀行、日本、ECから総額14億ドルの資金協力。日本の融資は5億ドル。(NK)
1・16	アルゼンチン	(~24)ディエゴ・マラドーナを擁すボカ・ジュニアーズ、ゼロックス・スーパー・サッカーで日本代表チームと3戦。ボカの2勝1引き分け。(NK・MN・AH)
1・19	コロンビア	ガルシア・マルケスの「百年の孤独」をヒントにした寺山修司監督の新作映画、下旬から撮影開始。(YE)
1・19	パラグアイ	フジタ工業、日本政府の無償資金協力で建設される病院工事を12億6,100万円で受注。(NS)
1・21	ラテンアメリカ	日本機械輸出組合(寺尾一郎理事長)、中南米諸国と第3国向けプラント輸出協力を促進のため同組合内に「日本・ラテンアメリカプラント国際交流委員会」を設置、第一弾としてブラジルに代表団派遣。(NS)
1・22	チリ	ダイハツ工業、現在出荷停止が続いているチリ向け自動車輸出、今春にも再開の方針。(NS)
1・23	グアテマラ	ソウル在住のグアテマラ女性、覚せい剤密輸、末端価格30億円。(YE・ME・NE)

1・24	アルゼンチン	冒険家、植村直己氏、南極大陸3,000キロの単独犬ゾリ旅行と同大陸の最高峰ビンソンマッシーフ(5,140メートル)登頂を目指し出発。2月上旬南極半島のアルゼンチン基地に入る予定。(MN・NK・YU)
1・25	ベネズエラ	邦銀5行を含む各国45行による大型シンジケート、BANAP(国立貯蓄銀行)に対し総額7億5,000万ドルの協調融資を決定。(NE)
1・26	ペルー	トヨタ自工、トヨタ自販、三井物産の現地合弁会社「トヨタ・デル・ペルー」のリマ市の販売代理店、左派過激派グループに襲撃される。(YE)
1・26	アルゼンチン	新日本製鉄、アルゼンチン国営ソミサ製鉄所の第2号高炉改修に協力。技術指導の契約金は約18億円。(NS)
1・27	コロンビア	鈴木自動車工業、「スズキ・モトール・デ・コロンビア」(資本金450万米ドル)を2月設立、現地組み立て生産、販売を強化すると表明。当初年間台数は15,000台。(YU・NK)
1・27	キューバ	大手商社を中心に2,000万ドル分のキューバ向け輸出が滞貨。関係者は打開のため2月ハバナ訪問。(MN)
1・28	ブラジル	日伯合弁のミナスジェライス製鉄所(ウジミナス)、2月に円建て私募債100億円発行の予定。(NK)
1・28	エクアドル	川崎汽船、エクアドル国営タンカー会社フロタ・ペトロレラ(通称フロベック)との技術援助契約を解消。(NS)
1・29	ブラジル	日系企業320社で組織するブラジル・日本商工会議所(橋富士雄会長)82年の事業計画として「日本的経営技術」を中心に据え、QC、OAをテーマに取り上げる。(NS)
1・29	アルゼンチン	東京銀行、米チェース・マンハッタン両行を主幹事に、石油公社(YPF)に4億ドルの協調融資。(NE)
1・29	メキシコ	三菱商事、メキシコのフィソメックス社、オランダのDSM社と合弁でナイロン繊維原料のカプロラクタム及び硫酸を生産すると発表。約5億米ドルのプラントは1984年末完成予定。(NK)
2・4	メキシコ	米石油業界誌『ペトロリアム・インテリジェンス・インターナショナル』、メキシコ石油公社(ペメックス)が同国積み日本向け原油価格引き下げの日本要求を拒絶したと報道。(YU)
2・5	アルゼンチン	オリエント・リース、アルゼンチン航空向けの円建て国際航空機リース(1機)の契約に成功。3月航空機納入の見通し。(NS)
2・6	ベネズエラ	経団連、オリノコ・オイル・ベルトの開発調査団、3月に現地派遣を決定、資金・技術協力を検討。(NS)
2・9	メキシコ	日鉄化工機、ユニベックス社からカセイソーダ回収装置を受注、総額約15.6億円。(NS)

2・11	ペル	ー	国営石油会社「ペトロペルー」、日本が今年4-9月に輸入する原油価格、1バーレル34.5ドルに合意。(NS)	
2・12	ブラ	ジル	青木建設、アルコア社が予定しているボーキサイト輸送事業の国際入札に同国の大手海運会社、ローレンツェン・グループと共同で応札の方針。3月上旬入札。(NS)	
2・15	ブラ	ジル	三井物産、日本車両製造、日立製作所の3社連合、ブラジル連邦鉄道翼下のポルトアレグレ旅客公社から、電車車両100両、総額127億円を受注。(NK)	
2・16	エク	アドル	オランダ・アルシバル・サントス商工総合省大臣、ジェトロのエクアドル展出席のため来日。(NS・YU)	
2・17	チ	リ	日本政府、チリ政府との間で6億8,000万円の無償援助の書簡交換。(MN)	
2・17	メ	キシコ	邦銀など世界各地の有力銀行が参加する国際協調融資から、ペメックス、20億ドルの資金調達。(NK)	
2・23	ブラ	ジル	日伯合弁のウジミナス(ミナスジェライス製鉄所)、第3次設備拡張計画の資金調達の一環としてわが国で円建て私募債を発行、期間10年で100億円。(NS)	
2・23	チ	リ	イースター島からモアイ3体、神戸港着。エキスポランド(大阪)に3月-6月展示予定。(YE・NK)	
2・25	ブラ	ジル	ジョーゴ・ノムラ連邦下院議員、首相を表敬訪問。(YU・MN・NK)	
3・1	キュー	ーバ	キューバ砂糖輸出公社、日本の複数の商社に対し、原糖10万トンを受値で輸出。(NS)	
3・2	キュー	ーバ	カストロ首相、ロドリゲス副首相ら、ハバナ訪問の日本経済使節団(団長・河合良一小松製作所社長)に対し、日本との合弁企業を要請。(MN)	
3・2	アルゼンチン	・チリ	昨年以來出荷を停止していたアルゼンチン・チリ向け自動車輸出の再開は大巾に延期、夏以降の見通し。(NK・NS)	
3・3	パ	ナ	マ	日本興業銀行を中心とする邦銀9行の協調融資団、コロン自由貿易管理庁に総額110億円を円建て融資。期間15年。(NS・NK・YU・MN)
3・5	アルゼンチン		(~5月中旬)カルロス・ラサリ・タンゴ楽団、日本全国を公演。(YE)	
3・5	アルゼンチン		(~4・26)エバ・ペロンの生涯を描いたミュージカル「エビータ」、劇団四季公演・浅利慶太演出で上演。(ME・AE・YE)	
3・5	メ	キシコ	カスターニューダ外相、毎日新聞あての書簡の中で、アジア・太平洋地域における日本の軍事的役割分担に反対を表明。(ME)	
3・9	パ	ナ	マ	プロボクシング・協栄ジムの金平正紀前会長、53年5月、ジュニアフライ級チャンピオン具志堅用高の5回目の防衛戦で対戦相手の

		ハイメ・リオス（パナマ）の食事に薬物工作をした疑惑。（YE・MN）
3・12	パナマ	外務省人事、駐パナマ大使に茂木良三駐トロント総領事を起用。（NE・ME・AE・YE）
3・12	コスタリカ	外務省人事、駐コスタリカ大使に駐エチオピア大使、橋爪三男氏を起用。（NE・ME・AE・YE）
3・16	中米・カリブ海	桜内外相、20日からの訪米に先立ち記者会見。中米・カリブの一部諸国に経済・社会開発援助の推進を表明。（ME・YU）
3・16	ブラジル	日本機械輸出組合（JMEA）とブラジル基幹産業振興協会（ABDIB）の関係者、日伯プラント国際交流会議の初会合を開き、第3国へのプラント輸出促進を具体化。（YU）
3・17	ブラジル	青木建設、今夏、モンテベルデ高原地区で大規模レジャーセンターの建設に着手。総事業費約24億円。（NK）
3・17	メキシコ	日本輸出入銀行、メキシコ公共事業銀行に256億円のバンクローン（銀行間借款）供与、契約に調印。（NK）
3・19	パナマ	第2パナマ運河建設計画、日、米、パナマ3国の協力事業として本格始動。5月、3国で「企業化調査準備委員会」発足。（NK）
3・19	パナマ	パナマ船籍石炭運搬船「アカデミースター号」八丈島沖で船体亀裂、浸水、乗船員全員救助。その後、21日、千葉県千倉町沖で座礁、重油大量流出。（MN・AE）
3・20	ペルー	ペルー・バレーボール界育ての親、加藤明、ウイルス性肝炎で急死。リマ市のナショナルスタジアムで6,000人が告別。（TK）
3・22	パラグアイ	日本設計事務所が設計管理している南部パラグアイ農林業総合開発センター・農業機械化センター、3月末に完成予定。建設費15億円はすべて日本の無償援助。（NS）
3・22	ラテンアメリカ	環境、公害防止機器業界、中南米市場開拓のため、今秋視察団派遣。（NS）
3・23	メキシコ	対日原油輸出港として2年2カ月前から太平洋岸に建設していたサリナクルス港の積み出し施設完成。年末までに同港から日本へ日量16万バレル（日本の原油総輸入の3.5～4%）が積み出される見込み。（MN）
3・23	メキシコ	日本鋼管と日立造船、メキシコ国営シカルツァ社向け大型製鉄プラントを受注。両社合計で約1,100億円。（NK）
3・24	ブラジル	日本アマゾンアルミニウム、日伯合弁の現地会社、アルプラス、アルノルテ両社に合計310億円の融資契約。5月から本格建設。（NK・YU）
3・28	ブラジル	ゲレイロ外相、外務省の招きで来日。（MN・YU）
3・30	ブラジル	来日中のゲレイロ外相、桜内外相と会談し、農・工業製品の輸入拡

		大を要請。(MN・NK)
3・31	ブラジル	サンパウロ市に被爆都市長崎の名前をつけた小・中学校誕生。サンパウロ州立小・中学校「ナガサキ県」。(ME)
3・31	ニカラグア	西堀国連大使、中米問題の安全保障理事会で演説、米・ニカラグア両国の直接交渉を強調。(YE)
4・1	ペルー	インディオの精神病治療のためのペルー国立精神衛生研究所、日本の援助でリマ市にオープン。(ME)
4・4	メキシコ	WBAジュニアフライ級タイトルマッチ、チャンピオン渡嘉敷勝男と挑戦者世界同級1位ルベ・マデラ15回戦で、渡嘉敷判定勝ち、初防衛。(NK・MN)
4・5	メキシコ	画家、利根山光人氏、反核の石版ポスター「ノーマ'82」を制作、メキシコの土俗の祭りの取材旅行に持参。(YE)
4・6	ブラジル	(~19) ガイゼル前大統領来日、鈴木首相らを表敬訪問。(MN・YU)
4・6	アルゼンチン	日本政府、アルゼンチン軍による英領フォークランド(マルビナス)諸島占領問題について対応策を検討。両国に平和解決を訴え、経済制裁は静観の方針。(AH)
4・6	グアテマラ	日本政府、閣議で、3月23日のクーデターで成立したグアテマラ共和国新政府を「黙示の承認」。(NE・ME・YE・AE)
4・7	パナマ	第2パナマ運河建設を計画しているパナマ、米国両政府が近く発足させる「フィージビリティ・スタディ(企業化調査)準備委員会」に日本政府も参加の方針。(AH)
4・7	アルゼンチン	イギリスのサッチャー首相、鈴木首相あての親書で、フォークランド諸島をめぐる英国・アルゼンチン紛争について日本の協力を求める。(NK・YU・MN)
4・8	パナマ	WBAジュニアバンタム級タイトルマッチ、チャンピオン、ラファエル・ペドロサ対挑戦者、同級7位渡辺二郎15回戦で、渡辺大差の判定で新チャンピオンに。(MN・AH・NK)
4・8	アルゼンチン	コータッツィ駐日英大使とオリバ駐日アルゼンチン大使、外務省訪問、フォークランド諸島紛争をめぐる両国の基本的立場を説明。(MN)
4・8	アルゼンチン	マルビナス紛争のため英銀行を窓口に邦銀に支払われる仕組みになっている債務返済のストップで、アルゼンチンからの邦銀向け返済の一部に遅れ。(NK)
4・9	アルゼンチン	ガブリエル・オリバ駐日大使記者会見。英国との間で係争中のマルビナス諸島問題について同国政府の正当性と和平への意欲を強調。(AH・MN)
4・9	メキシコ	三菱重工業、メキシコ電力庁(CFE)から超大型石炭火力発電プラ

4・12	アルゼンチン	ントを受注。円建て延べ払い決済で570億円。(NK) フォークランド紛争に関し、サッチャー首相の親書に対する鈴木首相の返書で対アルゼンチン経済制裁に同調しない立場を説明。 (YU・NK・MN)
4・12	アルゼンチン	オリバ駐日大使、外務省の須之部次官、桜内外相を訪れ、EC(欧州共同体)の対アルゼンチン輸入禁止措置を非難する声明を手渡し、日本政府には留意を要請。(NE・MN)
4・12	カリブ海	文化人類学者の山口昌男氏をリーダーに地理学、歴史学、宗教社会学などの7学者、カリブ海域共同調査。3年で同海域諸国16カ国を歩く計画。(YE)
4・13	メキシコ	WBCジュニアフライ級タイトルマッチ、チャンピオン、アマド・ウルスアと挑戦者世界同級9位友利正15回戦で、友利判定勝ち。 (AH・MN・NK)
4・13	アルゼンチン	マッシーニ・エスクーラ外務省情報局長、マルビナス紛争に関する国連安保理の英国案(撤兵決議案)に日本が賛成したことに遺憾の意表明。(AE)
4・14	メキシコ	メキシコ在住の主婦グループの手でメキシコに行く人のためのガイドブック「メキシコ生活便利帳」、日本で出版。(YU・AH)
4・17	アルゼンチン	東京銀行など邦銀3行および米国、ECの有力銀行7行からなる国際協調融資団、英国の銀行分は各国で肩代わりして、アルゼンチンの電力会社に2億ドルの融資。ただし正式調印は5月中旬の予定。 (NE・MN)
4・19	パナマ	54年7月に行なわれたWBAジュニアフライ級タイトルマッチのチャンピオン具志堅用高対ラファエル・ペドロサ戦で、金平正紀前協栄ジム会長、2,500万円の裏金契約の疑い。(YU)
4・19	メキシコ	富士銀行を主幹事とする邦銀11行の協調融資団、国営製鉄所シカルツァ社に総額1億3,000万ドル(約300億円)の融資に調印。 (NK)
4・20	メキシコ	プラントエンジニアリング大手の日揮、米国GE(ゼネラル・エレクトリック)の下請け(副契約者)の形で、メキシコ向け原子力発電プラントの国際商談に応札。300億円前後の廃棄物処理設備分野を担当。(NK)
4・21	チリ	日本がパタゴニアでふ化、養殖し、南極海に近い南太平洋に向け放流したシロザケ回帰。(MN)
4・22	キューバ	(~30)日本との国交80周年を記念してキューバの児童画と写真展東京で開催。(ME)
4・23	メキシコ	日本輸出入銀行、メキシコ石油公社に総額250億円のバイヤーズ・クレジット供与。(NK)

4・23	ウルグアイ	外務省人事、駐ウルグアイ大使に平野文夫前駐スーダン大使を任命。 (NE・ME・YE)
4・24	ブラジル	来日中のブラジル政府視察団、林原の第2工場と林原生物化学研究所を視察。(NS)
4・26	パナマ	佐世保重工業、フェスティビティ・ SHIPPING社に、45,500トン型ばら積み貨物船「フェスティビティ」を引き渡し。(NS)
4・26	アルゼンチン	マルビナス紛争で緊迫しているアルゼンチンの日本人移民、日本政府の動向注視。2、3世の若者は前線へ。(NK・AE)
4・28	パナマ	三井海洋開発、世界最大のジャッキアップ(甲板昇降)式リグ「トライデントⅡ」を完成、引き渡し。(NS)
5・1	アルゼンチン	日本政府、対ア経済制裁発表。(NK)
5・1	アルゼンチン	在アルゼンチン日系人3万2,000人の中の約4,000人が、ブエノスアイレス市内で「亜国支援集会」。(MN・AH)
5・3	アルゼンチン	宇野文平・アルゼンチン日本人会会長来日。アルゼンチン政府の立場を弁明。(YU・AH)
5・4	アルゼンチン	通産省、アルゼンチン向け輸出保険引き受けを一部制限、4月末から実施。(YU)
5・4	エルサルバドル	上島珈珠の創業者上島忠雄会長、エルサルバドルの神戸駐在名誉領事に就任。(NS)
5・6	アルゼンチン	日産車のアルゼンチン向け輸出をしている丸紅、ペソの切り下げによる為替差損などで巨額の損失。(NK)
5・6	アルゼンチン	アルゼンチン石油公社から要請されていた緊急融資、邦銀は拒否。 (NK)
5・6	アルゼンチン	日系移民3万6,000人の4分の3を占める沖縄県出身者の組織、ブエノスアイレス州と沖縄県が共同で進めてきた「コルフォ開発計画」で分裂、根深い反目。(YU)
5・7	アルゼンチン	在アルゼンチン日本大使館、英国の海上封鎖拡大で、現地の海運会社、港湾関係、在ア日本人会などに注意を指示。(NE)
5・7	メキシコ	邦銀11行を含み、欧、米、アジア、中近東の各地域ごとに主幹事を置く大型の協調融資、メキシコ開発銀行(ナフィンサ)に12億ドル。(NK)
5・7	アルゼンチン	防衛庁の海上戦闘問題の専門家、フォークランド紛争について、軍事的には英国不利と分析。(YU)
5・10	アルゼンチン	日本貿易振興会(ジェトロ)とアルゼンチン経済省、虎ノ門のジェトロ展示会場で「アルゼンチン展」開催、期間5日間。(NK)
5・10	コロンビア	日本輸出入銀行、コロンビア政府とコロンビア大西洋岸電力公社に対する総額45億円のバイヤーズクレジットの供与について調印。 (YU・NK・MN)

5・11	グアテマラ	今年1月、末端価格30億円の覚せい剤10キロを持ちこもうとしたグアテマラ女性モラレス・ヒルに懲役5年の実刑判決。(YU・MN)
5・12	ブラジル	日米欧の有力銀行8行、ブラジル石油公社に総額4億ドルの協調融資。(NK)
5・13	アルゼンチン	前川日銀総裁、IMF暫定委閉会後の記者会見で対アルゼンチン制裁に警告。(YU)
5・13	エクアドル・ コロンビア	米GM(ゼネラル・モーターズ)社、両国でいすゞ自動車の四輪駆動車のKD(現地組み立て)生産を開始。各々年産3,000台規模。(NS)
5・15	アルゼンチン	アルゼンチン日系人会、ブエノスアイレス市で沖縄祖国復帰10周年記念式典開催。(YU)
5・16	ブラジル	サンパウロ市にオートバイの「HONDA」、ライダーのための安全運転教育センター設立。(YU)
5・17	アルゼンチン	アレマン経済相、ニューヨークの同国総領事館で、米国、日本、カナダの主要銀行代表と会談、同国の対外債務問題について説明。(NE)
5・17	アルゼンチン	日本電気がブエノスアイレス市に建設していた光通信を使ったデジタル電話網(250億円)完成、近く稼働。(NS)
5・17	メキシコ	帝人と伊藤忠商事、メキシコでの繊維合弁会社「ポリノバ」から撤収。(NK・YU)
5・19	アルゼンチン	ハメス・M・ワーモン新駐日大使着任。(YU)
5・19	アルゼンチン	日系漁民「戦争海域」へ出漁して情報収集。英軍の捕虜に。(YE)
5・21	ペルー	イワシ・サバなどの雑魚を特殊加工したマリンビーフのプラント工場を日本の無償提供で建設のため調査団出発。(YE)
5・21	アルゼンチン	スイス室内合奏団の英国人とアルゼンチン人団員、フォークランド紛争で議論、日本初公演中止。(MN)
5・21	メキシコ	バンク・オブ・アメリカを代表幹事に、日米欧、アラブ、メキシコの有力銀行が参加する国際協調融資団、メキシコ政府に25億ドルの国際融資。(NK)
5・21	ラテンアメリカ	国際電信電話(KDD)、エクアドル、ウルグアイ、エルサルバドル、グアテマラあての通話料の値下げと国際ダイヤル通話サービスの認可を郵政大臣に申請。(NK)
5・22	アルゼンチン	宮沢官房長官記者会見。フォークランド紛争がイギリスの上陸開始で拡大の方向にあることを憂慮し、国連を中心とした調停工作再開を主張するよう国連日本代表部に訓令した旨表明。(YE)
5・22	アルゼンチン	カルロス・フラギオ元駐日大使来日、戦闘長びけば有利と語る。(AH)
5・23	キューバ	NHK杯国際男子バレーボール大会最終日、全日本、キューバに完敗。(MN)

5・23	メキシコ	九州大学理学部広野求和教授のレーザー・レーダー観測で、3月末に大爆発を起こしたエルチチョン火山（2,225m）の火山灰を含んだ高濃度の微粒子雲が、日本上空を覆っていることが判明。 (YE)
5・27	ニカラグア	空調工事の中堅会社「ナミレイ」の一連の恐喝事件で、主犯のナミレイ前会長、松浦良右と元顧問、額賀薫生、ニカラグアの地熱発電プロジェクト（75億円事業）を契約した日商岩井・川崎重工グループに巨額の「口きき料」をもちかけた事実判明。(YU)
5・27	アルゼンチン	アルゼンチン、英国両国の大使館付武官、記念艦「三笠」艦上の式典に同席。(NK・YU)
5・28	パナマ	小坂運輸相、経済対策閣僚会議で第2パナマ運河計画の積極的推進を政府各省、関係機関に要請。(NE)
5・30	メキシコ	東京銀行を主幹事に11行が約1億5,000万ドルを融資している、中南米最大の企業集団、アルファ・グループ経営危機。(NK)
5・30	アルゼンチン	フォークランドにも英陸軍第5歩兵旅団の一部として送られているグルカ兵、香港駐留の英陸軍第10グルカ・ライフル大隊のパーティーと日本アルプス穂高連山で約2週間の訓練。(AH・NK・MN)
6・1	メキシコ	メキシコ原油の輸入量、来日中のモクテスマ・ペメックス（メキシコ石油公社）総裁とメキシコ石油輸入の永山時雄社長との会談で合意。6月は日量11万バレル、7月は15万バレル。(NK・YU)
6・2	ボリビア	国際協力事業団の手で日本から送られた医療協力班の活動を紹介した映画、「アンデスの嶺のもとに」日本産業映画大賞受賞。(MN)
6・3	グアテマラ	トーマン、グアテマラの駐在員事務所閉鎖。(NS)
6・4	メキシコ	米航空宇宙局（NASA）、メキシコのチンチョナル火山爆発で地表27.2キロに巨大雲が組成され、ハワイ、日本地域で太陽光線を遮っていると報告。(MN)
6・4	ブラジル	パリで行なわれた鈴木・レーガン会談で合意した日米航空交渉の暫定取り決めで84年度から、東京ーロサンゼルス以遠サンパウロ、リオデジャネイロに週2便の運航開始。(AH・NK・YU・MN)
6・6	アルゼンチン	ベルサイユ・サミットに出席した鈴木首相、サッチャー首相から、フォークランド紛争に関するわが国の態度についての抗議に対し、アルゼンチンとの友好関係が続けるという日本の立場を強調。 (YE)
6・7	ブラジル	鈴木永二三菱化成工業会長、同国政府から、民間最高の勲章「オルデン・デ・リオブランコ・コメンダドール勲章」を授与。(NS)
6・10	ペルー	鈴木首相、リマ市到着。(NE・AE・ME・YE)
6・11	ペルー	鈴木首相、ベラウンデ大統領と会談、100億円を越す経済援助を

6・11	ニカラグア・ ホンジュラス	表明。午後、日系人主催の歓迎会に出席。(AE・YE・NE・ME) 日本政府、両国の大洪水に緊急援助。各5万ドル。(YE)
6・13	ブラジル	南米を訪問中の鈴木首相、サンパウロ着。13日、リオデジャネイロ、14日ブラジル入り。「セラード農牧研究センター」視察。フィゲイレド大統領と会談。15日帰国の途につく。(MN・AH・YU・NK)
6・13	ブラジル	訪伯中の鈴木首相、カラジャス鉄鉱山開発計画に日本の官民一体の協力を表明。資金協力は総額5億ドル。日本の鉄鋼各社が引き取る鉄鉱石は年間700万トン～1,000万トン。(NE)
6・14	メキシコ	現地法人メキシコ三菱商事、メキシコ市に地上9階、地下1階の自社ビル完成。(NK・YU)
6・14	ブラジル	鈴木首相、フィゲイレド大統領との会談で、セラード開発のため120億円(5,000万ドル)の円借款供与を約束。(NE・ME・AE・YE)
6・15	メキシコ	鈴木首相、ブラジルからハワイに向かう途中、立寄ったアカプルコ空港で、ポルティージョ大統領からの電話で約10分間会談。(MN)
6・21	ラテンアメリカ	「魚の王様」と呼ばれる淡水魚「ペヘレイ」日本で養殖。日本ペヘレイ開発研究会が東京で試食会。(AE)
6・21	アルゼンチン	日本政府、フォークランド紛争の停止により、アルゼンチンに対する経済制裁措置解除を決定。(ME・NE・AE・YE)
6・21	ペルー	ペルー政府、日本鯷魚漁業協同組合連合会に、ペルー水域でのカツオ・マグロ漁船の入漁料を半分に引き下げ、かわりに同国向けイカ漁への協力を提案。(AH・MN・YU・NE)
6・24	アルゼンチン	「タンゴ王、カルロス・ガルデルに捧ぐアルゼンチン映画の夕べ」アルゼンチン大使館主催で東京で開催。(AE)
6・25	ブラジル	演歌歌手千昌夫、サンパウロで3日間公演。(YE)
7・1	ペルー	リマ首都圏電話網整備計画の実施に協力して、98億7,000万円の円借款供与。(YU・MN)
7・5	アルゼンチン	(～15)現代アルゼンチン彫刻巨匠2人展(ギュラ・コシセ、エニオ・イオンミ)箱根の彫刻の森美術館で開催。(ME)
7・12	メキシコ	メキシコ日産、1961年創業以来、21年間で累計生産台数50万台突破。(YU・AH・NS)
7・13	メキシコ	シカルツァ製鉄所第2期拡張工事に対する政府ベースの円借款、総額178億円供与。(NE・YU・AH・MN)
7・16	メキシコ	日本輸出入銀行、メキシコ国営製鉄所に、総額719億円のバイヤーズクレジット供与。(NS)
7・20	パナマ	プロボクシングWBCジュニアフライ級タイトルマッチ、チャン

		ピオン友利正対挑戦者、同級1位、イラリオ・サパタの15回戦で、サパタ2-1の判定で王座奪回。(MN・AH・NK)
7・23	ガイアナ・ベリーズ	国際捕鯨委員会(IWC)にベリーズ、ガイアナ、セネガルの非捕鯨3カ国が新たに加盟し、3年後に捕鯨全面禁止を決定。水産庁と捕鯨業界は強いショック。(YE・MN・NK・AH)
7・26	メキシコ	世界文化政策会議(ユネスコ主催)に玉生政務次官以下12人の政府代表出席。(YU・ME)
7・29	キューバ	キューバの障害児が描いた絵の展覧会、都障害者福祉会館で1カ月開催。(MN)
7・30	パラグアイ	東京銀行を主幹事とする邦銀7行で構成する民間協調融資団と日本輸出入銀行、同国政府向けに各々20億円、89億円の円建て融資、契約調印。(NK)
8・4	コロンビア	間組、プライヤス地下水力発電所の建設土木工事の国際入札で一番札。入札金額は100億円以上。(NS)
8・4	ブラジル	川崎製鉄を中心とする日本グループ8社とリオドセ社との合弁事業のカパネマ鉄鉱山、開山式。58年度以降本格操業で年産1.100万トン前後。(MN・AH・YU)
8・5	チリ	元トルコプロ従業員、観光ビザで入国したチリ女性に売春を強要。(MN)
8・6	プエルトリコ	日本輸出入銀行、プエルトリコ電話公社に総額82億円のバイヤーズクレジットを供与。(NK)
8・6	ラテンアメリカ	(~17)「もっと遠く／もっと広く／展」— 開高健南北アメリカ大陸縦断の旅— 新宿伊勢丹で開催。(AH)
8・7	ブラジル	ブラジル長崎県人会から長崎県民ヘインスタントコーヒー280キロの水害見舞い。(YU)
8・9	パナマ	沖縄・西表島沖を航行中のパナマ船籍のタンカー「ワールドコスモス」(乗組員30人)、同じく、久米島沖を航行中のパナマ船籍の貨物船「マービック」座礁、漂流。(YU)
8・10	ブラジル	三井物産、ブラジル連邦鉄道からリオデジャネイロ近郊線改善計画向けの変電システム近代化設備など総額55億円を受注。(NK)
8・10	ジャマイカ	レゲエ・グループ、サード・ワールド初来日。(YE・AE)
8・10	ベネズエラ	住友銀行を主幹事に、日米欧、アラブ地域の計17行が参加する協調融資、総額2億ドル、ベネズエラ政府と契約調印。(NK)
8・11	アルゼンチン	日本からの経済協力プロジェクト、アルゼンチン国営ソミサ製鉄所の熱間圧延工場建設について、日本側関係企業50数社で構成する経団連ソミサ委員会、アルゼンチンの要請で2年延期を決定。(AH)
8・12	ベネズエラ	東京芝浦電気— 三井物産、三菱重工業— 三菱商事、ベネズエラ

			投資基金（FIV）からスーリア火力発電所向け発電プラントを各々受注。東芝がタービン発電機約85億円、三菱重工がボイラー約300億円。（NK）
8・13	メ	キシコ	メキシコ外為市場閉鎖の措置により、日本から進出している企業99社、悪影響を懸念。（NK・MN）
8・13	ブ	ラジル	ブラジル運輸省交通局の主任技師ムリロ・ヌーネス・デ・アゼベート氏、浄土真宗本願寺派の本山・西本願寺で得度し、帰国。（AE）
8・16	メ	キシコ	6月上旬から約3カ月間の日程で米大陸親善訪問を続けている海上自衛隊練習艦隊（乗組員760人）、ベラクルス港入港。（YE）
8・16	チ	リ	3年前、北海道から空輸したシロザケの卵から育った親ザケ、ふ化場のシンプソン川に戻り、これから採取した卵から数千匹の稚魚誕生。（MN）
8・16	チ	リ	外務省人事、駐チリ公使に稲吉日出蔵氏。（YE）
8・18	メ	キシコ	日米欧の対メキシコ債権国による国際協力体制、米FRB（連邦準備理事会）を軸に、IMF（国際通貨基金）、BIS（国際決済銀行）の国際機関、各国中央銀行、各民間銀行団の結束で実現。BISの15億ドルをはじめ、総額50億ドル前後のつなぎ資金融資。（YU・MN・AH・NK）
8・20	メ	キシコ	9月末東京で開催予定の第14回日墨経済協議会延期。（NK・MN）
8・20	メ	キシコ	エルソグ蔵相、ニューヨーク連邦準備銀行で、日米欧各地域の民間銀行115行の代表者に、同国の800億ドルの対外債務の3カ月以上の繰り延べを要請。銀行団側は原則的了承の対応。（YE・AE・NE・ME）
8・20	パ	ナマ	第2パナマ運河建設に参加のため、運輸省、58年度予算概算要求で、事前調査費として1億700万円を要求すると正式発表。（MN・NK・YU・AH・NS）
8・20	ブ	ラジル	わが国が官民一体で総額5億ドルを融資するカラジャス鉄鉱石開発の資金協力で、新日本製鉄など鉄鋼7社で設立した日本カラジャス鉄鉱石が貸しつけるインポートローン（輸入金融）、日本輸出入銀行の直接借款、民間協調融資の合わせて4億5,000万ドル分についてリオドセ社と正式契約。（MN・AH・NS）
8・24	ブ	ラジル	「サンバの女王」クララ・ヌネス初来日、全国公演。（YE・AE）
8・29	メ	キシコ	国際決済銀行（BIS）加盟の各国中央銀行当局者、メキシコへの緊急短期融資、総額18億5,000万ドルに決定。日本銀行は第3位の約1億5,000万ドルを分担。（MN・YE・AE・NK）
8・30	キ	ューバ	キューバ中央銀行、同国に債権を持つ日本の主要各銀行に対し、総額13億ドルの大巾繰り延べを要請。（YE・MN・NK・AE）
8・31	ウ	ルグアイ	東京銀行が共同主幹事として参加する国際協調融資1億3,000万

		ドル調印。(YU)
8・31	ジャマイカ	日産自動車、アーバン(キャラバン)198台、新型シビリアン70台を受注。(NS)
9・4	ラテンアメリカ	日本通運、中南米向け貨物について、海運と航空を組み合わせた複合輸送サービス開始。対象都市はカラカス、ボゴタ、パナマ、サンチャゴ。(NS)
9・4	メキシコ・ブラジル	(～18)日本産業用ロボット工業会主催の「メキシコ及びブラジル海外投資基礎調査団」一行4人出発。(NS)
9・7	メキシコ	エルソグ蔵相、国際通貨基金(IMF)総会に参加している日本の主要為銀25行の融資責任者を招き、外貨危機救済へ協力を要請。(AE・ME)
9・8	チリ	(～9)第4回日・チリ経済委員会、サンチャゴで開催。日本側総勢60数人参加。(MN・NS)
9・8	アルゼンチン	(～10・8)アルゼンチン現代美術3人展(ニコラス・ガルシア・ウリブール、マルセロ・ボネバルディ、レオポルド・マーレル)品川原美術館で開催。(MN)
9・9	グアテマラ	旭化成工業、グアテマラにあるアクリル紡績糸の合弁生産会社の生産量を減らし、労働者のレイオフ(一時帰休)を実施。(NS)
9・9	アルゼンチン	日本電気の現地法人、NECアルゼンチン、アルゼンチン電気通信公社「エンテル」向けタンデム電話交換器据え付け完了(総額1億3,000万ドル)、開局式。(NS)
9・9	キューバ	カプリサス外国貿易相来日、累積債務10年繰り延べを要請。(YU・MN・NK)
9・12	キューバ	(～17)マルミエルカ・ペオリ外相来日。(NK・AH・YU)
9・13	ブラジル	カラジャス地域開発計画で、ブラジル政府、わが国の国際協力事業団と共同で企業化開発調査。大統領府企画庁、農務省の担当官来日。(YU)
9・16	パナマ	国際電信電話(KDD)、日本-パナマ間の直通電話回線4回線を引くとともに同国向け通話料金の値下げを申請。(YU・NK)
9・17	パナマ	日立造船、石油精製品運搬船「プラネディア・トリティア」号を船主のスコルパ・プラネディア・トランスオイル(パナマ)に引き渡し。(NS)
9・18	メキシコ	わが国有力金融機関がまとめた主要銀行別のメキシコ向け融資残高(今年7月末現在)で、東京、富士、第一勧業、住友は各々10億ドル前後、貸付率が自己資本の50%を超えているところ6行と判明。(NK)
9・19	プエルトリコ	(～28)日本企業誘致のため、同自治政府経済開発庁長官以下6人の使節団来日。(YU)

9・24	メキシコ	一時帰国中の菊地駐メキシコ大使、同国の債務救済問題について鈴木首相に報告。(NK)
9・28	ラテンアメリカ	(～10・1)日本輸出入銀行、米州開発銀行(IDB)と共催で「日本・ラ米諸国経済交流促進シンポジウム」開催。中南米16カ国70人参加。(NS・AH・NK・MN)
9・28	パラグアイ	デュエット「イパカライ」初来日。(AE)
9・28	ペルー	(～10・6)ウジョア首相(閣僚会議議長)来日。(AH・MN・YU)
9・29	ベネズエラ	ウゲト蔵相、ニューヨークで、米国、日本、カナダの民間銀行融資担当者に支払い満期のきた88億ドルの対外短期ローンを中期に切り替えるよう要請。(AH・NK・MN)
10・1	ブラジル	日本航空、バリグ航空と提携し、ニューヨーク経由で、日伯間の国際航空貨物輸送開始。(NK)
10・1	アルゼンチン	ソミサ製鉄所熱間圧延工場建設に対し、日本側が予定していた5,000万ドルの投資を中止。(MN・YU・AH・NK)
10・1	ペルー	日本輸出入銀行、ペルー開発金融公社に対し、50億円のバンクローン供与、調印。(NK)
10・1	パナマ	米国、パナマ両国からわが国に対し、第2パナマ運河建設計画の企業化調査のための準備委員会に参加するよう招請状。(YU・NK・MN)
10・1	エルサルバドル・ グアテマラ	日本政府、豪雨災害により、各々5万ドルの緊急援助。(NE)
10・3	ブラジル・メキシコ	浩宮さま、ブラジル公式訪問の旅に出発。4日リオデジャネイロ着。5日ブラジルでフィゲイレド大統領を表敬訪問。6日サンパウロ着。7日日系人主催の歓迎式に出席。8日ブラジルの若い音楽家とピアノで演奏会。9日イグアス着。11日ツバロン製鉄所視察。13日日本の同行記者団と会見。15日マナオスからメキシコ入り。18日帰国。(AH・YU・MN・NK)
10・4	アンチグア・ バーブーダ	日本政府、外交関係開設。(AH・YU)
10・5	ペルー	来日中のウジョア首相、鈴木首相と昼食会。(YU・MN・AH)
10・8	ブラジル	サンパウロ市の日系精神薄弱児施設であるパウリスタ児童療護会「子供の園」(120人収容)日本からの1,000万円余の寄付金で新館完成。(AH)
10・13	メキシコ	埼玉県とメキシコ州との姉妹州提携3周年記念で、メキシコ州立自治大学の学生楽団「エストウディアンティナ」20人、浦和市で公演会。18日まで滞在、見学。(NS)
10・14	ペルー	リマ市の「天野博物館」創設者、天野芳太郎さん老衰で死亡。(NE・AE)
10・15	ブラジル	邦銀2行(第一勧業、三和)を含む国際協調融資団、電気通信公社「テレプラス」に1億1,000万ドルの融資、調印。(NE)

10・17	ペル	ー	古代アンデス文明の考古学的調査を行っていた東大の「核アメリカ学術調査団」紀元前1,000年～200年の神殿跡発掘。(YU)
10・21	ジャマイカ		商用でキングストンに滞在中の日本人、強盗に襲われけが。(AH)
10・22	ペル	ー	国際捕鯨委員会(IWC)の国際鯨類調査10カ年計画(IDCR)の航海計画会議で、1982-83年漁期の調査はペルー沖と南極海の一部を対象とすることが決定。(AH・NK)
10・22	メキシコ		日本輸出入銀行、メキシコ産業金融公社に36億円の融資契約調印。(NS)
10・28	アルゼンチン		日揮、アルゼンチンの建設会社サーデと組み、同国国営石油会社(YPF)から総額約3億ドル(約828億円)の石油精製プラント受注。(NK)
10・28	キューバ		カストロ首相から日本政府に対し、中米平和に協力を求める親書。30日鈴木首相これに答えて支援拒否の返書。(YU)
10・28	バハマ		バハマ連邦政府観光局日本事務所オープン。(ME・AE・NS)
10・29	ブラジル		日伯協力のアマゾンアルミニウム計画でアルミナ工場建設凍結の方針。(AH)
11・1	アルゼンチン		アルゼンチン中央銀行は、主要邦銀9行に返済満期が迫っている短期ローンの中・長期ローンに切り替えるよう要請。(YU・ME・NE)
11・1	キューバ		フランス、日本、スペイン、スウェーデンおよびイタリアの民間および政府系銀行代表に、12億ドルの中長期債務の返済繰り延べ要請。(NE・ME・AH)
11・2	ブラジル		外務省人事、伊達邦美国際交流基金理事を駐ブラジル大使に任命。(ME・AE・NE)
11・2	ペル	ー	(～4)「アンデスの染織」特別展、文化学園服飾博物館で開催。(AH)
11・2	ベネズエラ		日米欧の民間銀行に対し、短期債務28億ドル(邦銀分は7億ドル)の返済猶与を要請。(NK・YU)
11・3	ベリーズ		日本政府、外交関係樹立し、書簡交換。(ME・YE・AH)
11・3	ブラジル		(～25)サンパウロ美術館展、新宿・朝日生命ギャラリーで開催。(MN・NK・YU)
11・4	メキシコ		クラリオン、現地のアエムサ社に委託しているカーオーディオのKD(組み立て)生産を停止。(NS)
11・5	メキシコ		アイシン精機の現地製造会社「リバティ・メヒカーナ社」来年から大幅減産の方針。(NS)
11・9	ブラジル		米大手商業銀行シティバンク、三井銀行およびブラジル銀行の3行が主幹事となって取りまとめたブラジル向け国際協調融資7,000万ドル調印。(NK)
11・9	キューバ		元東京キューバン・ボーイズの指揮者見砂直照氏、キューバの文化

11・9	コスタリカ	功労章を受章。(AE) サンホセ市の日系企業、松下エレクトリック社の小菅徹二社長、武装5人組に誘拐されかけ、警官隊との撃ち合いで重傷。(AH・ME・YE・NE)
11・9	メキシコ	日本交通公社の長瀬恒雄会長、メキシコ政府観光審議会から「観光功労勲章」授与。(AE)
11・10	パナマ	外務、運輸両省など政府と財界や関係機関代表、「パナマ運河問題懇話会」を発足。(NK・MN・AH・YU)
11・11	ドミニカ	昭和31年農業移住した日本人移民、日本側の募集要綱との食い違いで「ドミニカ居住者基本問題解決促進委員会」結成、日本政府を告発。(YU)
11・11	アルゼンチン	東京銀行を含む外国銀行10行との間で、13億5,000万ドルのつなぎ融資に合意。(NE・YE)
11・11	ブラジル	ブラジルの文学者でアカデミア・ブラジレイラ・デ・レTRAS会員のクロドミール・ヴィアナ・モーグ、日本ブラジル中央協会設立50周年記念講演のため、同協会の招きで来日。(AE)
11・12	ブラジル	三菱銀行の現地法人「ブラジル三菱銀行」現在の資本金10億7900万クルゼイロを年内に21億5,800万クルゼイロに倍額増資を決定。(NS)
11・13	ブラジル	帝人、現地法人の「帝人ド・ブラジル」の出資株式を半分に評価下げし、57年9月中間決算で16億5,000万円の特別損失を計上。(NS)
11・13	ベネズエラ	東亜石油、フレキシコーキング法による重質油分解装置のプラント完成に伴ない、技術陣4人派遣。(NS)
11・16	ラテンアメリカ	日本・ラテンアメリカ婦人協会主催の恒例の日本ラテンアメリカ・フェスティバル、高輪プリンスホテルで開催。(AH)
11・17	ブラジル	日本鋼管・丸紅グループ、ブラジル最大の合金鉄メーカー、シブラ社への出資比率を従来の22%から33.4%に拡大。(NS)
11・18	トリニダード・トバゴ	住友商事、政府電力庁から、複合発電設備約170億円(約6,400万ドル)受注。(NK)
11・19	ブラジル	川崎製鉄、ツバロン製鉄に対し、割賦売却の形で5億ドル資金援助。(AH)
11・19	アルゼンチン	(~21) タンゴの巨匠アストル・ピアソラ初来日。(YE・AE)
11・26	ブラジル	ブラジル中央銀行の管理下で清算中のフィナンシラール投資銀行に、1974年から76年にかけて東京銀行から派遣されていた6人の日本人役員、今月初め不正経理で起訴。(MN)
11・26	ブラジル	作曲家、服部公一氏とポルト・アレグレの新村徳也日本総領事、現地の学校に校歌をプレゼント。(AH)

11・30	パナマ	WBCジュニアフライ級タイトルマッチ、チャンピオン、イラリオ・サパタ対挑戦者同級1位友利正15回戦で、サパタ、8回1分59秒TKOで2度目の防衛に成功。(NK・MN・AH)
11・30	パナマ	強い風雨を伴った大型低気圧により横浜港内にいたパナマ船籍の自動車運搬船「ワイルドローズ」岸壁に激突。(YU)
12・2	コロンビア	東京で5,000万円に上る盗みを重ねていたコロンビア人窃盗団の主犯逮捕。(ME・AE)
12・2	コスタリカ	11月初めサンホセで襲撃され、重体となり米ヒューストンの病院に入院していたコスタリカ松下電器会社の小菅徹二社長、死亡。(NE・MN・AH・YE)
12・3	コスタリカ	松下電器産業と松下電器貿易、コスタリカ松下電器の日本人社員10人全員を引き揚げ決定。(NK)
12・9	ブラジル	東京銀行、住友銀行など日本の主要銀行6行、短期のつなぎ資金2億5,700万ドル融資を決定。(NE)
12・9	メキシコ	日米欧の民間銀行団に出されていた50億ドルの追加融資の要請に関し、わが国の大蔵省、協調融資に応じる方針で、民間銀行に協力をよびかけ。邦銀の分担は15%、7億5,000万ドルの計算。(MN)
12・10	メキシコ	メキシコに債権を持つ日米欧民間銀行団の幹事グループ、83年に50億ドルの新規の中長期融資を行ない、既貸し付け分の約160億ドルの返済も中期ローンへの借り換えに応じることに合意。(NE・YU)
12・14	メキシコ	メキシコ石油輸入、83年の同原油引き取り量を今年第4四半期(10-12月)並みの日量16万バレルとする意向。(NS)
12・15	パナマ	日、米、パナマ3国による第2パナマ運河建設計画の「企業化調査準備委員会」の第1回会合、パナマ市で開会。(NK・MN・AH)
12・17	ブラジル	日清紡績の現地法人「ニッシンボー・ド・ブラジル」の第2工場、来年3月完成で同社のブラジルでの規模は4万錠体制を整備。(NS)
12・20	ペルー	今年の暖冬について、ペルー沖の太平洋の海面温度が異常に上昇する「エル・ニーニョ」現象がその有力な原因と気象庁発表。(YU・MN・NK・YE)
12・23	アルゼンチン	「サンマルチン」南極基地にいる冒険家の植村直己氏、南極大陸犬ゾリ3,000キロ旅行と最高峰ピンソンマシフ(5,140m)の登頂計画中止。(YU・MN・AH)
12・23	ブラジル	日本石油、子会社の日本石油開発を通じ、米国系シェブロンがサンパウロ沖で行なっている石油開発事業に10%の資本参加の契約。(MN・NK・AH)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
朝日	AH	AE
毎日	MN	ME
読売	YU	YE
日本経済	NK	NE
日経産業	NS	
ジャパントイムズ	JT	
日本工業	NI	
東京	TK	

イベロアメリカ研究所

新 刊 紹 介

グスタボ・アンドラーデ編

『ラテンアメリカにおけるカトリック教会の役割』

1983年3月31日 106p. B5版 1,500円(学生1,300円)

内容：小林一宏「宣教・学校・ユートピア—ヌエバ・エスパーニャにおける
“魂の征服”—」

佐野泰彦「ボンバル侯とイエズス会—ポルトガル宰相没後二百年に寄せて—」

Andrade, Gustavo 「La Iglesia Católica y la Política en
América Latina」

Lorscheiter, Vendelino 「O Papel da Igreja Católica no Brasil」

水野 一「ブラジルにおけるカトリック教会と政府の関係」

高山智博「メキシコにおける宗教シンクレティズム」

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 1983年
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 6(2)
Issue Date	1984-11-28
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9022
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌——1983年

月 日	国 名	記 事
1・4	ラテンアメリカ	商船三井とジャパンライン、中米・カリブ航路で共同配船契約を結び、1月から従来の月間各2航海を両社合わせて2航海に縮小。 (NK)
1・4	ブラジル	邦銀25行、西側銀行団121行に対する計44億ドルの新規融資要求に対して、負担が大きすぎると交渉行き詰まり。(MN・NK)
1・7	ジャマイカ	上島珈琲、国際協力事業団から約2億5千万円の融資をうけ、「ブルーマウンテン」の大規模農園経営に着手。65年の完了時で320ヘクタール、年間生産約360トン、総投資額約13億円の見込み。 (NK)
1・7	ブラジル	富士ゼロックス、「ゼロックス・ド・ブラジル」(本社ブラジル)へPPC(普通紙複写機)「2970」の部品供給。輸出規模年間1万～2万台。(NS)
1・7	チリ	東京銀行、チリ電力庁に対し、邦銀22行による200億円の協調融資をすると発表。(NK)
1・9	アルゼンチン	(～3・26)タンゴ界の名ピアニスト、編曲・指揮者のオルランド・トリポディ、自らの楽団を率いて来日、55回の公演。(AE・YE)
1・13	ラテンアメリカ	昨年の9月末時点の大蔵省調査によると、わが国の対外融資残高584億ドルのうち中南米諸国向けは195億ドルに達し、6月末比で5億ドルの増加。(NK)
1・14	メキシコ	メキシコ石油輸入の永山時雄社長、今年と同原油の引き取り量を57年並みの日量16万バレルと発表。22日同社長の訪墨で契約。 (NS・NE)
1・16	キューバ	東芝と米アンペックス社との合弁会社「トアムコ」、1976年にキューバにビデオテープレコーダーなどを輸出したことが米輸出管理法違反に問われ、3カ月間の輸出停止。(YU)
1・17	ブラジル	日米欧主要銀行による対ブラジル新規融資は33億ドル、このうち邦銀の関係24行は計7億2700万ドルの分担で合意。(NE・MN・YU)
1・19	メキシコ	日産自動車、金融不安のため落ち込んでいたメキシコでの自動車KD(現地組み立て)生産台数を、2月以降もとに戻すと発表。(NS)
1・25	エクアドル	日本政府、洪水被害に対して5万ドルの緊急援助を閣議決定。 (NE・AE)
1・28	ラテンアメリカ	外務省人事、中南米局長に羽澄光彦シドニー総領事を起用。(ME・YE・JT)

1・28	メキシコ	メキシコ石油輸入の永山社長、83年契約更改交渉を終え帰国、記者会見。日量16万バレルで1月の価格はイスムス1バレル＝32ドル50セント、マヤ同25ドル。2月以降は毎月交渉。(MN・NK)
1・29	ラテンアメリカ	(～2・19)東京・ウエアハウス・ギャラリー上田で「ラテンアメリカ現代美術4人展」。(NK)
1・29	ガイアナ・ボリビア	国際電信電話(KDD)、2月1日から同2国を含む6地域の国際ダイヤル通話サービスを開始、同時に通話料15%引き下げを発表。(NS)
1・30	パナマ	(～2・8)第2パナマ運河構想推進のため、永野重雄日商会頭を団長とする「訪パナマ経済使節団」27人の財界人、パナマを訪問。(MN・AH・YU)
1・30	エクアドル	電子交換機商談の国際入札で、日本3グループ(住友商事と日本電気、三井物産と日立製作所、伊藤忠商事と富士通)を含む8グループが応札。事業規模は7500万ドル前後。(NS)
1・31	メキシコ	シルバ・エルソグ蔵相訪日。今後の融資協力を要請。(NE・YU・MN)
2・1	メキシコ	外務省人事、駐メキシコ大使館参事官に経済局資源1課長杉山洋二氏を起用。(NE)
2・1	メキシコ	(～6)染色工芸家吉見逸朗さん、メキシコの巻貝から再現した幻の貝紫の染物展、東京・銀座・東京セントラルアネックスで開催。(MN)
2・1	ブラジル	(～13)榎本一彦日本青年会議所会頭、ブラジルを訪問。(NS)
2・2	パナマ	永野重雄日本商工会議所会頭を団長とする経済使節団、パナマ着。3日、大統領と会談。5日、記者会見で第2パナマ運河建設予備調査は2年以内に完了と発表。(AH・MN・YU・NE)
2・2	ペルー	新潟鉄工所と三菱商事、ペルー漁業省からマリンビーフ・プラント受注。建設資金23億5000万円は全額日本政府の無償援助。(NE)
2・3	ブラジル	日本、イタリア、ブラジルの共同でブラジルに建設中のツバロン製鉄、操業開始が再び4カ月延長され今年10月からの見通しと発表。(AH)
2・3	コロンビア	東洋工業、同国の自動車組み立て・販売会社「コムパニア・コロンビアナ・アウトモトリス」(略称CCA)との間で、小型トラック「マツダB1600」(日本名マツダプロシード)の現地組み立てに合意、初年度3000台の生産計画。(YU・NS・MN・AH)
2・4	メキシコ	来日中のシルバ・エルソグ蔵相、竹下蔵相を訪問し経済再建の決意を表明。(NK・MN・AH)

2・4	チ	リ	ルデルス蔵相とカセレス中央銀行総裁、対外債務の借り換えについて協議のため、英、独、日本を歴訪。(NE・MN・YU・JT)
2・7	メ	キシコ	クラリオン、昨年10月以降停止していた同国でのカーオーディオの生産を一部再開。(NS)
2・7	メ	キシコ	日本輸出入銀行、メキシコ産業金融公社(NAFIN)に対し総額43億円の円建て融資に調印。(NK・YU)
2・7	ブ	ラジル	リオデジャネイロ州のブリゾーラ次期知事、飛鳥田社会党委員長を表敬訪問。(AH)
2・9	メ	キシコ	三菱商事、同国でのナイロン原料カプロラクタム合弁生産計画の実施を2、3年後に控えて、カプロラクタムの市場開拓に着手。(NK)
2・10	パ	ナマ	青木建設、同国で最大、最高級のホテル「エル・マリオット・パナマ・ホテル」を買収し、第2運河建設工事受注のための拠点づくりを推進。(NE・NS)
2・10	ブ	ラジル	紙パルプ大手19社の共同出資会社「日伯紙パルプ資源開発」、セニブラ、フロニブラの両資源開発事業会社を合併させ、ブラジルの国策鉱山会社リオドセと合併で、原料から製品生産までの一貫体制を確立。4月中に契約調印の予定。(NK)
2・13	メ	キシコ	ゴメス、東京マラソンで3位。1位は瀬古選手。(AH・NK・MN・JT)
2・13	ブ	ラジル	サンパウロのカーニバルで、日本移民75周年を記念して「日本とその移住者」をテーマにしたエスココーラ・デ・サンバが登場。(AH)
2・14	ブ	ラジル	庭野平和財団、第1回庭野平和賞を同国のカトリック大司教、エルデル・ペソア・カマラ神父に贈ると発表。(AH・NK・MN・YU・JT)
2・18	ブラジル・メキシコ		サントリー、海外での即席めん戦略が軌道に乗り、57年度の生産数量はブラジルで前年比2倍増の1200万食、メキシコで40%増の1000万食。(NS)
2・19	ラテンアメリカ		大蔵省、都市銀行に対し、3月期決算から新設予定の「海外債権損失引当金」は有税で、メキシコ、ブラジルなど20カ国を対象に積み立てるように提示。(MN)
2・21	ブ	ラジル	若手経営者から成る「21世紀を考える会」のブラジル視察団(17人)、成田出発、同国各界の要人と懇談。(ME)
2・24	ラテンアメリカ		安倍外相、メキシコ、ブラジルなど在中南米19カ国大使団と会談、債務問題で協力約束。(YU・NK)
2・24	ペ	ルー	世界ボクシング協会(WBA)世界ジュニアバンタム級チャンピオン渡辺二郎、ルイス・イバネスを8回KOで3度目の防衛に成功。

		(NK・MN・AH・JT)
2・25	ベネズエラ	住友銀行、カラカス市に駐在員事務所を開設。(NS)
2・25	ペルー	日本政府、洪水被害に対して5万ドルの緊急援助。(ME・NE・AE)
2・25	アルゼンチン	日本水産、同国で大規模漁業基地建設に着手。2000トン収容能力の冷凍冷蔵庫と年間7500トン処理能力の加工工場、総工費約10億円。
2・28	ブラジル	アマゾンアルミプロジェクトのアルミナ事業計画の両国出資者代表、計画変更についてトップレベルの協議。(NK)
3・1	ブラジル	第一勧業銀行など邦銀22行、わが国の商社、リース会社と共同でツバロン製鉄を支援。建設資金の不足分約4億5000万ドルを融資、完成設備をリース方式で操業。(NK)
3・2	ラテンアメリカ	日本貿易振興会(ジェトロ)、58年の中南米経済の見通しを発表し、低迷、不振傾向が続き、上半期は回復望み薄と予測。(NK)
3・2	メキシコ	セブレバダ外相来日。4日中曽根首相、安倍外相と会談。(ME・NK・AH・JT・YU)
3・2	ブラジル	囲碁界の最長老、81才の元本因坊、岩本薫9段、ブラジルに移住し、サンパウロ、パリ、ニューヨークの3都市に5年がかりで囲碁センター設立を計画。サンパウロの3階建てビルは来年末完成。(ME・AE)
3・3	ブラジル	秋田市の老人ホーム「松寿園」(園長佐々木雄太郎氏)、マリンガ市の「和順老人ホーム」に本を贈る運動で今までに2000冊達成。目標5000冊。(YE)
3・4	メキシコ	これまでにわが国で発行した3本の円建て外債のうち、第3回メキシコ国債の一部20億円を買い入れ消却。(NK)
3・10	ブラジル	三菱重工業、国営石油公社ペトロプラスから56年2月に受注の半潜水型海底石油掘削装置完成、出港。(NS)
3・10	ペルー	日本電気、電話公社「コンパニア・ペルアナ・デ・テレフォナス」から局用電子交換機、約100億円分受注。(NK)
3・10	ペルー	建設省、58年度中に駐ペルー日本大使館に建設アタッシュを置く計画。在外公館の建設アタッシュとしては南米ではブラジル、コロンビアに続き3人目、全世界では16人目。(NS)
3・14	メキシコ	クラリオン、同国でのカーオーディオの生産、全面的に再開。アエムサ社を通じ、メキシコ日産、米GM、フォードのメキシコ法人に製品供給、9月までに2万台。(NS)
3・16	アルゼンチン	冒険家、植村直己さん、フォークランド紛争のため、南極大陸のアルゼンチン・サンマルチン基地から最高峰ビンソンマシフ(5140m)までの1500キロ犬ぞり旅行と同峰登頂計画を断念、1年2カ月ぶりに帰国。(MN・NK・AH)

3・17	ジャマイカ	小野田エンジニアリング、同国向けセメントプラント工事のエンジニアリング業務、約20億円を受注。完成は1986年夏の予定。 (NS)
3・18	ブラジル	ペナ商工相、日本、イタリアと合弁の国家プロジェクトのツパロン製鉄所、9月操業開始と発表。(NK・AH)
3・20	コロンビア	外務省人事、駐コロンビア大使館参事官に領事移住部移住課伊藤武好氏を起用。(NK)
3・22	ニカラグア	同国政府、日産自動車の現地販売代理会社を強制的に政府の統制下に編入した模様。(AE)
3・24	メキシコ	セプルベダ外相と菊地駐メキシコ日本大使、メキシコ外務省で57年度文化無償協力に関する交換公文に署名。(YE)
3・25	ニカラグア	ホルヘ・ウエソ駐日大使、東京の同大使館で記者会見し、最近同国内で起きた右派反体制派勢力の侵攻作戦に関して、米国の介入を非難。(AH・YU)
3・28	メキシコ	日本との合弁で、メキシコ市に高層ホテルを建設する「日墨ホテルプロジェクト」、着工延期の見通し。(YU)
3・29	メキシコ	82年度ノーベル平和賞受賞のアルフォンソ・ガルシア・ロブレス・ジュネーブ軍縮委メキシコ代表、国際シンポジウム「核軍縮実現への道」に出席のため3回目の来日。(AE)
3・30	ペルー	丸紅、産銅会社「ミネロペルー」に対してセロベルデ銅鉱山開発および精錬所の運転資金として5000万ドルを長期融資し、銅と亜鉛地金合わせて向こう12年間に72万トンの販売代理権を取得。 (NS)
4・2	ブラジル	日本政府、「セラードかんがい計画」の協力の一部として、大型スプリンクラーなど農業用水施設の資金に120億2100万円の円借款供与。(MN)
4・4	ブラジル	わが国の高炉大手とブラジルの国策資源開発会社のリオドセ社が進めていた83年度鉄鉱石価格交渉、前年比11.4%値下げで合意。1ユニット当たり27.47セント。(NK・JT)
4・5	エクアドル	安倍外相、来日中のパレンシア外相と会談、同国の「第2次送電網計画」に94億9900万円の円借款供与を表明。(NE・YE・JT)
4・5	ボリビア	日本政府、豪雨被害に対して10万ドルの緊急援助を閣議決定。 (YE・NE・ME)
4・7	ブラジル	(~15) エルデル・カマラ大司教、庭野平和財団の第1回庭野平和賞の贈呈式に来日、人間らしい世界の実現を強調。(YE・NK・AE・ME・JT)
4・7	アルゼンチン	在アルゼンチン日本人会長宇野文平さん、ブエノスアイレス市の日本文化会館建設の募金活動のため来日。(AH)

4・8	ジャマイカ	日本政府、ジャマイカ政府の「ブルーマウンテンコーヒー開発事業」に59億4100万円の円借款供与。(YU・JT)
4・8	キューバ	(～9) キューバ生まれのソプラノ歌手ヨランダ・エルナンデスさん、本邦初の黒人プリマドンナとして、長門美保歌劇団の4月公演「ラ・ボエーム」(東京文化会館)でデビュー。(ME・AE)
4・8	ポリビア	(～6・6) チャランゴの名人エルネスト・カブール、日本人の弟子木下崇丞さんを同行し、3度目の来日公演。(AE)
4・8	コロンビア	日本政府、地震被害に対し40万ドルの緊急援助を決定。(NE・AE・YU・MN・JT)
4・8	コロンビア	日産ディーゼル工業、同国から大型ダンプトラック100台、補修部品も含め約4億円を受注、5月下旬から船積み開始。(NS)
4・8	ペルー	海外経済協力基金、ペルー電話会社に対しリマ首都圏電話網拡充事業の資金として総額98億7000万円を限度とする借款契約に調印。(NS)
4・9	ホンジュラス	外務省人事、駐ホンジュラス大使に駐メキシコ公使中曽根悟郎氏を起用。(YE・AE)
4・9	ブラジル	サンパウロ州カンポリンボ市で日系2世のミチハル・田中市長、自宅で何者かに射殺される。(AH・NE・ME・YE)
4・10	メキシコ	世界ボクシング協会(WBA) J・フライ級チャンピオン渡嘉敷勝男、ルペ・マデラに引き分けで5度目の防衛。(MN・NK・AH・JT)
4・15	キューバ	米商務省、キューバにVTR(ビデオテープレコーダー)などを輸出し米輸出管理法違反に問われていた「東芝アンペックス」(本社横浜市)が、行政課徴金6000ドルを支払うことで合意と発表。(AE・YE・NE・JT)
4・16	バハマ連邦	リンドン・O・ピンドリング首相、船舶、企業、観光誘致のため来日。(ME・AE)
4・18	ベネズエラ	ソサ蔵相、対外債務の返済繰り延べ交渉のため来日し、日本からの20億ドルの短期融資を中長期に切り替えるよう竹下蔵相に要請。(NK・MN・AH・JT)
4・18	アルゼンチン	日本通信工業、「コンパニア・スタンダード・エレクトリック・アルヘンチナ」と、電子ボタン電話を向こう5年間供給する輸出契約締結。初年度3億円、6月から出荷。(NS)
4・19	ブラジル・ペルー	(～30) 「絶滅の恐れのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」(通称CITES)の第5回会議の4種類のクジラの商取引(捕鯨)禁止案で、日本はブラジル、ペルー、ソ連、ノルウェーとともに反対決議、7月末までに留保手続きをとる見込み。(YU・NK・JT)
4・21	プエルトリコ	産業開発公社総裁、J・コビアン氏、日本企業誘致のため来日。(NS)

4・23	ブラジル	ブラジル、日本、イタリアの3国合弁のツバロン製鉄所建設、わが国の民間シンジケート団が間接的に資金援助し、9月完成の見通し。 (MN・YU・JT)
4・25	パナマ	(～30)日、米、パナマ3カ国政府代表者から成る「第2パナマ運河企業化可能性調査準備委員会」、パナマで第2回会合開催。 (NK・YU)
4・28	メキシコ	3月のメキシコ原油対日輸出、51%削減し日量7万8000バレル、2月分も31%減。 (AH・MN)
5・2	ペルー	キャタピラー三菱、同国政府からブルドーザー60台、ホイールローダ10台を受注、5月中旬から船積み。 (NS)
5・4	ホンジュラス	来日中のパス・バルニカ外相、後藤田官房長官を訪ね中米情勢の説明および経済協力を要請。 (MN・AH・YU)
5・4	コロンビア	南米から1キロのコカイン(末端価格2億円)を国内に持ち込んでいたコロンビア人洋服商、モレノ・ムリリョ・ルイス・エルナンド逮捕。 (AH・YE・MN・NE・JT)
5・5	ブラジル	元ブラジル移民のプロレスラー、アントニオ猪木氏、資金難に悩む上智大学の「現代和葡辞典」編さん事務局に10万円寄贈。61年完成時に日本とブラジルで同時発売。 (MN)
5・5	アルゼンチン	世界ボクシング協会(WBA)フライ級チャンピオン、サントス・ラシアル、挑戦者穂積秀一を2回KO、4度目の防衛に成功。 (AH・MN・NE・JT)
5・13	ブラジル	同国連邦税務当局、輸入規制対象の日本製電気製品部品を輸入しようとしたと、日系企業4社を含む数社に追徴金および罰金を検討中。 (AE・YU・JT)
5・13	チリ	日本がコジャイケ周辺の南氷洋近くでふ化させ、放流した日本特産のシロザケ、今年4月から1004匹、母川・シンプソン川付近にそ上。 (MN)
5・16	ドミニカ	海外経済協力基金、同国アグリポ地域農業開発事業の所要資金として88億2500万円を限度とする貸し付け契約に調印。 (NS)
5・16	アルゼンチン	オルケスタ・タンゴ・モデルノスの指揮兼バイオリン奏者、志賀清さん、アルゼンチン音楽著作権協会の招待で2度目の訪問。 (AE)
5・17	ラテンアメリカ	(～19)第24回海外日系人大会に、ブラジル、アルゼンチン、ペルー、メキシコなど12カ国から約300人参加。 (YU・AH)
5・18	ブラジル	75年前、同国へ第1陣の移民を運んだ笠戸丸(6000トン)の唯一とりの生存乗組員、石塚寅二郎さん(山形県在住)に「カバレーロ(騎士)勲章」。 (AE)
5・18	アルゼンチン	神奈川県、わが国で初めて人工ふ化したアルゼンチンの淡水魚、ペヘレイを県の名産にするため業者による養殖事業を後押し。 (NK)

5・24	トリニダッド・トバゴ	外務省人事、駐トリニダッド・トバゴ大使に駐ポートランド総領事西方正直氏を起用。(NE・ME・YU)
5・24	パラグアイ	外務省人事、駐パラグアイ大使に外務省中南米局審議官山口達男氏を起用。(NE・ME・YU)
5・31	ブラジル	ジャパンカップ・ワールドサッカー第2日、ヤマハ発動機とポタフォゴ引き分け(AH・MN・NK)、6月5日第5日、ポタフォゴ、日本代表に3-1で快勝。(NK・AH・MN・JT)
6・2	パナマ	(~19) 駐日パナマ大使派遣30周年を機に、駐日パナマ大使館の選定による初の「パナマの画家による絵画展」、東京・銀座で開催。(YE・MN)
6・3	ブラジル	三菱信託銀行、リオデジャネイロ駐在員事務所開設。(NS)
6・5	キューバ	第20回NHK杯国際バレーボール大会女子の部で、キューバ3位、優勝は日本。(MN・AH・NK・JT)
6・7	ペルー・ブラジル	山形県鶴岡市の山口陽一さん、昭和46年から10年間アマゾン奥地で集めた品々3万点を公開する「アマゾン資料館」オープン。(ME)
6・10	ブラジル	日系移民75周年を記念し、日本作曲家協議会とサンパウロ州政府の共催で、今月中旬サンパウロで開かれる「日本現代音楽週間」に出席のため、作曲家服部公一さん出発。(AE)
6・17	メキシコ	グアダラハラ自治大学医学部に留学中の服部隆男さん、同市郊外をドライブ中暴漢に襲われ死亡。(YE・AE・ME・NE)
6・17	ジャマイカ	日本政府、59億4100万円の円借款を供与、政府間で書簡交換。(AH・JT)
6・19	キューバ	第20回NHK杯国際バレーボール大会男子の部で、キューバ4位、優勝はユニバシアード代表。(AH・NK・MN)
6・19	アルゼンチン	通商使節団、初来日。ブエノスアイレス州のペドロ・ポウ経済相を団長とし、漁業、農業、牧畜関係企業14社が参加。(NS)
6・20	ブラジル	横河北辰電機、エシール・S・Aとアナログとデジタルの工業計器製造技術の供与契約および販売代理店契約に調印。(NS)
6・20	ブラジル	新進女性ピアニスト、ディアナ・カクソ、初の東京演奏会。(YE・JT)
6・22	ブラジル	(~26) ジェトロとブラジル大使館、富山県民会館でブラジル産品展。(NS)
6・23	メキシコ	世界ボクシング協会(WBA)公認世界ジュニアバンタム級チャンピオン渡辺二郎、仙台ラミレス(本名ロベルト・ラミレス、メキシコ出身)に判定勝ち、4度目の防衛。(AH・MN・NK・AH・JT)
6・23	コスタリカ	日本政府、これまで供与した円借款約14億7000万円について返済繰り延べの救済措置をとることを決め、政府間で書簡交換。(AH

6・24	ボリビア	・NK) (~25) ボリビア映画「第1の敵」で知られる“ウカマウ集団”製作の国際賞受賞作品「人民の勇気」、お茶の水で上映会。(ME・YE・AE)
6・28	アルゼンチン	国際電信電話(KDD)、国際電話回線利用によるデータ伝送とファクシミリ伝送の取扱地域を同国に拡張する旨、郵政省に認可申請。(NS)
6・30	ラテンアメリカ	日本政府、中南米の累積債務国向け輸出について、民間企業の申請する輸出保険の引き受けを6月から大巾に制限中と表明。(NK)
6・30	メキシコ	矢崎総業、ワイヤーハーネス(自動車用組み電線)の製造、販売のため、現地法人「メキシコ自動車部品」を設立、月産2万5000台分の生産計画。(NS)
7・3	メキシコ	原油価格の値下げ交渉に絡めた対日批判キャンペーンが展開され、両国関係に及ぼす悪影響を懸念。(YU・AH)
7・6	ペルー	三菱金属など非鉄6社、同国で進めているコロコワイコ銅鉱山開発の58年度採鉱事業費、1億1400万円のうち50%5700万円を均等負担、残り50%は金属鉱業事業団が出資。(NS)
7・7	メキシコ	(~20)「図書と絵画によるメキシコへの旅」展、東京・南麻布で開催。(ME)
7・8	アルゼンチン	外務省人事、駐アルゼンチン大使に斎木千九郎外務省官房審議官を起用。(NE・AE・YU・JT)
7・10	メキシコ	世界ボクシング協会(WBA)ジュニアフライ級チャンピオン渡嘉敷勝男、挑戦者ルペ・マデラに4回TKO負け。(NK・AH・MN・JT)
7・12	メキシコ	日産自動車の現地法人「メキシコ日産」、アグアスカリエンテス市に350億円を投入して、アルミ鑄造、プレス、エンジン生産のための第3工場完工。(NK・MN・NS)
7・13	メキシコ	石川島播磨重工業相談役田口連三氏、メキシコ政府から民間では最高位の「アステカ勲章」を授与。(NE・YU)
7・13	メキシコ	日墨経済協議会第14回総会、メキシコ市で開会。(NE・AH・YE・MN)
7・14	ジャマイカ	日本政府、102億3400万円の円借款供与を決め、書簡交換。(AE・NK・JT)
7・15	カリブ海	外務省人事、兼グレナダ、セントビンセント、セントルシア駐在、トリニダード・トバゴ兼ドミニカ駐在大使に西方正直氏を起用。(YU)
7・15	ブラジル	サントリーの現地法人「サントリー・ド・ブラジル」、サンパウロを中心とした地域でブラジル産高級ワイン「シャトーレノン」の販売開始。(NS)

7・15	ペル	ー	日本政府、豪雨禍に対して2月に行なった5万ドルの追加措置として55万ドルの緊急援助。(YU・NE)
7・中旬	ブラ	ジル	経団連、平井富三郎新日本製鉄相談役を団長とする使節団派遣、大統領はじめ政府首脳と農業開発など大型事業について協議。(NK)
7・20	ブラ	ジル	サントリー、同社全額出資の現地子会社「ブルカニア食品工業」を通じて子供向けインスタントラーメン新発売。(NS)
7・22	ブラ	ジル	第35回国際捕鯨委員会(IWC)総会で、日本、ソ連、ブラジル3カ国合わせた南氷洋ミンク鯨の83、84年漁期(83年秋-84年春)捕獲枠を6655頭(前年7072頭)に決定。(YE)
7・22	ブラ	ジル	金属表面処理機器の製造会社、勝川工業、サンパウロ市に全額出資の現地法人「カツカワ・ブラジル・アノダイザー」設立。約1億円を投資して、アルマイト加工、メッキ処理工場を建設。(NS)
7・23	ブラ	ジル	わが国初のブラジル憲法概説書づくりに取り組んできた学者グループ、成城大学で総括会議。(AE)
7・25	キュー	バ	昨年10月ハバナ市で開かれた「現代日本絵画代表作展」に出品した洋画家、安部敬二郎さん、奈良県生駒市の中央公民館で「日本・キューバ子供美術展」開催。(ME)
7・25	ペル	ー	ペルー国営石油会社ペトロペルー、ジャパン・ペトロ・オイル社(JAPETCO)に対し、大雨による産油量減少のため不可抗力条項を発動、今年第3四半期分(7~9月)の対日出荷、約180万バレルを停止と通告。(NK・MN・YU)
7・25	パラ	グアイ	来月15日に行なわれるストロエスネル大統領の就任式典の特派大使を中尾栄一代議士に決定。(AH)
7・26	メキ	シコ	日本政府、6億5700万円の無償援助を決め書簡交換。(NK・JT)
7・26	ブラ	ジル	セーレンの黒川誠一社長、ブラジルの合弁会社「セーレン・ド・ブラジル」を撤退と記者会見。(NK)
7・27	中米・カリブ	海	安倍外相、「中米情勢について」と題する談話を発表し、コンタドーラ4カ国の「カンクン宣言」の支持を表明。(AH・YU・NK)
7・29	スリ	ナム	函館公海漁業会社所属のエビトロール漁船「第15たか丸」(98.35トン)、スリナム共和国沖北北西約166キロの大西洋上で操業中、行方不明。(MN)
8・1	バハ	マ	KDD、先に郵政相に申請していたバハマ等に対する国際テレックスの自動コール取り扱いサービス開始。(NS)
8・2	ジャ	マイカ	トーマン、キングストンに日本商社で初めて駐在員事務所開設。(AH・NS)
8・2	ブラ	ジル	石川島ブラジル造船所(略称イシプラス)、ノルウェー船主から28万重量トンの大型鉾石・石油兼用運搬船2隻受注。(NS)
8・3	コロ	ンビア	三菱重工業、コロンビア公共土木運輸省から道路整備用としてモー

8・4	ブラジル	ターグレーダー120台、総額16億円を受注。(NS) 日清紡績の海外子会社「ブラジル日清紡」、第2工場増築で、来年中に生産能力5万錠に増強。(NS)
8・4	ブラジル	東洋繊維のブラジルの子会社「ブラジル東洋繊維」、麻原料ラミーの農場拡充。最終目標1000ヘクタール。(NS)
8・11	アルゼンチン・ブラジル	丸紅、エチレンの初の3国間取引を発表。アルゼンチンのPBB(バイヤ・ブランカ石油化学会社)、ブラジルのCOPE SUL(南部石油化学会社)から買い付け。期間は3年、当面年間10万トン目標。(NK)
8・14	ブラジル	ブラジル遠征中の日本女子バレーボール選抜チーム、14戦全勝、19日帰国。(MN・AH)
8・16	ペルー	アンデス石油開発、解散決定、年内にも清算手続の見込み。同社は50年代前半に試掘井を掘った後、事実上休眠状態にあった。(NS)
8・16	チリ	三菱商事・三菱重工業・三菱電機の3社連合、国営銅公社(CODELCO)に7万8000キロワット火力発電設備、約5540万ドル(約135億円)を輸出。(NK)
8・18	コロンビア	東京芝浦電気、家電メーカー「インセルト」に洗濯機、冷蔵庫、ルームエアコンなど家電生産技術を供与、同社を通じ東芝ブランドで販売の契約、今秋締結。(NS)
8・19	アルゼンチン	滝沢鉄工所、旋盤メーカー「タリ」とNC(数値制御)旋盤の技術供与並びに全商品の販売代理店契約。(NS)
8・22	ラテンアメリカ	坂庭貞夫さん、チリ・サンチアゴを出てから199日かけて4万キロを走破し、北極圏の町カナダ・イヌビクに到着、オートバイ単独行による世界初の南北両アメリカ大陸縦断に成功。(YU)
8・23	ブラジル	青木建設、金採掘会社CMP社と合弁会社を設立し、アマゾナス州のパラワリ川流域で金採掘に着手。自社開発中のモンテベルデ農場内でも単独採掘。(NK・NS)
8・24	ブラジル	「日伯親善ユースサッカー大会」団長、松原武雄さん、青少年サッカーチームを率いて58年ぶりに来日。(ME)
8・25	ブラジル	三菱重工業、三菱電機、ブラジル向け世界最大級の薪炭火力発電設備(出力2万5000キロワット)2基製造開始。86年5月完成、引き渡し予定。(NS)
8・26	パナマ	パナマ船籍の自動車運搬船「ベイリー」(1万6105トン)、静岡県下田市の南約14キロの海上で台湾船籍の貨物船と衝突。(ME・YE・NK・JT)
8・27	ベネズエラ	さる15日、東京医科歯科大で脳の難病「モヤモヤ病」を手術したルイス・マクマルちゃん(4才)無事退院、帰国。(YU)
8・27	ブラジル	浅草サンバカーニバルで、リオデジャネイロから招いたサンバチー

8・28	ペル	ム8人、本場の踊りを披露。(ME・YU)
8・28	アルゼンチン	横浜市のごどもの国で開かれた「世界こども音楽祭'83」で、ロクサニータ・バルガス君の「キャプテンだったら」が最優秀グランプリ。(AH)
9・1	ブラジル	岡山県御津郡建部町で同国産ボラ科の高級淡水魚ペヘレイの養殖、9月から開始。(MN)
9・2	メキシコ	外務省人事、駐ブラジル大使館参事官に駐ユーゴスラビア大使館参事官菊地康典氏を起用。(NK)
9・2	メキシコ	東レ、ポリエステル原料DMT(ジメチルテレフタレート)をペトロセル社から輸入。今秋から5年間数千トン規模の見通し。(NS)
9・5	パナマ	通産、運輸両省、第2パナマ運河建設計画について、それぞれ国際開発センター(IDC)に委託、9月中旬に第1次調査団を派遣。(NK)
9・6	メキシコ	サントリーが同国で経営する「ラーメン・メヒカーナ」、既に発表している5種類のインスタントラーメンに加えて新たに3種類を発売。(NS)
9・6	ブラジル	(~23) サンバの女王、アルシオーネ、専属のバンダ・ド・ソル(太陽のバンド)を率いて初来日、11都市で12回公演。(AE・YU・NE・ME)
9・7	ラテンアメリカ	後藤勇治さん、アンカレジからアルゼンチン南端のフェゴ島まで約1万7000キロ、南北アメリカ大陸縦断の自転車1人旅を終えて帰国。(MN)
9・11	ペル	ペルー石油公社、大洪水で油田に被害が出て7月以降、わが国への輸入がとだえているペルー原油、年内再開は困難と、日本ペルー石油に通告。(NK)
9・13	メキシコ	通産省、日墨共同の2大鉄鋼プロジェクト(鑄鍛鋼合弁事業とシカルツァ製鉄所第2期拡張計画)向けの輸出保険引き受けの方針決定。これにより神戸製鋼所、日本鋼管など3社、同プロジェクト向け資材の船積み開始。(NK)
9・13	メキシコ	(~14) 1982年、ノーベル平和賞を受賞したジュネーブ国連軍縮委メキシコ常駐代表、A・ガルシア・ロプレス氏、第4回国際シンポジウム「21世紀への英知 — ノーベル賞受賞者は提唱する」にパネラーとして来日。(MN)
9・13	ボリビア	日本政府2000万円の文化無償協力で各種の体育機材を供与。(NK)
9・17	ラテンアメリカ	国立国会図書館、来年度から7カ年計画で、中南米6カ国(ブラジル、ペルー、アルゼンチン、メキシコ、ボリビア、パラグアイ)で日本人の移民関係資料を収集、目録作成後は一般公開。(NE)

9・18	メキシコ	(～22) メキシコ石油公社(ペメックス)のマリオ・ラモン・ベタ タ総裁来日、わが国政府関係者と協議。(NS・MN・NK)
9・18	チリ	三菱重工業、三菱商事を窓口、国営銅公社CODELCOからトコ ピージャ火力発電所向けの石炭火力発電設備(出力7万8000キロ ワット)を約5540万ドルで受注。(NS)
9・21	メキシコ	石油連盟の永山時雄会長(昭和石油社長)、同国との経済交流に業 績のあった外国人に贈られる「アステカ勲章」授与。(YU・NS)
9・25	ラテンアメリカ	(～10・2)「ラテン・アメリカ文学の動向」などをテーマにカラカ ス市で開かれた第46回国際ペン大会に、日本ペンクラブから16 人参加。(AE・YE・NE・JT)
9・27	ブラジル	国連総会出席のためニューヨーク訪問中の安倍外相、ゲレイロ外相 と会談。(YE・NE)
9・30	アルゼンチン	今年8月の日本の同国産穀物および穀物製品買い付け量は合計29 万9014トンに達し、これまで最大の買い付け国だったソ連を抜い て1位になったとアルゼンチン穀物委員会発表。(NS)
9月下旬	ブラジル・アルゼンチン ・ペルー・コロンビア	琴の生田流宮城会師範柳井美加奈さん率いる邦楽演奏グループ6人、 国際交流基金の援助による約3週間、17回の公演で好評。(AE)
10・1	ベネズエラ	住友金属工業、カラカス事務所廃止。(NS)
10・3	ベネズエラ	(～7)カラカス市で開かれたラテンアメリカ・カリブ研究国際連盟 の第1回研究大会に、日本から、南山大学教授松下洋、上智大学イ ベロアメリカ研究所長アンドラーデ両氏が出席。(YE)
10・6	ブラジル	味の素と日清食品の合弁ブラジル法人「日清・味の素アリメントス」、 11月からサンパウロでカップヌードルを製造販売と発表。(NS・ YU)
10・7	ブラジル	サンパウロ州アラサツバ空港で小型旅客機(乗客15人)が着陸に失 敗、同乗の伊藤ハム栄養食品の出向社員、大橋吉栄さんら7人が死 亡、8人負傷。(NK・AH・MN・YU)
10・9	ブラジル	国際親善バレーボール男子の部で、全日本3-2でブラジルを破る。 (AH・NK・MN)
10・11	ブラジル	等松・青木監査法人、サンパウロに現地法人、リオデジャネイロに 支店を設立。(NS)
10・11	ペルー	外務省人事、駐ペルー大使に前駐ケニア大使小杉照夫氏を起用。 (ME・AE・YE・NE)
10・12	ブラジル	パストレー中央銀行総裁来日、13日、全債権邦銀および日銀総裁、 大蔵省幹部と個別に会談。(NK・JT)
10・13	プエルトリコ	来日中の経済開発庁長官ホセ・マデーラ氏、日本企業進出を要請。 (YU・NS・ME)
10・13	ブラジル	三井物産、ポルトアレグレ市近郊線向けとリオデジャネイロ市近郊

10・14	プ エ ル ト リ コ	線向けに列車の自動制御システム2基、計約64億円受注。(NK) 松下電器産業の子会社「プエルトリコ松下電器」、ポケットベルの生産開始、来夏には月産4000台の目標。(NS)
10・17	ブ ラ ジ ル	三谷商事、眼鏡小売りの現地法人「ミタニ・オティカ」設立、サンパウロ市内に3店出店。(NS)
10・18	ブ ラ ジ ル	青木建設の金元功専務、パラワリ川流域の金採掘事業は有望の見通しと記者会見で発表。(NK・AH)
10・19	ブ ラ ジ ル	来日中のスタビレ農務相、セラード開発について日本は405億円を協力約束と発表。(MN)
10・20	ブ ラ ジ ル	来日中のジオゴ・ノムラ下院外交委員長、中曽根首相を表敬訪問、フィゲイレド大統領の親書を手渡す。(NE・AE・MN・YU)
10・21	パ ラ グ ア イ	三井造船、同国の国立商船公団からアステレロ・サン・イスドロ造船所の船台改造工事とラプラタ川の水運用内航船20隻の建造指導を受注。(NS)
10・21	ベ ネ ズ エ ラ	同国政府、ことし9月までベネズエラ三菱商事社長で現在三菱商事大阪支社機械第2部長の金田譲二氏に「フランシスコ・ミランダ勲章」授与。(NS)
10・23	メ キ シ コ	世界ボクシング協会(WBA)ジュニアフライ級チャンピオン、ルペ・マデラ、挑戦者渡嘉敷勝男に3-0で判定勝ち。(NK・AH・MN・JT)
10・24	メ キ シ コ	メキシコ市の日墨協会、同国への日本移民90周年を4年後にひかえて、メキシコ市と東京でフォーラム。(AE)
10・25	ホ ン ジ ュ ラ ス	海外経済協力基金、同国の電気通信拡充事業とカニャベラル水力発電所拡張事業の所要資金として、総額97億2700万円を限度とする貸し付け契約に調印。(NS)
10・25	チ リ	外務省人事、駐チリ大使に海外経済協力基金理事小村康一氏を起用。(ME・NE・AE・YE)
10・26	グ レ ナ ダ	日本政府、米軍のグレナダ侵攻について、「遺憾だが米国の事情は理解」との見解公表。(MN・AH・YU・NE)
10・26	グ レ ナ ダ	社会党八木国際局長、共産党不破委員長、米軍とカリブ6カ国軍によるグレナダ侵攻を批判する談話をそれぞれ個別に発表。(AH・YU)
10・27	メ キ シ コ	文部省の助成で、今年6月からカリフォルニア半島太平洋岸で乾燥地農業の研究を進めていた鳥取大学砂丘研究所、第1作目の野菜の収穫に成功。(NK)
10・27	メ キ シ コ	日本輸出入銀行、メキシコ産業金融公社(NAFIN)との間で、日本との経済協力事業である鑄鍛鋼工業化計画のため、59億円のバンクローン供与協定。(AH)

10・27	パナマ	国税庁、パナマなどのタックス・ヘイブン（租税回避地）を利用した日本企業の税金逃れ、史上最高の51億円と発表。（YU）
10・27	グレナダ	社民連の田代表、米軍のグレナダ侵攻について米国非難の談話発表。（AH）
10・27	カリブ海	日本キューバ友好協会、米国のグレナダ侵攻に対して「明白な侵略行為」として糾弾声明発表。（AH）
10・28	グレナダ	共産党立木国際部長、米国大使館にグレナダ侵攻に対するレーガン大統領あての抗議文書。（YU）
10・29	グレナダ	ブロック米通商代表、中曽根首相を表敬訪問、「グレナダ問題で日本政府がとった態度に感謝」とのレーガン大統領のメッセージを伝言。（ME）
10・29	ボリビア	日本政府、サンタクルス市に建設する総合病院の費用として60年度まで3年間、42億円の無償援助のうち、初年度分5億500万円供与。（AH）
10・30	ペルー	オメロ、東京で開かれた第14回世界歌謡祭で最優秀歌唱賞。（AH・MN）
10・31	キューバ	同国の経済事情を理由に、昭和60年3月から開かれる筑波の科学万博への出展を取りやめたと科学技術庁発表。（NK・MN・YU）
10・31	ブラジル	サンパウロ大学教授で、日本ブラジル青少年交流協会事務局長の斉藤広志さん死亡。（YE・AH・MN・NK）
10・31	チリ	（～12月）京大、北大、筑波大、名大の合同パタゴニア氷河調査隊（隊長、中島暢太郎京大防災研教授）、文部省海外学術調査メンバー6人、学生隊3人、報道陣の総勢20人出発。（AH）
11・1	パナマ	川崎重工業、伊藤忠商事から受注したルーメリ・ SHIPPING社向けの多目的貨物船「ダナオス」（2万1300トン）を進水。（NS）
11・1	ブラジル	外務省人事、在サンパウロ総領事に大臣官房付色摩力夫氏を起用。（YU・NE）
11・1	パラグアイ	農用地開発公団、アルゼンチン政府と共同で建設計画のヤシレタ・ダムの水で、15万ヘクタールを水田化する計画に技術協力。（YE）
11・2	ラテンアメリカ	運輸省、南米諸国の農産物、鉱物資源を東アジア地域に安く安定的に供給するための中継港湾基地を建設しようという「アジアポート構想」、本格的な調査決定。（AH）
11・3	グレナダ	デクェアル国連事務総長が現地に派遣したグレナダ調査団4人の1人に、日本人職員の志村尚子さん参加。（NE）
11・8	パナマ	第2パナマ運河建設を支援する民間推進母体として、「日本パナマ交流協会」（会長、永野重雄日商会頭）発足。（NK・AH・YU）
11・8	コロンビア	明治製菓、同国最大の菓子メーカー、コロンビーナ社と来年1月合

		弁会社「コロンビーナ・メイジ」設立、スナック菓子の生産、販売の契約に調印。(NK)
11・10	チリ	斉藤英四郎新日本製鉄会長、「ベルナルド・オイギンス將軍章・グラン・オフィシアル章」を受章。(NS)
11・11	キューラソー	日本長期信用銀行、同国の現地法人を通じて総額1億ドルの米ドル建て外債を発行。(NK)
11・14	パナマ	(～19)「第2パナマ運河」建設に関する日、米、パナマ3国の政府代表による第4回企業化調査準備委員会で、調査項目を検討。(MN・AH)
11・14	ベネズエラ	(～30)「南米解放の父」シモン・ボリーバル生誕200年記念回顧展、上智会館で開催。(ME・NE・JT)
11・16	ブラジル	(～12・18)第17回サンパウロ・ビエンナーレ展に、日本から国際交流基金の肝いりで彫刻家3人が出品、ブラジル部門で日系人も活躍。(ME)
11・17	キューバ	外務省人事、駐キューバ大使にシカゴ総領事の馬淵晴之氏を起用。(AE・YE・NE・ME)
11・17	ボリビア	外務省人事、駐ボリビア大使にサンパウロ総領事の戴忠綱氏を起用。(AE・YE・NE・ME)
11・21	メキシコ	日産自動車の現地法人「メキシコ日産」、アグアスカリエンテス市に約350億円を投じて3番目の工場を完成、来年1月からサニーの生産、3月から同国内販売開始。(NK・JT)
11・21	ペルー	(～27)カルロス・ドクメント運輸通信(MTC)省副大臣来日。(NS)
11・23	コロンビア	観光ビザで入国、働いていたソーニア・マリア・ガルシア、同せい中の学生、戸川誠さんを刺殺。(AH・NK・MN)
11・24	ラテンアメリカ	大蔵省、外国為替等審議会で、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラ4カ国に対するわが国民間金融機関の6月末貸付残高は、合計約255億ドル(5兆9400億円)と公表。(MN)
11・25	ベネズエラ	東京芝浦電気などの国際コンソーシアム、グアヤナ開発公団カロニ川電力公社グリ第2発電所向け水車発電機1号機を試運転、来年2月に営業運転開始。(NS)
11・26	メキシコ	日本ラヂエーター、アルフェル社にカーエアコンの製造技術供与。「メキシコ日産」のサニー生産開始に対応したバックアップ体制の第1ステップ。(NS)
11・26	メキシコ	(～12・3)エルナンデス商務工業振興相を団長とする貿易・投資ミッション総勢50人余来日、28日宇野通産相に輸出保険適用再開を要請、30日ジェットロでメキシコ産品の商談会。(NK・NS・AH・JT)

11・26	ブラジル	東洋繊維の現地法人「トーヨーセンイ・ド・ブラジル」設立10周年を迎え、ラミー種の改良2品種の発表や託児所の寄贈など記念行事。(NK)
11・28	ブラジル	電機家庭用厨房器具の輸出専門商社、三栄コーポレーション、サンパウロの現地法人「ブラジル三栄有限会社」を駐在員事務所に縮小。(NS)
11・29	メキシコ	クラリオン、アエムサ社と合併で現地法人「エレクトロニカ・クラリオン」設立、アエムサ社のカーオーディオ事業を強化発展的に引き継ぎ。(NS)
11・30	ブラジル	川崎製鉄、ブラジル、イタリアと合併で建設を進めていた「ツパロン製鉄所」第1号高炉に火入れ、年間300万トンのスラブ(鉄鋼半製品)の一貫製鉄開始。(MN・AH・NK・NS・YU)
12・5	パナマ	三井造船、パナマ船主から3万9000重量トン型ばら積み船1隻を受注。(NS)
12・7	ベネズエラ	同国政府との合併アルミニウム精錬事業(ベナルム・プロジェクト)への日本側出資社(昭和軽金属など)、生産されたアルミ地金の引き取り条件交渉、年17万トンで合意。(NS)
12・9	パラグアイ	アスンシオンで、海外技術援助のために派遣されていた日本電信電話公社の調査役、中尾将さん夫妻、自宅で射撃体で発見。(NE・AE・MN・YU・JT)
12・9	チリ	プロスキーヤーの三浦雄一郎さん、南極大陸の最高峰ビンソンマシフ(5140m)から約20kmの白夜の大滑降に成功したと、サンチアゴの前線本部から入電。(YU・AH・MN・NK)
12・11	ブラジル	サッカーのクラブ・チーム世界1を決める第4回トヨタ・カップ(東京国立競技場)、グレミオが西ドイツのハンブルガーSVを破り優勝。(MN・AH・NK・JT)
12・12	パナマ	郵政省、国際放送の強化拡充のため、同国に中継局を新設、中南米、北米をカバーし、「ラジオ日本」(短波)は全世界で聞ける見通し。(YU)
12・12	キューバ	日本政府、キューバ貿易など商業上の債務で日本政府が保険を引き受けた169億円余の繰り延べに合意。(YU)
12・12	チリ	(~13) 東京で開かれた第5回日本・チリ経済委員会で、輸出手形保険の規制撤廃などの共同声明採択。(MN・NS)
12・16	メキシコ	サントリー、同国最大のワイン事業者、ルイス・チェット氏と提携、良質の原料ブドウの確保とともに工場を増設し、同国での高級ワインの生産販売を本格化。(NK)
12・16	ドミニカ	60年3月から茨城県・筑波研究学園都市で開かれる科学万博に、出展申し込み。(YU)

12・18	メキシコ	武装した6人組強盗、日系コロニアの集会場襲撃、約30人の日系人から約400万ペソを強奪。その後再三の脅迫電話により日墨学院日本コース（生徒数320人）治安を考慮して一時休校。（ME）
12・19	メキシコ	ナイルス部品、西独の自動車部品メーカー、コストール社の現地法人「コストール・メヒカーナ」と提携、メキシコ日産に供給する方向指示器を技術援助。（NS）
12・20	メキシコ	メキシコ石油公社と日本側窓口のメキシコ石油輸入会社、来年の対日輸出量を今年と同じ日量16万バーレルとすることで合意。（NE・JT）
12・23	ブラジル	豊田工機の現地子会社「トヨタコウキ・ド・ブラジル」、小型円筒研削盤の生産開始。（NS）
12・25	ブラジル・トリニダッドトバゴ	富士電機、ブラジルのミナス・ジェライス州電力会社向けに50万ボルト用超高压変圧器2台、トリニダッドトバゴの電力庁向けに13万2000ボルトの変圧器2台をそれぞれ受注。（NK）
12・30	アルゼンチン・チリ	丸紅が中南米における乗用車の販売拠点としているアルゼンチンの「マルベニ・アキナリアス」とチリの「インポート・ダットサン・チリ」、業務を大巾に縮小し、事実上休眠。（NK）

(以上261項目)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
朝日	AH	AE
毎日	MN	ME
読売	YU	YE
日本経済	NK	NE
日経産業	NS	
ジャパントイムズ	JT	
日本工業	NI	
東京	TK	

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 1984年
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 7(2)
Issue Date	1985-12-10
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9036
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌——1984年

月 日	国 名	記 事
1・4	パ ナ マ	第2パナマ運河計画について、パナマ運河委員会副委員長で現運河運営委のパナマ側の最高責任者であるフェルナンド・マンフレッド氏、日本案より現運河の改良方式の方がいいとの見方を示す。 (NE)
1・5	パ ナ マ	青木建設が83年2月に買収した同国の最高級ホテル「マリオット・シーザーパーク・ホテル」、月間売上高100万ドルを超え順調な業績。(NS)
1・5	ボ リ ビ ア	日商岩井がサンタクルスで建設していたビルビル新国際空港(総額約210億円)完成、4月業務開始。(NS)
1・6	プ エ ル ト リ コ	対米乗用車輸出自主規制に関する通産省とUSTR(米通商代表部)の事務レベル交渉、来年度の「パン・プエルトリコ枠」は約10%増の模様。(NS)
1・10	メ キ シ コ	米自動車メーカーフォード社、東洋工業設計の小型車をメキシコで生産すると発表。(NK・YU・ME・AH・JT)
1・11	中 米	米国の中米政策諮問委員会、情勢安定化の方策をまとめた報告書を提出し、経済援助の受け入れ機関となる「中米開発機構(CADO)」に日本の参加を要請。(NE)
1・11	バ ハ マ	わが国女性スキューバ・ダイビングの草分けの1人、山之端キヨ子さん(34才)、同国のダイビング・パスポートを日本人で初めて取得。(ME)
1・13	ベ ネ ズ エ ラ	日本政府、ハイメ・ルシンチ大統領就任式典(2月2日)に森下元晴元厚相(日本ベネズエラ友好議員連盟理事長)を特派大使として派遣。(ME・YU)
1・14	ブ ラ ジ ル	(16、22) サンパウロの名門サッカーチーム「コリンチャンス」を招いての国際サッカー大会、日本代表との対戦成績は1勝2敗で日本代表勝ち越す。(AH・NK・MN・JT)
1・19	メ キ シ コ	日産自動車のメキシコでの販売台数、昨年初めて業界第2位に躍進。(NS)
1・19	グ ア テ マ ラ	鈴木猛氏、「オンコセルカ症」という風土病に対し、国際協力事業団の技術協力で現地で輝かしい功績を上げ、ペドロ・デ・サンホセ・ベタンクール国家勲章を授与される。(MN)
1・20	ドミニカ共和国	外務省人事、駐ドミニカ共和国大使に井口武夫在ボストン総領事を起用。(ME・AE・YE・NE・JT)
1・20	コ ロ ン ビ ア	外務省人事、駐コロンビア大使に藤本芳男査察担当審議官を起用。

1・20	エクアドル	(AH・ME・YE・NE・JT) 外務省人事、駐エクアドル大使に西宮一衆院渉外部長を起用。
1・20	ブラジル	(ME・NE・AE・YE・JT) 上島珈琲の上島忠雄会長、リオデジャネイロ中央コーヒー商業協会から表彰をうけ、同協会名誉会員になる。(NS)
1・20	南米	250CCオートバイで単身、南北米大陸の縦断、横断とアフリカ・サハラ砂漠の縦断を果たした冒険青年、坂庭貞夫さん(28才)、1年ぶりに帰国。(YU・AH)
1・25	ブラジル	紙パルプ大手19社の共同出資会社である日伯紙パルプ資源開発、現地の事業展開会社であるセニブラ、フロニブラから、昨年9月以降ストップしていた利子・元金の一部送金が再開されたと発表。 (NK・NS)
1・27	中米	(30)訪米中の安倍外相、シュルツ米国務長官と会談し、中米援助に日本も協力する意向を表明。(MN・AE・YU)
1・27	ラテンアメリカ	外務省人事、外務省中南米局長に堂ノ脇光朗駐ホノルル総領事を起用。(YE・AE・NE・ME・JT)
2・2	ペルー	農林水産省が発明、三菱商事と新潟鉄工所が共同で事業化した「マリンビーフ(魚肉濃縮たんぱく)」の生産プラント(総額23億5000万円)、日本政府の無償援助で稼働。(NS・AH)
2・3	メキシコ	メキシコ石油公社(ペメックス)、日本との間で、1984年に原油日量平均16万バレルを供給する契約に調印。(NE・AH・NS)
2・4	メキシコ	昭和電工、メキシコ石油公社(ペメックス)から、石化基礎製品であるエチレン4500トン輸入。(NK)
2・6	中米	安倍外相、外交演説の中で、コンタドーラ諸国を中心とする域内および関係諸国の努力による中米問題の平和的解決に期待する旨、表明。7日の総合安保閣僚会議でこれを承認。(YE・ME・AE・NE)
2・10	カリブ海	(~14)東京・荻窪で「モラ展 — カリブの島サンブラスの不思議な芸術」開催。(MN)
2・13	キューバ	(~19)ガブリスス外国貿易相来日。日本・キューバ経済懇話会に出席。(NK・NS)
2・13	コロンビア	南アメリカミバエ、成田空港に輸入されたマンゴー450キロの一部から発見。(NE・YU)
2・13	アルゼンチン	ピストル10丁と実弾約400発をブエノスアイレスで購入し、密輸入しようとした元喫茶店経営者、関税法と銃刀法違反の疑いで成田税関で逮捕。(AE・YU)
2・14	ブラジル	大阪商船三井船舶、カラジャス鉱山からの鉄鉱石輸送について、大型の鉄鋼原料(鉄鉱石、石炭)専用船を使い、往路にオーストラリア—ヨーロッパ間の鉄鋼原料輸送も手がける3国間輸送方式で臨む

		方針。(NS)
2・15	ブラジル	短銃10丁と実弾162発を密輸入しようとしたサンパウロ在住の日本人男性、成田で逮捕。(MN)
2・15	アルゼンチン	外務省人事、駐アルゼンチン大使館参事官(通産省官房付)に阿部忠寿氏を起用。(NK)
2・16	ブラジル	日本郵船、カラジャス鉱山からの鉄鉱石輸送に当てるため、17万重量トンの鉄鉱石・石炭専用船(鉱炭船)を40次(59年度)計画造船融資で建造。61年5月完工予定。(NS)
2・21	南米	海外ニュースサービス社、NHKラジオニュースのテープを海外駐在員および家族向けに配達。価格は毎日テープ1本を購入する場合で南米地区4万2000円。(NS)
2・21	ブラジル	ブラジル訪問中の池田創価学会名誉会長、ブラジルでフィゲイレド大統領と会談。同大統領、5月末か6月初の訪日を表明。(AE・ME・YE・NE・JT)
2・22	ボリビア	フジタ工業、同国厚生省から「サンタクルス総合病院」建築工事一式を33億3400万円で受注。日本政府の無償資金協力によるもので1986年3月完成予定。(NK)
2・23	ブラジル	日本航空、59年度事業計画案で、東京-ロサンゼルス-ブラジルの南米線を12月から週2便に増やし、機種も大型化すると発表。(YU)
2・24	メキシコ	メキシコ陸上競技連盟(FMA)、同連盟の承認なしに東京国際マラソンに参加し、規約に反したという理由で、同国マラソン選手、ロドルフォ・ゴメスに1年間、ホセ・ゴメスに半年間の出場停止処分、また国際陸上競技連盟に対し、日本陸上競技連盟の処分を申請。(NK・AH・MN)
2・26	メキシコ	日本ラヂエーター、カーエアコンの組み立てメーカーのアルフェル社と技術供与契約。(NK)
2・26	メキシコ	クラリオン、カーオーディオメーカーのアエムサ社と合弁会社「エレクトロニカ・クラリオン」(資本金5000万ペソ)設立。(NK)
2・28	ジャマイカ	三菱重工業とトーマン、ジャマイカ公共公社(JPS)から、総出力4万キロワットの発電プラント船を総額約93億円で受注。60年末稼働。(NS・NK)
2・28	ジャマイカ	外務省人事、兼ジャマイカ大使にドミニカ共和国大使井口武夫氏を起用。(AE)
2・29	エクアドル	クレスポ大統領特使、中曽根首相を訪問、経済問題で協力要請。(AH・YU・MN・NK)
3・2	コロンビア	東洋工業と住友商事、自動車組立販売会社「コンパニア・コロンビアナ・アウトモトリス社」に各々6億ペソ(約18億円)、合計12億

		ペソ資本参加し、乗用車のKD（現地組み立て）生産。年産1万5000台目標。（AH・NK・JT）
3・3	ブラジル	サンバ大会で覇を競うリオの名門サンバチーム「サルゲイロ」に三菱商事の駐在員2人参加。（NE）
3・6	ブラジル・ベネズエラ	日本フェロアロイ協会の松田会長、フェロシリコンの安値輸入急増に対処するため、ブラジルに補助金相殺関税を課すよう大蔵省に提訴、ベネズエラも調査中と記者会見。（NK・NS）
3・7	メキシコ	メキシコ日産自動車、現在同国内で生産・販売している「バイオレット」の後継車として「サニー」の生産開始。「ツル」の愛称で発売、今年度は約3万台生産予定。（NS）
3・9	ホンジュラス	間組と三井物産、同国公共事業省から総額40億円の道路建設（ラパス—マルカラ間73キロメートル）工事を受注。（NK）
3・9	エクアドル	日本政府、同国政府との間で債務救済措置について元利支払いの繰り延べで合意。（AH・JT）
3・9	ブラジル	川崎製鉄は、三菱商事、ブラジル国営鉱山資源会社リオドセ社と合弁で合金鉄（フェロシリコン）の生産工場を同国に設立するための事業化調査に入ったと発表。（MN）
3・10	コスタリカ	駐日コスタリカ大使夫人、平和のための国際講演会（日本赤十字社ホール）で講演。（ME・AH）
3・15	パナマ	プロボクシングWBAジュニアバンタム級タイトルマッチで、チャンピオン渡辺二郎は挑戦者同級1位セルソ・チャベスを15回TKO勝ち、6度目の防衛。（NK・MN・AH・JT）
3・19	メキシコ	昨年メキシコ原油輸出量、1日当り153万バレル。最大の輸出先は米国の53.6%、日本は3位の7.8%と石油業界発表。（NS）
3・21	ブラジル	（～26）遠征中の日本男子バレーボールチーム4戦全敗。（NK・MN・AH・JT）
3・22	メキシコ	日本・メキシコ間の文化協定締結30周年を記念し、メキシコ市でソプラノの市田キヨ子氏演奏会。（AE）
3・23	メキシコ	住友金属工業と系列の共英製鋼、電炉メーカーの「コンパニア・シデルルヒカ・デ・グアダハラ社」と技術協力契約。（NS）
3・26	アルゼンチン	（～6・13）マリアーノ・モーレス6重奏団とブエノスアイレス・タンゴ舞踊団初来日。（AE）
3・27	ベリーズ	外務省人事、兼駐ベリーズ大使に駐メキシコ兼駐ハイチ大使菊地清明氏を起用。（YE・AE）
3・27	カリブ海	外務省人事、兼駐バハマ大使に駐ドミニカ共和国兼駐ジャマイカ大使井口武夫氏、兼駐アンチグア・バーブーダ大使に駐トリニダード・トバゴ大使（グレナダ、セントビンセント、セントルシア、ドミニカ、バルバドス大使兼任）西方正直氏を起用。（YE・AE）

3・28	メキシコ	世界的漁網メーカー、桃井製網、現地法人「プロドクトラ・ナショナル・デ・レダス」の資本金を560万から610万ドルに増資し、工場増設、生産力を2倍に拡大する計画。(NS)
3・28	メキシコ	鬼怒川ゴム工業、部品メーカーのミサ社と技術援助契約、6月から新工場でメキシコ日産向けに「ウェザーストリップ」の生産(月間1万セット)。(NS)
3・30	ニカラグア	コリント港で日本郵船のチャーター船輝潮丸(1万1103トン、日本人船員20人乗り組み)が機雷に触れ、乗組員2人が負傷、機関室や燃料用重油タンクに被害。(AH・YU・MN・NK・JT)
4・4	メキシコ	通産省・資源エネルギー庁の委託を受けて中米地域でのLPG(液化石油ガス)の開発可能性を調査していた石油ガス可能性調査委員会、メキシコの対日LPGの輸出可能性大との報告書。(NK)
4・4	アルゼンチン	(～6)「第2のルネサンス国際会議」(アルマンド・ベルディクオーネ国際文化財団主催、国際交流基金後援)にホルヘ・ルイス・ボルヘス氏来日、講演。(ME・YE・NK・AE・JT)
4・5	ニカラグア	来日中の内務省顧問、ドリス・ティヘリーノ女史、堂ノ脇中南米局長と会談後、日本記者クラブで会見し、右派ゲリラと米政府を非難。(MN・YU・AE)
4・5	ブラジル	東洋紡と三菱レイヨン、両社が共同出資しているブラジルの「ブラジラーナ」とインドネシアの「ボネックス」の2つのアクリル紡績糸製造販売会社を株式交換により、ブラジラーナを東洋紡の100%出資法人に転換。(NK)
4・6	コロンビア	航空貨物の大手グループ混載会社、東京エアカーゴ・コンソリデーターズ(TAC)、日本からコロンビア向けに海・陸・空の順に輸送手段を組み合わせた複合一貫輸送のルート、4月中に開設。(NS)
4・7	ペルー	東京医科歯科大の三浦不二夫教授ら、「古代ペルー人の歯科人類学的研究」において、歯や頭の形からペルー人と日本人はよく似ていると報告。(AE)
4・8	ハイチ	(～9)同国で献身的な医療活動を行っているカトリックシスターで医師の須藤昭子さん、日本結核病学会で援助訴え。(AE)その後1カ月で総額1000万円以上の寄付が寄せられる。(AE)
4・9	メキシコ	プロボクシング・WBC世界フライ級タイトルマッチで、チャンピオン小林光二、同級1位ガブリエル・ベルナルに2回でKO負け。(AH・ME・NK)
4・10	ハイチ	日本政府、同国との間で6億5000万円を限度とする無償援助で書簡交換。(NK)
4・10	ジャマイカ	海外経済協力基金、同国政府との間で、ブルーマウンテンコーヒー開発事業の資金として59億4100万円の借款契約に調印。(AH・

		NS)
4・12	メキシコ	歯科用エックス線装置の最大手メーカー、三光レントゲン製作所、現在同国でKD生産している歯科用エックス線装置および無影灯を外貨事情悪化のため、当分の間、規模縮小。月産5～10台の見通し。(NS)
4・12	ドミニカ共和国	日立造船は米GE、コロンビアのサデ社、ドミニカ共和国のコネルカ社と共同で、ドミニカ共和国電力公社からイタボ第2火力発電プラント、約200億円を受注。このうち日立造船は約50億円の発電用ボイラープラントを担当。(NK)
4・17	メキシコ	ボリビア在住の日本青年、4億円相当のコカイン密輸でメキシコ国際空港で逮捕。(AE・MN)
4・17	アルゼンチン	日本ビクター、現地組み立て方式で技術提携し、フエゴ島の税制特別区リオグランデで音響製品生産。月間数100台。(NS)
4・20	メキシコ	メキシコの経済危機のため資金不足で中断していた日墨合併のメキシコ大径鋼管工場建設プロジェクト、住友金属工業を中心とする日本側の追加出資12億ペソ(約15億円)で再始動、年内完成へ。(NK)
4・23	メキシコ・キューバ・ペルー	リスケジュール中の同3国向けの輸出について保険の引き受けを停止していた通産省、一定条件の下に短期輸出保険(期間1年以内)の引き受けを再開。(NK)
4・24	コロンビア	曙ブレーキ工業、現地部品メーカーのカピトール社とコロンビア政府、東洋工業、住商の合弁会社CCA(コンパニア・コロンビアナ・アウトモトリス)に対しブレーキの技術供与、生産量年間2万台分。(NS)
4・27	メキシコ	同国政府、ニューヨークで日、米、欧の民間銀行約500行からの38億ドルの新規融資に調印。(ME・AE・NE・YU・JT)
4・28	コロンビア	日本政府、カリマ第3水力発電所建設計画のため206億8300万円までの円借款を供与する方針を同国政府に伝達。(AH・NK)
5・1	メキシコ	日産自動車、メキシコ日産から米国内で小型トラックを製造する米国日産自動車製造へボディー部品必要量全量月産1万台分供給。(NK)
5・1	ブラジル	東洋紡、三菱商事、東洋クロス、共同の合成皮革生産会社インパサから資本撤収、東洋紡の同国での100%出資子会社「東洋紡ブラジル」が引き継ぎ。(NK)
5・2	ブラジル	新日本製鉄、フランスの海運会社セトラップと提携し、ブラジル—日本—南アフリカ—フランスを結ぶ3国間輸送に進出、専用の鉄鉱石運搬船も建造。(NK)
5・4	メキシコ	「日本に帰国したら無条件で医師国家試験の受験資格が得られる」

		とグアダハラ自治大医学部への留学をあっせんされた学生3人、契約違反であっせん業者に損害賠償を訴える。(YU・MN)
5・8	アルゼンチン	(~11) 日本貿易振興会(ジェトロ)とアルゼンチン経済省商務庁共催のアルゼンチン展、ジェトロ虎ノ門展示場で開催。7日、カルロス・エドアルド・ラセルカ経済省工業庁長官来日。(NS)
5・11	メキシコ	日産自動車、日産40%、現地資本60%の合弁で設立した「インドゥストリア・ニポメックス・デルセントロ」の新工場として約100億円を投じ、部品のFMS(フレキシブル生産システム=多品種少量生産と工程無人化の両立をめざしたもの)工場を稼働。(NS・JT)
5・11	パナマ	永野重雄氏の死去に伴い新しく日本商工会議所会頭に就任した五島昇氏、記者会見で第2パナマ運河構想に消極的な姿勢。(AH・NS)
5・15	パナマ	沖電気工業、パナマ通信公社からデジタル方式のマイクロ波無線通信システム約10億円を受注。(NS)
5・15	エクアドル	通産省、ガラパゴス諸島に同国政府が計画している太陽光発電所建設に協力し、来月下旬に日本プラント協会などを交えた調査団派遣。(NK)
5・15	ブラジル	(28)「ブラジル音楽の女王」ジャズ・ピアニストでボーカリストのタニア・マリア来日公演。(YE・AE)
5・18	ブラジル	青木建設、アマパ連邦直轄領で本格的な金採掘事業に参加。(AH・MN)
5・19	ニカラグア	(~26) 東京・六本木でオスカル・ロドリゲスほかのニカラグア現代作家展。(AE・ME)
5・20	ハイチ	メルセロン蔵相とウェイル国家企画相の来日を機に、日本・ハイチ親善友好協会発足。(NK)
5・20	ブラジル	「ブラジル日本文化協会」の尾身倍一会長ら、サンパウロ市に日系人交流の場となる総合スポーツセンターを建設したいと資金協力を求め来日。(YU・MN)
5・21	ニカラグア	「日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会」、11月に行なわれる同国の総選挙を援助する募金よびかけ。(MN)
5・21	コロンビア	(~23) アルベルト・シュレシinger輸出振興基金総裁、来日。9月のコロンビア展の打ち合わせと、「コロンビアに関する投資フォーラム」の講演。(NS)
5・21	ブラジル	来日中のデルフィン・ネット企画相、小此木通産大臣と会談、5億ドルの輸出信用供与を要請。(AH・YU・NK)
5・21	ペルー	日本ペルー石油がペルー石油公社と進めてきた4~9月期のペルー原油引き取り交渉、価格面でおり合わず、昨年8月以来ストップしている輸入の再開は早くても10月以降の見通し。(NS)
5・21	アルゼンチン	滝沢鉄工所、タリ社とMC(マシニングセンター)の技術供与契約。ノックダウン方式で年間6台生産予定。(NS)

5・22	メキシコ・ プエルトリコ	メキシコ日産、来年から新型FF（前部エンジン前輪駆動）サニーをプエルトリコ向けに輸出。（NS）
5・22	ボリビア	日本政府、サンタクルス総合病院建設のため18億4700万円、へき地の移動図書館車と日本関係図書購入のため3100万円を無償援助、書簡交換。（AH）
5・22	ブラジル	松下電器産業の松下正治会長に「オルデン・デ・リオ・ブランコ勲章」授与。（NS・MN）
5・23	ブラジル	（～26）フィゲイレド大統領夫妻国賓として来日。24日、天皇陛下と会見、中曽根首相と会談。セラード農業開発への融資協力（350億円）、輸出信用供与などで一致した旨、共同新聞発表。（AH・MN・YU・NK・JT）
5・25	エルサルバドル	日本政府、来月1日のドゥアルテ新大統領の就任式に、自民党の塩川正十郎代議士を特派大使として派遣。（AH・YU）
5・25	パナマ	青木建設、パナマ運河の大西洋側入口に位置する2つの貿易港、クリストバル港、ココソロ港の改修工事合計約25億3700万円受注。（NK）
5・25	ブラジル	大統領に随行して来日中のゲレイロ外相、安倍外相と会談、日本ブラジル科学技術協力協定およびペルナンブコ大学免疫病理学センターに対する技術協力の取り決めに署名。（AH・NK・YE）
5・25	ブラジル	第2次大戦後、日系人社会で起きた「勝ち組事件」で追放処分を受けながら実施されず、中ぶらりんの不名誉な市民生活をしてきた180人の名誉回復を求め、玉井礼一郎さん来日中の大統領に請願文。（AE・YU）
5・26	ブラジル	林原生物化学研究所、アントン・ハイセル社を通じて、さとうきびのかすを飼料化するバイオマス計画に協力。（NK）
5・29	キューバ	（～6・6）世界アマチュア野球界の最強チーム、キューバ・ナショナルを迎え、日本・キューバ国際野球大会。通算成績はキューバの4勝1敗1分け。（MN・NK・AH・JT）
5・29	ブラジル	通産省、同国に対する短期輸出保険（保険期間1年以内）の引き受けを再開。（NK）
5・30	ラテンアメリカ	8年前、世界一周自転車旅行に出発した大分市の河野政美さん、5大陸を走破して関西サイクルスポーツセンターに帰着。（AH）
5・30	ブラジル	（～6・5）サッカーのジャパンカップ大会第3日、ブラジルのプロ、インテルナショナルが日本ユニバーシアード代表を3-0で下す。インテルナショナルは優勝。（NK・MN・AH・JT）
6・5	ブラジル	（～11）著名な女流画家リナ・ポリティの個展、横浜で開催。（NE）
6・6	チリ	サンチアゴの北西コキンボ市に日本の無償援助11億9500万円で

		建設した「浅海養殖センター」で、年間200万個のホタテ貝養殖。 (MN)
6・7	ブラジル	今年2月、サンパウロで日系人病院建設のためのチャリティーショーを開き5000万円を寄付した歌手の北島三郎さん、ブラジル統合教育文化協会から功労章、サンパウロ市からアンシェッタ章を授与される。(YE・ME)
6・9	ホンジュラス	(～15)文化観光省のホアキン・メディナ・オビエド次官、両国の文化交流と日本の観光客誘致のため来日。(AE)
6・11	パラグアイ	サルディバル外相、来日。15日安倍外相と会談。(YU・NK・AH・MN・JT)
6・16	メキシコ	(～7・13)現代メキシコ画家「ルフィーノ・タマヨ近作展」東京で開催。(NK)
6・20	メキシコ	明治製菓、メキシコ政府機関コナスポ食糧公団との間で包括的な技術援助契約を締結。(NE)
6・21	パナマ	外務省、「第2パナマ運河建設構想」の企業化調査準備費として、2億円を60年度予算概算要求に盛り込む方針決定。(NK・YU・AH・MN)
6・22	メキシコ	メキシコの音楽評論家協会、歌手生活30周年を記念して「チャリティー世界ツアー」をしているアイ・ジョージさんに、外国人に対して初の協会章と功労章を授与。(ME)
6・22	ブラジル・キューバ	(～24)NHK杯女子バレーボール大会、ブラジル、キューバ、韓国の3チームを招いて開催。キューバ3戦全勝、ブラジル3敗。 (AH・MN・NK・JT)
6・25	ブラジル	外務省人事、ポルトアレグレ総領事に駐ボリビア参事官の高畑敏男氏を起用。(AH・NK・MN)
6・26	パナマ	日本パナマ交流協会、日本興業銀行頭取池浦喜三郎氏を会長に選出。 (YU・NK・MN・AH)
6・29	キューバ	(～7・1)NHK杯男子バレーボール大会で、キューバ初優勝、全日本チーム最下位。(MN・AH・NK・JT)
7・2	ブラジル	製靴最大手の日本ゴム、同国最大の靴メーカー「サンパウロ・アルパルガタス社」とゴム製シューズの技術援助契約。(NK)
7・3	ニカラグア	外務省人事、駐ニカラグア大使に川出亮官房審議官を起用。(NE・AE・ME・YE)
7・3	ベネズエラ	外務省人事、駐ベネズエラ大使に滝口吉亮駐チュニジア大使を起用。 (AE・NE・ME・YE)
7・3	ブラジル	日本のスポーツ用品メーカー、アシックス、カンブシ社とライセンス契約を結ぶ一方、現地子会社「アシックス・タイガー・ブラジル」を設立、生産から販売促進まで一体となって中南米地区で年間550

		万ドル販売予定。(NS・NE)
7・8	ラテンアメリカ	アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、ウルグアイなど7カ国の音楽著作権協会駐日代表、的場実氏死去。(AE・NK・MN・YU)
7・12	チリ	(~18)日本貿易振興会(ジェトロ)、チリ政府貿易振興局と共催で「チリ展」開催。(NS)
7・14	パナマ	(~19)バルレタ次期大統領夫妻来日。皇太子殿下と会見のほか、中曽根首相、安倍外相、細田運輸相と会談し、第2パナマ運河で協力を要請。(YU・AH・MN・NK・JT)
7・14	ブラジル	東洋繊維の子会社「ブラジル東洋繊維」、麻糸原料ラミーの農場を350ヘクタールに拡張、将来1000ヘクタールの規模にし、原料の35%を自給する考え。(NS)
7・16	ブラジル	川崎製鉄、米国のカリフォルニア・スチール・インダストリー社とブラジルのリオドセ社と共同で米国のカイザー・スチール社のフォンタナ製鉄所を買収。原料のスラブ(鉄鋼半製品)はツパロン製鉄所から輸入の予定。(MN・NE・YU)
7・17	メキシコ	日本ソーダ工業会、永村正夫旭硝子専務を委員長とするメキシコ塩交渉委員会を発足、60年度以降の輸入交渉に入る。(NS)
7・17	メキシコ	三洋電機、現地子会社「サンメックス」で加工した冷蔵庫の部品を米国サンディエゴの現地法人「サンヨーE&E」へ供給、米国市場での競争力を強化。(NS)
7・20	エクアドル	日本政府、8月10日にキトで行われるコルデーロ新大統領就任式典に武藤嘉文元農相を特派大使として派遣。(AH・MN)
7・21	ブラジル・ボリビア	慶応大学医学部の学生4人、団長の岡崎勲講師と共に、夏休み期間中、各地を巡回診療、へき地の臨床実習や日系人移住地での検診、調査のため成田出発。(AE)
7・23	メキシコ	(~25)第9回日墨経済合同委員会東京で開催。合併事業の推進、金融面での協力強化などで合意。(NK・YU・MN)
7・24	メキシコ	三井建設、現地資本と合併で、建設工事の受注を主な業務とする現地法人「サンケン・デ・メヒコ」設立。(NK)
7・24	ブラジル	上島珈琲、サントスに100%出資子会社「UCC上島珈琲ブラジル」を設立。(NS)
7・26	メキシコ	メキシコ市在住の舞踊家川辺民子さん、日系3、4世の少女16人からなるメキシコ児童民族舞踊団を引率して来日、各地を巡演。(AE)
7・28	ホンジュラス	(~8・6)パス外相来日。安倍外相らと会談。(NK・AH・YU)
7・28	ドミニカ共和国	台湾ルートによる史上最大の覚せい剤密輸事件。警視庁は日本への運び屋をしていた疑いで、タンクレッド・ドゥルック駐台湾大使について、在日ドミニカ共和国大使館に事実関係を通告、捜査協力を

		依頼。(AE・YU・MN・NE・JT)
8・1	コロンビア	伊藤忠商事、同国社会保険局(ISS)から外科やメディカルエレクトロニクス機器を中心とした医療用機器数10点、総額約5億円を受注。(NS)
8・1	ブラジル・メキシコ	国際金融筋のまとめによると、邦銀の両国向け新規融資合わせて約16億5000万ドルのうち70%強が円建てになる見通し。(MN)
8・1	ブラジル	日伯紙パルプ資源開発とリオドセ社が共同出資している、パルプの生産販売の現地法人セニブラ社とパルプ用原木の植林をしているフロニブラ社、合併。(AH)
8・2	ボリビア	三菱商事、サンタクルス総合病院と総額5億円の医療用機器の納入契約。日本政府5つ目の無償経済協力。(NS)
8・4	ブラジル	第4回浅草サンバ・カーニバルに、リオデジャネイロから「カーニバル'84」チームの男女10人も参加。(YU・NK)
8・8	ペルー	オリンピック女子バレーボールで、日本チーム、ペルーを下して銅メダル。(AH・ME・NK)
8・9	チリ	三井造船、国営銅山会社コデルコ・チリ社から受注していた超大型の「三井・ピサイラス・エリー電気ショベル」完成。(NS)
8・9	アルゼンチン	石原通商、ナヴァロ・コレアス社から同社ワインの日本における独占販売権を取得。(NS)
8・10	メキシコ	マツダ、提携先の米フォード社がメキシコで86年から生産開始する新型小型乗用車向けの部品供給に協力。(NK)
8・10	ブラジル・メキシコ	クレジットカード最大手のJCB、ブラジルのブラデスコ、メキシコのバンコ・ナシオナル・デ・メヒコと提携し、日本人旅行者の利用に適したサービスを実施。(NK)
8・13	メキシコ	(～16) 福田赳夫元首相、メキシコ市で14日ミゲル・デラマドリ大統領と会談、15、16日「人口と開発に関する国際議員会議」に出席、名誉議長として記念演説。(AE・NE・ME・YE)
8・14	コスタリカ	外務省人事、駐コスタリカ大使に江藤之久中南米局審議官を起用。(ME・JT・NE・YE・AE)
8・17	メキシコ・コロンビア	日本政府、国連国際人口会議で採択された「世界人口行動計画」に基づき、人口・家族計画協力を実施する方針。会議の事務局長を務めたラファエル・サラス国連人口活動基金事務局長も15日の記者会見で日本の協力を期待すると述べる。(MN・NK)
8・17	ブラジル	(～9・3) エルバ・ラマーリョ、ブラジルの伝統的な音楽を現代化したニュースタイル、フォローを携え来日公演。(AE・YE・ME)
8・19	ラテンアメリカ	日本政府、ラテンアメリカ地域の経済開発を促進するため新たに設立が計画されている国際機関、米州投資公社の設立協定を批准する一方、国内の金融機関に対し、同公社との協調融資に積極的に参加

		するよう要請。(MN)
8・20	ブラジル	外務省人事、ベレン総領事にコロンビア大使館参事官の伊藤武好氏を起用。(AH・MN)
8・20	ブラジル	(～25)アマゾンの彩色土器と織物展、東京で開催。(AH)
8・21	ラテンアメリカ	(～9・7)北川石松外務政務次官、パラグアイ、ウルグアイ、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、エクアドル、メキシコ、ホンジュラスの8カ国を歴訪、各国大統領、外相らの他、在留邦人、日系人とも懇談。(YU・MN・NK・AH)
8・26	パナマ	同国政府、日本から核物質を積載して英国へ向かっていたパシフィック・フィッシャー号(英国船籍、3619総トン)の港湾利用を拒否。その後厳密な安全監視下でパナマ運河を通過、27日パナマ領海を退去。(MN・NK・AE・JT)
8・27	メキシコ	漁網のトップメーカー、桃井製網、バハ・カリフォルニア州に年産400トン以上の新工場を建設、米国、カナダ向けの輸出拡大を計画。(NS)
8・28	ブラジル	南日伯援護協会顧問弁護士として日系移民の法律相談もしている丸紅ブラジル社のポルトアレグレ支店長、和田好司さん、「日伯親善ユースサッカー」のブラジルチームと共に19年ぶりの里帰り。30日、同チーム中曽根首相表敬訪問。(NK・AH・YU・MN)
8・29	コロンビア	同国で「エメラルド王」として知られる億万長者の宝石商、河合誠一さん、3月21日滞在先の米ニューヨーク市で逮捕され、麻薬取引容疑で有罪判決、控訴審待ち。(YE)
8・30	ベネズエラ	鋼材表面処理やイオン窒化技術の専門メーカー、日本電子工業、国立シモン・ボリーバル大学にイオン窒化装置、総額600万円を輸出。(NS)
8・31	ブラジル	日系女性河井美津子さん、「源氏物語」の初のポルトガル語抄訳を完成し、ブラジル文化に貢献した人物に贈られるエウクリデス・ダクニャ賞受賞。(ME・AE・JT)
9・2	ボリビア・アルゼンチン	(～10・30)「アンデスの魔術師たち」と呼ばれているフォルクローレのグループ「ロス・ライカス」3度目の来日、全国巡演。(AE・YE)
9・3	メキシコ	同国政府と日米欧の債権銀行団の間の交渉で、98年まで返済一括繰り延べ、邦銀のドル建て債権の貸出残高50%まで円建て切り替えなどで合意。(YU・NK・AH・JT・MN)
9・3	ペルー	電源開発と関連4社、同国がアマゾン川上流で計画している巨大水力発電所群(通称エネ40)建設の基本案作りのため、現地に調査団派遣。(NS)
9・3	ブラジル	9年前、10才で単身サッカー留学した水島武蔵君、プロサッカー

		界の名門「サンパウロ・フットボールクラブ」と日本人として初めてのプロ契約。(NK・AH・MN)
9・5	ペル	(～14) 日本貿易振興会(ジェトロ)とペルー非伝統産品輸出振興基金(FOPEX)共催の第4回「ペルー展」、東京のジェトロ展示場で開催。(NS)
9・10	メキシコ	厚木自動車部品の北米大陸の拠点「アツギ・メヒカーナ」、1億円を投資してアルミ鋳造部品の生産を倍増。(NS)
9・10	ブラジル	(～14) 日本作曲家協議会が南北文化交流事業として昨年始めた日本現代音楽週間、サンパウロ州立大学で開催。作曲者を代表して服部公一氏現地で講演。(AE)
9・11	南米	外務省人事、南米在外公館査察使に前駐ソ大使の高島益郎氏を起用。(ME)
9・12	メキシコ	トーマンと東芝、メキシコ肥料公社(フェルティメックス)からディーゼル機関車1両約1億8000万円受注。(NS)
9・14	グアテマラ	同国立人類学・歴史学研究所、3年前から調査していた古代マヤのナフ・トゥニチ洞窟の壁画スライド150枚を、和歌山大学助教授宮西照夫氏に提供、また遺跡内部の撮影も許可。(AH)
9・18	ブラジル	埼玉県の柳川信隆さん(22才)、アマゾンの源流から河口まで7000キロを全長5メートルのイカダで69日間完全征服。(YU)
9・18	ラテンアメリカ	竹下蔵相、記者会見で、14日までアルゼンチンで開かれていたラテンアメリカ11カ国の債務国会議で提唱された「債務国と債権国の共同会議」設立について、反対の姿勢を表明。(NK・AH・YU)
9・20	メキシコ	(～24) 安倍外相、メキシコを訪問し、デラマドリ大統領、セプルベダ外相と会談。両国間で長期的に経済、文化などの協力関係を協議する官民合同の「日墨関係展望作業グループ」の設置で合意。(AH・YE・ME・NE・JT)
9・20	アルゼンチン・チリ	(21・24・25) 第7回日亜(アルゼンチン)経済合同委員会が20、21日にブエノスアイレスで、第6回日智(チリ)経済委員会が24、25日にサンチアゴで開催。日本側団長はいずれも三菱商事会長の田部文一郎東商副会頭。(MN)
9・21	メキシコ	トーマンと東芝、メヒカーナ・デ・アウトブセス(通称メキシコバス)からモーターなどトロリーバス222両分の電気製品約33億円を受注。(NK)
9・26	メキシコ	わが国有力企業54社が出資する日墨ホテル投資、日本とメキシコの合弁で、メキシコ市に建設する「ホテル・ニッコー・メヒコ」の起工式を10月9日と発表。総工費308億円、62年7月完成予定。(NS・NK・MN・YU・AH・JT)
9・26	コロンビア	(～10・2) 日本貿易振興会(ジェトロ)とコロンビア輸出振興基

		金が共催の第3回「コロンビア展」、東京のジェトロ展示場で開催。 (NS・JT)
9・27	ブラジル	(～10・2) リュイ・ピザ銅版画展、東京で開催。(ME)
9・28	メキシコ	矢崎総業の全額出資子会社、メキシコ自動車部品、15億円を投じてワイヤーハーネスの生産能力を61年6月までに4倍に増強。 (NS)
9・30	ペルー	昭和17年に強制閉校処分となった旧「在外指定リマ日本人小学校」の卒業生22人来日。当時の日本人派遣教員や在日卒業生約50人と東京で50年ぶり同窓会。(AE・MN)
10・2	ブラジル	同国在住の被爆者97人、今年7月「在ブラジル原爆被爆者協会」を結成、森田隆同協会理事長夫妻、広島に里帰りして援護要望。 (YU)
10・7	キューバ	(～21) 国際親善バレーボール大会で女子全日本はキューバと通算成績3勝3敗で引き分け。(AH・MN・NK)
10・7	ブラジル	(～10) 名古屋国際バスケットボール大会でブラジル3戦全勝で優勝。(NK・AH)
10・10	パナマ	パナマ立法議会、パナマ運河を利用してプルトニウム240キロを海上輸送する日本、フランス、米国3国の「一方的な計画」に抗議する決議案を採択。(AE・ME)
10・11	メキシコ	埼玉県、姉妹県州関係にあるメキシコ州と経済交流強化に関する趣意書に調印。(NK)
10・11	パナマ	自民党の金丸総務会長、バルレッタ大統領就任式典に政府特使として出席。(ME・AH)
10・12	ラテンアメリカ	(～26) 「インディアス空間」と銘打ち、ラテンアメリカを舞台とした作品も含め劇映画17本、記録映画5本を上映する映画祭、渋谷で開催。(AE・NE・YE)
10・13	ブラジル	兼松江商の現地有限会社「兼松江商ブラジル」、株式会社組織替えし、同国政府に商社法の適用を申請。(NS)
10・14	キューバ	(～24) ハバナ市で行われた第28回世界アマ野球選手権大会で日本チーム、キューバとの決勝リーグで大敗し、通算成績1勝2敗で4位。(NK・AH・MN・JT)
10・16	メキシコ	日本ラヂエーター、メキシコ日産にエアコンを供給しているアルフェル社とエアコン製造の技術援助契約。(NS)
10・17	ジャマイカ	トヨタ自動車といすゞ自動車、小型乗用車を中心に合計4000台の輸出商談成約。(MN)
10・18	ブラジル	トヨタ自動車が最初に導入したコスト低減の新技术「かんばん方式」、32社のブラジル企業に採用され大きな成果。(NS)
10・19	コスタリカ	吉田忠雄吉田工業社長、豊田章一郎トヨタ自動車社長、林耕芳亀印

		製菓社長、藤岡辰宏兵庫県立尼崎病院副院長の4氏、同共和国の名誉総領事に任命される。(NS)
10・21	パナマ	運河当局者、日本向けプルトニウム250キロを積んだ鉱石運搬船晴新丸(1万6910トン)が20日未明密かに運河を通過、太平洋に入ったと発表。(MN・AH・NK・YU)
10・22	メキシコ	代表的詩人・思想家のオクタビオ・パス氏、国際交流基金の招きで32年ぶりに来日。(AE・ME)
10・22	コロンビア	住友商事とマツダ、両社が資本参加してマツダ車をKD(現地組み立て)生産している見返りとして同国産綿花をCP(カウンターパーチェス)輸入。自動車貿易の6%弱に相当する5500俵(1俵=約230キログラム)で230万ドル(約5億7500万円)。(NS)
10・22	ラテンアメリカ	外務省、ラテンアメリカ諸国に移住を希望する青年を対象に政府の資金で3年間の実地体験をしてもらおうという「海外開発青年制度」発足。61年1月に出発する第1陣として30人を募集。(YU・NK)
10・23	パナマ	日本郵船の100%出資タグポート会社「セルビス・マリアス・日本郵船パナマ」赤字経営のため、同国政府との間で再建策を協議。(NS)
10・24	メキシコ	(25)日本とメキシコ両国経済界の定期懇談会である日墨経済協議会の第15回会議、メキシコから70人の参加を得て経団連で開催。(NE)
10・24	ウルグアイ・ペルー	トヨタ自動車、小型トラック「ハイラックス」の現地生産開始、両国ともKD(現地組み立て)輸出方式により、ウルグアイはアンブロイス社、ペルーはペルーツヨタがそれぞれ担当。(NS)
10・27	ペルー	(~11・27)古代アンデスの秘宝、「栄光のインカ帝国展」東京・新宿で開催。(YU・ME・NE)
10・29	ブラジル	川崎汽船、新日本製鉄が62年4月からカラジャス鉱山から輸入する鉄鉱石について、18万重量トン級の鉱石専用輸送船を建造して、年間50万トンずつ10年間輸送することで合意。(NS)
10・30	英国領バミューダ島	三菱商事、資本金20万米ドルで損害保険会社、ニュー・センチュリー・インシュアランス社(NC社)を設立。(NK)
11・7	ブラジル	川崎製鉄、ツバロン製鉄所のスラブ(鉄鋼半製品)を使って11月からホット(熱延)コイル、冷延薄板など薄板類の生産を開始。(NS)
11・7	ブラジル	吉田工業、ミナスジェライス州の農地1万1000ヘクタールを約4億4000万円で購入し、現地法人「アグロ・ペクアリア・ヨシダシヤ」設立、大規模農場の経営に乗り出す。(AH・NK)
11・8	ブラジル	横河北辰電機、サンパウロ市内に1億5000万円を投じて各種計測器生産用の新工場を建設するほか、現地メーカー、エミール社に総

		合計装制御システム、デジタル分散型工業計器などの技術を供与。 (NS)
11・14	ラテンアメリカ	(～16)米国とラテンアメリカ19カ国の駐日大使が参加した59年度中南米大使会議で、相互理解、経済協力、和平努力支援など5項目の提言。(AH・NK・YU・MN)
11・16	ブラジル	日本郵船、住友金属工業との間で住金向けに5年間にわたり年間約50万トンのカラジャス鉄鉱石を輸送する契約に調印。(NK)
11・20	メキシコ	外務省人事、駐メキシコ大使に内藤武氏(待命中)を起用。(AE・ME・YE・NE)
11・20	メキシコ	サントリーのメキシコ現地法人「サントリーメキシコ」、同国内で新しいワイン「デリカ」を発表。(NS)
11・20	キューバ	キューバ訪問中の不破共産党委員長、カストロ首相と会談。(AE・MN・NE)
11・20	アルゼンチン	(～24)タンゴの巨匠、アストル・ピアソラ五重奏団来日公演。 (NE・YE・AE)
11・20	ラテンアメリカ	日本・ラテンアメリカ婦人協会、ラテンアメリカ諸国へ日本製医療機器を贈るためのバザー、高輪プリンスホテルで開催。(MN)
11・21	キューバ	明和産業と日新製鋼、砂糖工業省から製糖プラント用のステンレスパイプ約1億円を受注。(NS)
11・22	メキシコ	日本政府、メキシコ市のガス爆発事故に対する緊急医療協力として1000万円を限度とする医薬品などの物資供与。(AH・MN・YU)
11・26	メキシコ	同国政府、東京銀行の渡辺康頭取にアギラ・アステカ勲章を授与。 (MN)
11・26	ブラジル	キッコーマン、現地法人「キッコーマン商工」を設立し、サンパウロの日系企業、東山農産加工のカンピーナス工場の一部を借り、来年9月をメドにしょうゆの生産開始。(NS)
11・27	キューバ	丸紅食料と共産圏向け専門商社の橘貿易、キューバ産のグレープフルーツの輸入販売。59年度9万3000ケース目標。(NS)
11・28	キューバ	製袋機最大手のニューロング、イメキシシ機械公団にセメント袋用の大型自動製袋プラント1基、約8億円を納入。(NS)
11・28	コロンビア	(～12・1)中米情勢に関するラテンアメリカ諸国と米、欧、日本の政府代表による初の「政治・経済シンポジウム」カルタヘナで開催。(MN)
11・30	ブラジル	(～12・11)今年5月のフィゲイレド大統領訪日の際に合意された「日伯青年指導者交流計画」に基づき、ブラジル青年代表団50人訪日、日本のハイテク産業や京都、奈良の見学および日伯議員連盟のメンバーや学生と懇談。(NK・AH)
12・3	ブラジル	新和海運と日鉄海運、新日鉄の積み荷保証でカラジャス鉄鉱石輸送用

12・3	パナマ	に、載貨重量21万～22万トンの大型専用船を建造。(NS) (～7)日米パナマ3カ国協力で第2パナマ運河建設を話し合う第6回企業化調査準備委員会で、来年度から4年計画で、2000万ドル(約48億円)をかけて企業化調査を実施することに合意。(MN・NK・YU・AH・JT)
12・4	メキシコ	曙ブレーキ工業、提携先の米ベンディックスのメキシコ子会社である「ベンディックス・メヒカーナ」と、曙が開発したディスクブレーキ日本車向けAD型の技術供与契約。(NS)
12・5	コスタリカ	グティエレス外相来日、6日安倍外相と会談し、技術協力要請。(AH・NK・JT)
12・5	エクアドル	同国最大の国家プロジェクト、エスメラルダ製油所拡張工事総額1億3000万ドルの国際商談で住友商事・千代田化工建設の日本連合、受注。(NE)
12・9	アルゼンチン	サッカーのクラブ世界一を決める第5回トヨタ・カップ(東京国立競技場)決勝戦、南米代表インデペンディエンテと欧州代表リバプール(英国)の試合で南米代表、第1回大会以来5年連続で勝利。(AH・NK・MN・JT)
12・9	アルゼンチン	(～13)カプト外相来日、10日中曽根首相、安倍外相と会談。(AH・MN・YU・NK・JT)
12・10	ブラジル	神崎製紙、米国の紙パルプメーカー「チャンピオン・インターナショナル社」のブラジル法人を通じてブラジルのコート紙原紙2000トンを試験輸入。(NS)
12・11	ブラジル	セラード地域農業開発計画について、日本政府、総事業費の半分にあたる349億円を融資、15万ヘクタールを対象にすることで調印。(MN・AH・NK)
12・11	ブラジル・アルゼンチン	商船三井、日本郵船、ブラジルのロイド・ブラジレイロ、フローター・オセアニカ、アルゼンチンのエルマーなど6社で構成する極東-日本-ブラジルの定期航路運賃同盟にアルゼンチンのカニサ社参入。(NS)
12・18	メキシコ	日産自動車、来年後半から、メキシコ日産で生産した小型車エンジンの米国日産自動車(NMMC)への供給開始。(NK)
12・18	ブラジル	自動化機械メーカーの理工機械、日系ブラジル人6人と提携して生産子会社「リコー・インドゥストリア・エ・コメルシオ・デ・ペサス・パラ・マキナ」(資本金1億9500万クルゼイロ、約1600万円)設立。(NS)
12・21	パナマ	神戸市内の海運会社が「タックス・ヘイブン」(租税回避地)のパナマに子会社6社を設立、その所得約5億円をそっくり隠し預金し、3年間に2億円の脱税をして起訴される。(YE)

12・22	ブラジル	サンパウロ州サンミゲール・アルカンジョ日本語学校の父兄会長テツヤ・サダスエさん、2世の日本語教師養成を国際協力事業団などに陳情のため来日。(AE)
12・25	メキシコ	日本とメキシコの長期的な交流問題を話し合う日墨長期展望作業グループ(賢人会議)東京で初会合。(MN)
12・25	メキシコ	同国が原油価格の引き下げ要請に応じないため、石油各社は予定していた12月の船積みを中止、ゼロになる見通し。(NS)
12・25	ブラジル	外務省人事、在マナウス総領事に在ウルグアイ参事官野々垣哲夫氏を起用。(YE・AE・NE・JT)
12・26	ブラジル	日本合成ゴム、ニトリフレックスに自動車部品などに使われる合成ゴム、EPDM(ニチレン・プロピレンゴム)の生産技術輸出。(NK)
12・26	ブラジル	ブラジル石油公社(ペトロブラス)、出光興産の現地法人出光ラテンなど3社共同のアマゾン中流地域石油探査契約に調印。85年から6年半の間に約4000万ドルを投資してマナウス周辺38鉱区(約38万平方キロメートル)を試掘計画。(NS)

(以上247項目)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
朝日	AH	AE
毎日	MN	ME
読売	YU	YE
日本経済	NK	NE
日経産業	NS	
ジャパントイムズ	JT	
日本工業	NI	
東京	TK	